

第五十二回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十五號

昭和二年三月二十三日(水曜日)

午前十時九分開議

議事日程 第二十五號 昭和二年三月二十三日

午前十時開議

第一 震災被害者ニ對スル租税ノ免除猶豫等ニ關スル法律案(政府提出)

律案(衆議院送付)

第一讀會

第二 震災手形損失補償公債法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 震災手形善後處理法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 鑛業法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 大正九年法律第五十六號中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第六 大正十二年法律第五十二號中改正法律案(衆議院提出)

提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

昨二十二日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

鐵道敷設法中改正法律案

徵兵令改正法律案

電氣事業法中改正法律案

國有財産整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案

國產獎勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案

兌換銀行券整理法案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ建議ハ文書ヲ以テ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

部落問題ノ國策確立ニ關スル建議

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

震災手形損失補償公債法案可決報告書

震災手形善後處理法案可決報告書

鑛業法中改正法律案可決報告書

大正十二年法律第五十二號中改正法律案可決報告書

同日海事水產金融制度ニ關スル建議案ノ提出者ニ於テ同案ヲ撤回シ更ニ贊成者ノ數ヲ三十九名増加シテ之ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

震災被害者ニ對スル租税ノ免除猶豫等ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ

奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及内地ノ家ヲ去リ王公家ニ入リタル者

ノ戶籍等ニ關スル法律案

不動産登記法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

大正九年法律第五十六號中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、震災被害者ニ對スル租税ノ免除猶豫等ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

震災被害者ニ對スル租税ノ免除猶豫等ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月二十二日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

震災被害者ニ對スル租税ノ免除猶豫等ニ關スル法律案

第一條 政府ハ震災(昭和二年三月七日ノ震災及之ニ伴フ火災ヲ含ム以下
同ジ)ニ因ル被害者ノ震災地ニ於テ納付スベキ大正十五年(昭和元年)分
第三種所得税第四期分ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ免除スルコトヲ
得

第二條 政府ハ震災ニ因リ著シク利用ヲ妨ゲラレタル土地ニ付命令ノ定ム
ル所ニ依リ其ノ地租ヲ免除スルコトヲ得

第三條 政府ハ震災地ニ於テ納付スベキ昭和二年分ノ第三種所得税、個人
ノ營業收益税及乙種資本利子税ニ限り課税ニ關スル申告及申請並課税標
準ノ決定ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第四條 政府ハ震災地ニ於テ昭和二年三月七日以後ニ納付スベキ租税ニ付
命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第五條 第一條、第三條及前條ノ震災地ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 第一條又ハ第二條ノ規定ニ依リ免除セラルル租税ハ法令上ノ納税
資格要件ニ關シテハ免除セラレザルモノト看做ス

前項ノ規定ハ前項ノ國税ノ附加税タル市町村税、震災ニ因リ免除セラル
ル直接府縣税ノ附加税タル市町村税及其ノ他ノ直接市町村税ニシテ震災
ニ因リ免除セラルルモノニ付之ヲ準用ス

第七條 土地賃賃價格調査委員會法第二十二條ノ期限ハ峰山稅務署所轄内
ニ限リ之ヲ昭和二年十二月二十日トス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣片岡直溫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(片岡直溫君) 只今議題トナリマシタ震災被害者ノ租税免除猶豫
等ニ關スル法律案ノ説明ヲ致シタイト存ジマス、今回ノ北丹後地方ニ於ケル
震災ハ、先年ノ關東大震災ニ次グ大災害デアリマシテ、國稅納税者ニシテ損
害ヲ受ケタ者モ相當ノ數ニ上リ、或ハ住宅家財ヲ失ヒ、或ハ營業用ノ資産商
品等ヲ灰燼ニ歸セシムル等、非常ノ慘害ヲ來シ、租税ノ負擔力モ大ニ減損イ
タシマシタコトハ、言フ迄モナイト存ジマス、此納稅負擔力ノ減損シタ場合
ノ救濟方法ハ、現行法中ニモ全ク規定ガナイ譯デアリマセヌガ、今回ノ震
災ニ於ケル程度ノ慘害ニ對應スル方法トシテハ、不十分ノ感ガアリマスノ
デ、租税ノ免除及徵收猶豫等ニ付テ特別ノ救濟方法ヲ講ズル必要ヲ認メタノ
デアリマス、法律案ハ甚ダ簡單デアリマスルガ、詳細ナル規定ハ、災害狀況
ノ調査ガ完了イタシマシタ上デ、其事情ニ適應スルヤウニ、關東震災ノ場合
ニ於ケル方法等ヲ參照イタシマシテ、命令ヲ以テ適當ニ規定スル見込デアリ
マスルガ、議會ノ會期モ切迫イタシマシタノデ、取敢ズ特別ノ規定ヲ設クル
コトヲ得ルト云フ大綱ニ付テ御協賛ヲ得タイト存ジマシテ、此法律案ヲ提出
シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イ
タシマス

○男爵阪谷芳郎君 簡單ニ伺ヒマス、本案ハ至極結構ナ案ト存ジマスガ、大
正十二年九月ノ大震災ノ時ニ、保險ヲ受取レヌト云フコトデ、非常ニ當時
面倒イ問題ガ起リマシタ、是ハ今日ノ保險法ノ下ニ於テハ已ムヲ得ヌカト思
ヒマスガ、今度モ亦同様デアラウト思フデアリマス、デ大正十二年九月ノ
當時ニ於テ、震災保險ノコトニ付テ、政府ニ於テ考慮スルト云フヤウニナッ
テ居ッタト考ヘル、其當時私モ、其震災保險法ト云フモノヲ何トカシナケレ
バナルマイト云フコトヲ、當時ハ議會ガ閉會中デアリマスカラ、議會デハ申
サナカッタと思ヒマスガ、當局ニ申上ゲタコトガアリマス、併シ斯ク頻繁ニ

地震ガ來ルモノトハ、本員モ當時考ヘテ居ラナカッタ、ケレドモ大正十二年以來、其後ニ城崎ノ激震ガアリ、又今度ノ大地震ガアリマシテ、災害ノ小サイ場合ニハ、保險會社ガ保險ヲ拂ヒマスヤウデアリマスガ、併シ今後又ドンナ大キナ地震ガ來ヌトモ云ヘナイ、ソレデ震災保險法ノコトニ付テ、何等カ政府ニ於テ御調ベガ進行イタシタノデアルカ、又、モウ今議會ニハ御提出ノ餘地ハナイト思ヒマスルガ、何等カ御考慮ニナッタコトガアリマスルノカ、此際伺ッテ置キタウ存ジマス

〔國務大臣藤澤幾之輔君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(藤澤幾之輔君) 御答ヘ致シマス、震災保險法ノコトニ付キマシテハ、多少調査イタシマシタモノガアリマスケレドモ、未ダ其結果ヲ得ル迄ニハ、尙ホ遠イモノガアルノデアリマスル、暫ク時ヲ假シテ戴キタイ、是ダケノコトヲ申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ登録税法中改正法律案外一件ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、日程第二第三ハ一括シテ委員長ノ報告ヲ煩ハシ、又一括シテ議題ト致シ、採決ハ各案別々ニ致サウト考ヘマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、震災手形損失補償公債法案、第三、震災手形善後處理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

震災手形損失補償公債法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月二十二日

右特別委員長

伯爵 林 博太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

震災手形善後處理法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月二十二日

右特別委員長

伯爵 林 博太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵林博太郎君 只今日程ニ上リマシタ震災手形損失補償公債法案竝ニ震災手形善後處理法案、此兩案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、特別委員會ハ三月八日ヨリ三月二十二日マデ八回、特別委員會ヲ開會イタシマシテ、質問ハ去ル十八日ヲ以テ打切ッタ次第デアリマス、而シテ二十二日ニ懇談會ヲ開キ、且ツ討論ニ移リマシテ、採決ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、此法案ノ趣旨ニ付キマシテハ、既ニ諸君ニ於テ御存ジノコトトハ思ヒマスガ、併シ重大ナル法案デアリマスルカラ、簡單ニ法案ノ趣旨カラ申上ゲテ見タイト思ヒマス、損失補償法案、是ハ大正十二年勅令第四百二十四號、大正十四年ノ法律第三十五號ノ契約ニ基キマシテ、其一億圓ニ對スル損失ヲ、日本銀行ニ對シ、公債發行ニ依ッテ補償スル必要ガアルノデ、之ヲ提出シタト云フ理由デアリマス、又震災手形善後處理法案ハ、大正十四年法律第三十五號ニ依ル震災手形ノ特別融通期間ガ、昭和二年九月三十日ヲ以テ切レマスカラ、之ガ善後策ノ必要ガアッテ出シタモノデアルト云フ説明デアリマス、ト申シマスルト非常ニ固ッ苦シイノデアリマスガ、之ヲ平タク説明ヲシテ見レ

バ、能ク明瞭ニ分ル問題デアルノデアリマス、此兩案ノ精神ヲ簡單ニ申シマスト、御承知ノ如ク大正十二年ノ九月一日正午ニ大震災ガ起ツテ、地震ト共ニ大キナル火事ガ起ツタコトハ、御承知ノ通デアリマス、財界ガ未曾有ノ大混亂ヲ來シタコトモ、御承知ノ通デアリマス、而シテ其地震ガアルトハ知ラズニ、財界ハ相當ニ膨脹シテ居ッテ、種々ノ手形ガ切替ヘシテ融通サレテ居リマシタノガ、九月一日ノ大震災ノ爲ニ、其火ノ中ニ是ガ飛ビ込シマッタ、其大震災ノ中ニ飛込シタル所ノ手形ハ、凡ソ二十一億圓有ツタデアリマス、大震災ノ爲ニ各銀行ハ燒ケル、商店ハ燒ケル、燒ケタ商人ハ銀行カラ金ヲ出サナケレバナラナイ、然ルニ銀行ハ取付ケラレルト金ヲ出スコトガ出來ナイト云フノデ、「モラトリウム」其他ノ説ガ出マシテ、支拂猶豫令ト云フモノヲ餘儀ナクシタ譯デアリマス、是モ御承知ノ通デアリマス、併シイツマデモ支拂猶豫ヲシテ居ッタナラバ、此財界ノ手形其他ノ融通ガ付ク譯ガナイ、茲ニ於テ此手形ノ疏通ヲ圖ル必要ガアリマシテ、九月二十七日ニ緊急勅令第四百二十四號、先程申シマシタ第四百二十四號ト云フモノガ出タノデアリマス、是ハ日本銀行ヘ手形ヲ持ッテ來レバ割引イテヤラウ、而シテ其日本銀行ガ損失ヲ蒙ル場合ノトキニハ、一億圓位ハ政府ガ助ケテヤラウト云フ契約ヲシタノデアリマス、其文章ハ間違フトイケナイカラ讀ンデ見マス、緊急勅令第四百二十四號、大正十四年九月三十日以前ノ満期日ヲ有スル手形ノ割引ヲ爲シ損失ヲ受ケタル場合ニハ一億圓ヲ限リ日本銀行ニ對シ其損失ヲ補償スル契約ヲ爲スコトヲ得ルト云フ勅令デアリマス、而シテ其手形ノ割引ハ、大正十三年三月三十一日迄トシタノデアリマス、併シ平タク申セバ、先程申シタ通ノ事柄……震災手形々々々々ト云フケレドモ、抑、震災手形ト云フコトノ定義ハ何デアルカ、世人色々ノ疑ヲ持ッテ居リマシテ、震災手形デナイモノマデモ震災手形デアルト云フヤウナコトニ託ツケテ、此法案ノ陰ニ隠レテ利益ヲ得ル者ガ有リハシナイカト云フヤウナコトモアリマスカラ、此定義ハ極メテ必要ノコトデアルト思ヒマス、ソコデ震災手形ト云フノハ何デアルカ、即チ震災地ノ營業者ニ對シテ書キマシタ所ノ手形、竝ニ震災地ノ營

業者カラ震災地以外ノ方面ニ對シテ振出シタ手形、而シテ九月一日以前ニ於テ書替ヘツ、來リシモノ、是ガ即チ震災手形ト云フモノデアリマス、之ヲ形式的ニ申シマス、震災地ヲ支拂地トスル手形、震災當時震災地ニ營業所アル者ノ振出セル手形、之ヲ支拂人トスル手形デ、大正十二年九月一日前、銀行ノ割引シタルモノ云々ト書イテアリマス、此四百二十四號ノ勅令ガ出マシタ爲ニ、即チ一億圓マデハ國家ガ補償スルト云フ契約ヲシテモ宜イト云フ趣旨ノモノガ出タ爲ニ、財界ハ一先ヅ安心ヲシタ、而シテ一方政府ハ實業界ノ重立ツタ人々ヲ集メマシテ、此際多數ノ手形ヲ一時ニ日本銀行ガ整理スル譯ニ行カナイ、併シドウシテモ此手形ニ付テ困却ヲ感ズル所ノモノハ、日本銀行ニ於テ割引キマス、併ナガラ銀行ハ元來自動自發的ニ自ラ處決シ得ル所ノ手形ハ自ラ處決シテ貰ヒタイ、愈、イケナイモノハドウカ銀行ヘ持ッテ來テ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ相談イタシマシテ、而シテ其結果、日本銀行ニ於テ考ヘマシタ所ハ、二十一億ノ手形ガアツタケレドモ、大體各銀行ニ於テ有力ナル解決方法ヲ講ズルコトデアルカラ、恐ラク五億圓位ノ手形ハ來ルデアラウ、而シテ其五億ノ中デ二割即チ一億位ハ、是ハ全ク損ニナルカモ知レナイ、斯ウ云フノデ其一億ヲ見越シマシテ、先程ノ四百二十四號ノ勅令ガ出タ譯デアアル、果セル哉五億ヨリ多少少ナクハアリマスガ、四億三千万圓ノ手形ガ割引ヲ請求サレテ日本銀行ニ來タノデアリマス、其四億三千万圓ノ手形ニ對シテハ、日本銀行ガ「スタンプ」ヲ押シタ、即チ此「スタンプ」ヲ押シタモノガ今日震災手形ト云フコトニナツテ、問題トナツテ居ル次第デアリマス、然ルニ此緊急勅令ノ期限内ニ決濟スルコトハ無論出來ナカッタ、之ガ爲ニ二回期限ヲ延長イタシマシタ、今年ニナツテ此昭和二年ノ九月三十日ガ、又最終ノ期限ガ今來テ居ルノデアリマス、然ルニ此二三年間ニ於テ徐々ニ決濟ガ出來テ來マシテ、今日震災手形トシテ存在シテ居ルモノハ、約二億七百万圓アルノデアリマス、所デ二億七百万圓ノ手形ガ、今後自然ニ放任シテ置イタナラバ、如何ナル消化方法ヲスルカ、ドウ云フ風ニ是ガ自然ニ消化サレルカト云フコトガ問題ニナルト、政府ハ大正十五年即チ昭和元年、此過去……最近ノ過去ニ於

テハ、僅ニ百二十万圓シカ決濟ガ出來ナカッタ、ソレデアリマスカラ、之ヲ自然ニ放任シテ置クト、今後ハ頗ル緩漫ナル解決ガ出來ルノミデアッテ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、イツ迄經タラ震災手形ト云フ、マルデ癘ノ如キモノガ治療出來ルカ分ラナイ、茲ニ於テドウシテモ此解決ノ法律ヲ出サナケレバナラナクナッタノデアアル、此片ヲ付ケナケレバナラナイ、ソコデ四百二十四號ノ勅令ニ基イテ、是ハモウ契約ヲシタノデアリマスカラ、此補償法案トシテ出シタ一億圓ト云フモノハ、是ハモウ問題デナイコトデアルト云フコトニナル、殘リノ一億七百万圓ト云フモノハ、是ハ直グ取立テルト云フト、容易ニ取立テルコトガ出來ナイノミナラズ、財界モ混亂スルカラ、先ヅ十年以内ノ貸付ノ餘裕ヲ與ヘマシテ、此間ニ徐々ニ回收スル方法ヲ講ジタナラバ、財界モ痛マズ、政府ノ懷モ痛マズ、茲ニ圓滿ナル解決ガ出來ルト考ヘタノデアッテ、ソコデ政府カラシテ、補償法案ノ一億ニ對シテ、殘リノ一億七百万圓ト云フモノニ付キマシテハ、善後處理法案ト云フモノヲ出シタ、之ニ依ッテ公債ヲ貸付ケマシテ、サウシテ割引手形ノ澁滯シテ居ルモノヲ徐々ニ解決スルト云フ方法ヲ講ジタト云フコトデアリマス、所デ現在日本銀行ガドレダケ持ッテ居ルカト云フト、九千八百万圓ノ手形ヲ所持シテ居ルノデアリマス、殘リハ二億七百万デスカラマデアリマスガ、日本銀行ニハ兎ニ角ソレダケノモノガアル、是ハ毎日……手形デスカラシテ割引ニシテ來タリ……持ッテ來タリ、返シタリシマスカラ、異動ハシマスケレドモ、大體サウ云フ風ナ程度ニ今日マア止マッテ居ルノデアアル、而シテ政府ノ考ヘテ居ラレル所ニ依ルト、一億ト申シタケレドモ、多分本當ノ損ニナル所ハ八千万圓位デ濟ムダラウト云フ見込ヲ付ケテ居ルノデアリマス、或ハ是ガ五千万圓デ濟ムカモ知レナイ、ソレデアリマスカラ、八千万圓デ此補償ノ方ノ問題ガ解決スレバ、補償法案ノ方ニ二千万圓殘ッテシマフ、其殘ッタ金ハドウスルカト云フト、其殘ッタ二千万圓ハ日本銀行カラ貸付ケル方、即チ此善後處理法案ノ方ヘソレヲ繰入レルト云フ、ソレダカラ此二法案ハ、法律ノ上カラ見タラ、先程申シマシタ提出ノ理由ニアル通り分ケラレル、論理的ニ分ケラレルガ、經濟ノ實際問題トシテハ、

分ケルコトガ出來ナイ問題デアアル、斯ウ云フ説明デアリマス、而シテ國家モ損ヲシナイ、營業者モ當該銀行モ成ルベク損ヲシナイト云フ、最小限度ノ損失ニ依ッテ問題ヲ解決スル方法トシテ、此問題ヲ見ナケリヤナラヌト斯ウ云フノデアリマス、此第二條ニ依ッテ公債ヲ以テ貸付ケル……其五分利ナルコトハ明瞭ニ其處ニ五分ト書イテアル、第七條ニハ、第二條ニ依ッテ貸付ケタモノノ利息ハ五分以上ト書イテアル、是ハチヨット矛盾シテ居ルヤウニ見エマ스가、ソコガ即チ國家ニ損ガ行カナイト云フ理由ノ一ツトシテ、政府ガ説明シテ居ル、例ヘバ茲ニ、百万圓ノ手形ヲ日本銀行ヘ持ッテ來タトスルト、日本銀行ハ百万圓ニ對スル所ノ公債ヲ交付シマス、併シ其公債タルヤ手取九十八圓トカ九十六圓トカ云フモノデアリマスカラ、百万圓交付シタモノガ、例ヘバ茲ニ百二十万圓ト云フモノニナル、其百二十万圓ニ對シテ、利息ハ六万圓デアリマス、當該銀行カラ日本銀行ヘ持ッテ來タ手形ソレ自身ハ百万圓デアアル、其百万圓ト云フモノニ對シマシテハ、銀行ハ六分ノ利子ヲ拂ハナケレバナラヌカラ、六分即チ五分以上、兩方ガ六分ト六分デアルカラ是ガ即チトントンニ行キマシテ只ニナル、茲ニ於テ政府モ損ヲシナイシ、銀行モ損ヲシナイ、ノミナラズ當該銀行ト債務者トノ間ニ、十年以内ノ貸借關係ガ新ニ結バレテ、其解決ガ徐々ニ出來ルコトニナレバ、元金モ這入ッテ來ルカラ、自然ト是ガ極ク最少ノ損ノ程度ヲ以テ解決スルト云フ、マア是ガ政府ノ大體ノ説明デアリマス、併シ是ハ質問ノ中ニ起ッタコトデハアリマスケレドモ、大體其意味ニ於キマシテ説明ヲシテ置イタ方ガハッキリシマスカラ、此場合ニ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ此特別委員會ハ大體質問ヲ以テ始マッテ、十八日迄隨分アリマシテ、質問ヲ細ヲ穿チ微ニ入ッテ致シタ次第デアリマス、其質問要項ハ是ハモウ既ニ速記ガ全部出テ居リマスカラ、御讀ミニナッタコト考ヘマ스가、先ヅ此法律ガ二ツニナッテ出テ居ルカラ、是ハ分ケテ考ヘタラドウダト云フコトニ關シマシテハ、先程申シマシタ通り、法律ノ論理ノ上カラハ分ケラレルケレドモ、經濟ノ實際問題トシテハ、是ガ分ケルコトガ出來ナイ、又損失々々ト政府ハ言フケレドモ、一體損ト云フノハ何處マデガ損デ、ドレカ

ラガ利益ナノダ、其論理的ノ説明ヲシテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトデアリマス、是ハナカ／＼重大問題デアッテ、政府ガ損失ト認メタモノハ、日本銀行ニ對シテ補償ノ意味デ一億圓拂フ、損失デハナイ、ヤガテ時間サヘ假セバ返シ得ルモノト認メルト云フモノハ、是ハ損失デヤナイノデアリマスガ、其區別ハドウシタル、是ハ成程重大ナ、私ハ問題ダラウト思フノデアリマス、茲ニ於テ調査會ト云フモノガ必要ニナッテ來ルノデス、調査會ヲ設置シテ、而シテ此當該銀行トノ間ノ契約ナルモノガ、果シテ十年間ニ解決シ得ルモノナリヤ否ヤト云フコトヲ決定スル其機關ガ、今度出來ル調査會デアリマス、調査會ハハッキリ各銀行ノ状態ヲ審査シテ、而シテ其銀行ガ營業シテ居ル所ノ貸借關係ヲ明カニシテ、而シテ震災手形ニ緣故ノアルモノデアッテ、解決シ得ルヤ解決シ得ザルヤノ問題ヲ茲ニ決メマシテ、而シテ年賦ニ依ッテ償還ノ出來ル見込ノアルモノハ損失デハナイ、其他ノモノガ損失ニ屬スル譯デアリマスガ、是ハ其損失トシテ突止メル場合モ、身代限り所謂破産マデヤラシテ損失ト認メルカ、破産ノ土俵際マデハ行ケレドモ足ハ出サナイト云フ程度ニ之ヲ止メルカ、之ニ對シテハ、或ハ積立金ヲ崩シ、配當ヲ減ジ、時ニ依ッテハ重役ノ資産ヲ提供セシムル、有ラユル方法ヲ講ジテ、ソレデモウ一步進メバ破産ニナル、サウ云フモノハ破産マデ行クト云フト、財界ガ動搖スルカラ、ソコハ商業道德デ活キテ行ケル途ヲ成ルベク講ジテ、其程度ニ於テ止メテ見タイ、ドウシテモ調査會デ調べタ結果、損トシナケレバナラヌモノデアルト云フノガ損失トナッテ、茲ニ補償令ノ適用ヲ受ケルモノデアルト、斯ウ云フ説明デアリマス、然ラバ其調査會ト云フモノハドウ云フモノガ委員ニナルカ、何故ニ兩院ノ議員ガ必要デアル、又會計検査院カラモ公平ナル審査員ヲ出シタラドウ云フモノデアアルカ等ノ問答ガアリマシタ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、又震災手形ト震災手形デナイモノノ區別ニ付テモ、十分ニ問答ガアリマシタガ、是ハ先程申上ゲタ通ノ意味デ、結局解決ヲシテ居ルノデアリマス、元來此問題ハ政府ナドガ中ニ這入ラナイデ、日本銀行ト普通銀行トノ貸借關係ニシテシマッタラ、寧ロ早ク片付クデヤナイカ、政府ガ補償スルトカ善後處

理法案ナド出スモノダカラ、ソシナラ是モ震災手形ニシテシマヘト云フコトニナッテ、往々ニシテ囑ヲ得テ蜀ヲ望ムト云フヤウナコトデ、存外弊害ガ起リハシナイカ、イッソノコト是ハモウ日本銀行ニ委セテ、ドン／＼取立テテヤラシタ方ガ解決ヲシヤシナイカ、斯ウ云フ質問モアリマシタ、而シテ多少補償スルト云フコトハ、ソレハ仕方ガナイケレドモ、相當自然ニ委セテ立派ニヤッタラ、寧ロ解決ガ早クナッテ、日本ノ財界ノ爲ニ健全デハナイカト云フヤウナ質問ガ出タ、是モ尤モナ質問ダト思フノデアリマス、藏相ハ之ニ對シテ、自然主義……自然主義デハドウモ今日此問題ヲ解決スルコトハ困難デアル、是ハドウシテモ今日ハ日本銀行ト各銀行トノ間ノ問題ニ止メタイ、何トナレバ日本銀行ト云フモノハ、金融ノ圓滑ヲ圖ル爲ニ、各銀行トノ關係ニ於テ存在スルノガ主ナ職務デアッテ、普通銀行ノ如ク債務者ニ對シテ、一々之ニ交渉シテ督促スルガ如キハ、是ハ日本銀行ノ天職デハナイ

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

英蘭銀行ダラウガ、何ダラウガ、斯ウ云フ中央ノ銀行ハ、金融ノ調節ノ機關デアッテ、特殊ナル所ノ……普通銀行ノ如キ職分ヲヤルノハ間違ッテ居ルノミナラズ、十年モ掛ラナケレバ取レナイト云フヤウナモノヲ、日本銀行ガ取扱フト云フコトハ、金融ノ圓滑ヲ圖ルドコロデハナイ、全ク其反對ニ、金融ノ疏通ヲ阻害スルコトニナルノデアアルカラ、ソレハドウモ餘リ自然ニ委セルヤウナコトハ、此場合ニ於テ考慮シナケレバナラナイ、即チ出來ナイノデアルト云フヤウナ答辯デアリマス、又某特殊銀行ニハ「コール」ガ大變滞ッテ居ッテ、隨分借リテ居ルヤウナ狀況デアアルヤウダガ、是ハ隨分困ッタモノデヤナイカ、財界ヲ不安ナラシメテ居ルデヤナイカト云フヤウナ質問ガアリマシタ、之ニ對シテハ、成程或ル銀行ハ「コール」ヲ澤山借リテ居ル、ソレヲ返スノニハ又外ノ「コール」ヲ借リナケレバナラヌ、其「コール」ガ澤山或ル某銀行ニ集中シテアル、爲ニ金利ノ下ルベキ時モ下ゲルコトガ出來ナイ、自然ニ下ガラナイ、斯ウ云フ不自然ナコトガアッテ實際困ルト云フ答辯デアッテ、然ラバ此法律ヲ見ルト云フト、公債ヲ以テ交付スルトアルノダガ、政府ハ元來非募債主

義ダ、ソレダカラ公債ニスルニシテモ、新ニ之ヲ募集シナイデ、預金部ノ公債ガアルカラ、預金部ノ公債ヲ貸付ケテ一時流用シタラドウデアル、是モ重要ナ質問デアルト考ヘマスガ、之ニ對シマシテハ、元來預金部ノ會計ト云フモノハ、是ハ獨立シタ會計デアッテ、個人ノ貸借ト云フヤウナコトハ、此預金部ガスベキモノデナイカラ、是モドウモ、無理ニヤレバ出來ナイコトハナイカモ知レスケレドモ、是ハ預金部トシテノ矢張り職能ヲ曲ゲテ流用スルコトニナルカラ困ル、日本銀行ガ此補償法案ニ依ッテ埋メ放シニスル所ノ一億圓ト云フモノハ、是ハ代位辨償デアルカ、ドウデアルカ、之ニ對シテハ、代位辨償デハナイ、ドウシテモ其手形ハ解決ノ途ガ無イト云フコトヲ確メタ後ニ於テ補償ヲスルノデアルカラ、其手形ガ再ビ活キテ來テ、サウシテ出世證文トナッテ來ルヤウナコトハ無イノダカラ、是ハ愈イケナイト云フコトヲ決メタ後ニ出テ來ル補償デアルカラ、是ハ代位辨償デハナイノデアルト云フ説明デアリマス、其他重要ナ質問應答ガ澤山アリマシタガ、餘リ長クナリマスカラシテ、其邊ニ止メテ置キマス、多分討論ノ際ニ、色々ノ議論モ之ヲ含メテ出ルコトデアラウト考ヘルノデアリマス、要スルニ此法律案デアリマスケレドモ、問題ハ三ツニナッテ居ルノデス、是ハ法律トシテハドウデアルカ、可分デアルカ不可分デアルカ、又第二ニハ經濟問題、法律其モノガ良イカ惡イカハ別問題トシテ、之ヲ通ス、通サスト云フコトガ、今日ノ財界ノ不安ヲ救フカ否ヤト云フコトニ關ハッテ居ル重大問題デアル、ト云フ方カラ之ヲ見ルコトガ出來ル、第三ハ、某特殊銀行ノ裏ニハ某政商ガ居ル、斯ウ云フ政治問題トシテ之ヲ見ルト云フヤウナモノモアリマシテ、結局此三ツノ見方ガ錯綜シテ居ルモノデアリマス、此政府側ノ説明ノ中ノ強味トスル所ハ、此震災手形ノ處置ト云フモノハ、二分スルコトハ出來ナイ、又經濟的ニハ不安ヲ一掃スルノデアル、デ此補償案ガ通ラナイト云フト、十四年度ノ某特殊銀行ノ整理案、其中ニ多大ノ金ガ損失トシテ見積ッタル、ソレヲ既ニ損失トシテノ本ヲ立テ十四年ノ整理案ガ出來テ居ルノダカラ、此補償案ガ通ラヌト云フト、其十四年ノ整理ト云フモノガ全ク矛盾シテ、行詰リニナッテ困ルノデ

アル、ソレダカラ此法律案ハ通サナケレバナラナイ、斯ウ云フ風ナコトデアリマス、初ニ説明モシマシタ如ク、財界ノ不安ヲ救フ爲ニ已ムヲ得ナイモノデアッテ、一日モ早ク此癰ハ治療シテシマハナケレバナラナイ、斯ウ云フコトニナッタノデアリマス、サウシテ某特殊銀行ニ付テノ質問ハ、是ハ割合ニ少ナカッタ、時々懇談會ヲ開キマシタガ、其中デハ隨分切り込ンダ所迄ノ質問應答ハアリマシタガ、ソレハ今申上ゲル譯ニハ行カナイノデスガ、要スルニ此特殊銀行ニ付テノ問題ヨリハ、寧ロ特別委員ニ於カレテモ、普通銀行ノ解決ノ方ニ重キヲ置イテノ善後處理法案ヲ出シタ如クニ見エルモノデスカラ、其方面デ進行シテ居ッタノデアリマス、然ルニ段々研究シテ見ルト云フト、普通銀行ヨリハ寧ロ特殊銀行ノ方ノ問題ガ、此波瀾ノ中心ニナッテ居ルカノ如クナッテ來テシマッタノデアリマス、兎モ角十八日ヲ以テ質問ヲ終了シマシテ、昨三月二十二日午後一時半懇談會ヲ開イタノデアリマス、此懇談會ハ、議員諸君ノ傍聴モ許スコトニナリマシタカラ、結局マア公開同様デアルノデアリマス、ソレデスカラ其中ノ重ナコトハ申上ゲテモ差支ナイト思フ、是ハ希望決議ヲ出シタイト云フコトデ、希望決議ヲ中心トシテ懇談會ガ開カレタノデアリマス、其希望決議ニハ……是ハ後程申上ゲマスガ、モウ新聞ニモ出テ居ルヤウデアリマスガ、某特殊銀行ト云フモノガ中心ニナッテ居ル、ソレデスカラ此懇談會ノ中デ問題ガ出タノデアリマス、普通銀行救済ト云フコトヲ中心ニシテ、茲ニ論ジテ居リナガラ、大藏大臣ガ茲デ某特殊銀行ノ爲ニ絶對ニ必要ナル法案デアルト云フコトニナルト云フト、ドウモ藏相ノ一言一句ハ信頼ガ出來ナイト云フコトニナル、ソレデモ宜イカト云フヤウナ議論マデ有リマシタ、モット深イ議論モアッタケレドモ、ソレハマア略シマス、所ガ此希望決議ニハ、成程某特殊銀行ノ整理ノ爲ニ絶對必要デアルト云フヤウナ意味ガアルガ、ソレニ依ッテ大藏大臣ガ信頼出來ナイトカ、不信任デアルトカ云フヤウナコトハ、是ハ自然ニ起ッテ來ルナラバ仕方ガナイ、此問題ハ天下ノ大問題デアッテ、大藏大臣ノ如何ニ依ッテ否決スルトカ可決スルトカ云フ性質ノモノデナイ、此故ニ此希望決議ト云フモノガ必要デアルカラ、是ト

共ニ本案ノ可決ヲシタラドウデアルカト云フコトニ付テノ、懇談會ヲ致シタ次第デアリマス、ソコニ於キマシテ、此希望ニ付キマシテハ、先ヅ第一ニ調査會ヲ設ケテ、貴衆兩院議員ヲ入レテ之ニ監督ヲサセル、マア監督ト云フ言葉ハ穩カデナイカモ知レヌガ、ソレヲ入レル、斯ウ云フコトニシタイ、デ臺灣銀行ノ爲ニ絶對ニ必要ナ法律案デアルト云フコトデアレバ、玆ニ嚴肅公正ニ調査スル必要ガアルカラ、審査委員會、此會ヲ設ケテ、サウシテ不都合ノナイヤウニ解決スルト云フコトガ極メテ必要ナコトデアル、第二ニハ、是ハ全ク財界ノ癩ノヤウナモノデアル、適切ナル整理方法ヲ立テテ、サウシテ某特殊銀行ヲ活カスヤウニシナケレバナラヌ、某特殊銀行ナルモノハ、抛ッテ置ケバ極メテ是ハ危イモノデアルカラシテ、是ハ國際信用ノ上カラモ疎カニ出來ナイカラシテ、ドウシテモ是ハ救ハナケレバナラナイノデアル、之ヲ救ッテ、サウシテ拓殖ノ本然ノ任務ヲ盡スヤウニシナケレバナラナイ、ソレカラ第三ニハ、某特殊銀行ノ整理ト云フモノハ、ドウモ十四年ノ整理案ダケデハイケナイヤウデアアル、ドウシテモ此法律案ガ通ルニシマシテモ、玆ニ更ニ適切ナル整理方法ヲ立テナケレバナラヌ、其整理方法ヲ今ノ第二ノ希望ニ依ッテ立テテ後ニ於テ、其資金ガ漸次ニ回收ガ出來テ、貸付金ノ回收ヲスルコトガ出來ルヤウニナレバ、一日モ早く其貸付金ヲ回收サセル、斯ウ云フ風ナ希望ヲシテ見タイト云フノデアリマス、兎ニ角サウ云フ風ナ空氣デアリマシテ、大藏大臣ト云フ者ハ信頼ガ出來ル出來スト云フヤウナコト以上ノ、是ハ問題デアルト云フコトデ、討論ニ這入ッタデアリマス、特別委員會ノ此討論ノ場合ヲ申上ゲテ見タイト思フ、私ハ此討論會ノ討論ノ模様ヲ申上ゲルノニ、先ヅ其背景ヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、此討論ガ始マリマス時ニハ、即チ言フマデモナク大藏大臣ガ出席サレタ、所ガ同時ニ總理ガ出席ヲサレマシタ、デ討論ノ模様ヲ見マスルト、特別委員ノ質問ニ對シマシテハ、大藏大臣ガ答辯スル前ニ、總理大臣カラ何カ私語ガアッタヤウニ見エル、デ大藏大臣ガ獨立シテ自己ノ職務ヲ盡シ、而シテ此特別委員ノ質問ニ對シテ答辯ヲスルノガ至當デアリヤ否ヤハ別問題、又首相ガ私語スルト云フコトハ

重大ナ案デアルカラシテ、側ニ附イテ居ッテ是ハ相談ヲスルンダト云フノカモ知レナイ、併ナガラ特別委員長ノ隣デアリマスカラ、能ク分リマスガ、ドウモ此大藏大臣ノ隣ニ首相ガ居ッテ、一言一句ヲ監督スルト言ッテハ行き過ぎルカ知ラスガ、ドウヤラ之ヲ監視シテ居ルカノ如キ感ガアル、是ハ特別委員ニ於テモ或ハ色々ノ感想ヲ持タレタカモ知レナイガ、私ハ特別委員ノ意思ヲ代表シテ申上ゲテ居ルノデハナイ、サウ云フ背景ガアッタト云フコトヲ申上ゲテ、サウシテ此御判斷ニアトハ委セル、之ヲ喻ヘテ見レバ、能ニ蟬丸ト云フモノガアリマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

是ハ一人デ步ケナイ、兩方ニ腰持ガ居ッテサウシテ終始シテ居ルノデアリマスガ、是ハ腰持ガ必要デアルト云ヘバ必要デアル、ダカラ此御判斷ハ諸君ニ委セルガ、斯ウ云フ特別委員會ト云フモノハ、私モ隨分委員長ヲヤリマシタケレドモ、初メテデアアル、是ダケハ申上ゲテモ宜イト思フノデス、デソレカアラヌカ、モウ既ニ討論ノ前ニ懇談會ガアリマシテ、其懇談會ニ於テ隨分議論ガ戰ハサレタノデアリ、且又政府委員ニ於カレテモサウ云フ狀況デアッタカラデアアルカ知レマセヌガ、討論會ハ極メテ圓滿ニ……圓滿ニト云ッテハ惡イガ、反對論モアリマシタケレドモ、何等滯滯スル所ナク、ドン／＼進歩イタシタ次第デアリマス、結局賛成論……兩案ノ賛成論、ソレカラ此補償法案ハ是ハドウシテモ通サナケレバナラヌ、併ナガラ此善後處理法案ノ方ハ一年延期ノ意味ヲ以テ否決スルノガ至當デアルト云フ論者ガデリマシタ、ソレカラ此兩案ハ可決スル、併ナガラ特別委員會ノ希望決議トシテ、希望決議ヲ出シタイ、斯ウ云フ論者ガアリマシテ、之ヲ……採決ニ移リマシタノデアリマス、即チ斯ウ云フ風ニナリマシタカラシテ、此兩案ヲ一ツ／＼ニ採決ヲ致シマシタ、先ヅ補償法案ヲ採決シマシタル所、全會一致ヲ以テ可決ニ相成リマシタ、次ニ此善後處理法案ヲ問題ニ致シマシタ、是ハ多數ヲ以テ可決ニ相成リマシタ、次ギマシテ此希望決議ニ付テ採決ヲ致シマシタル所、是モ多數ヲ以テ可決ニ相成ッタ次第デアリマス、討論ニ入リマスルヤ、大藏大臣ハ

言明サレタノデアリマス、ソレヲ讀ンデ見マス、震災手形善後處理法制定ノ趣旨ハ、震災手形所持銀行全部ノ地位ヲ鞏固ニスルニアリマスルケレドモ、殊ニ臺灣銀行ノ爲メ絶對ニ必要デアリマスカラ、其理由ヲ一應辯明イタシマス、御承知ノ通り臺灣銀行ハ、世界大戰當時營業ガ非常ニ膨脹シ、貸出金額モ大ニ増加シタノデアリマス、然ルニ財界ノ反動期ニ入ッテ、各種ノ企業及ビ商業ガ衰退シ始メルト、此等ノ關係業者ニ對スル貸出ハ其取立ノ途ヲ失ヒ、遂ニ多額ノ滯貸ヲ生ジタノデアリマス、加之大正十二年ノ關東大震災ニ因リ、貸金回收ノ困難ヲ感ズルモノガ簇出シ、却テ多額ノ貸増ヲシナケレバナラナイ事情ニナリ、其業態ハ愈益、困難ヲ加フルニ至ッタノデアリマス、茲ニ於テ大正十四年九月、同行ノ整理ヲ行フコトニナリマシタ次第デアリマス、然ルニ一方、同行ノ保留シテ居ル資産ノ換價處分ナドガ、經濟界ノ不景氣持續ニ依リマシテ、適當ニ行フコトヲ得ザル關係ガアリ、又他方、巨額ナル借入金ガアル狀態デアリマスカラ、臺灣銀行ガ金繰ニ至大ノ困難ヲ感ズルニ至リマシタ故ニ、若シ震災手形善後處理法案ガ御協賛ヲ得ナイト云フコトニ相成リマスレバ……相成リマス、換言スレバ震災手形善後處理法案ノ成立ハ、臺灣銀行ノ爲メ絶對ニ必要デアルコトヲ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス」斯ウ云フ言明ガアリマシタノデ、委員ヨリハ是ハ總理ニ於テモ同感デアルカト云フ質問ガ出マシタ、所ガ首相ハ其通り自分モ同感デアルト云フ答辯デアリマス、而シテ此希望決議ヲ……附帶決議ニ付キマシテ之ヲ朗讀イタシテ置キマス

一、震災手形損失補償法並震災手形善後處理法ノ運用ニ付テハ審査委員會ヲ設ケ嚴正公平ナル審査ヲ遂グルコト

二、政府ガ震災手形善後處理法ノ成立ハ震災手形所持銀行全部ノ地位ヲ鞏固ニスルニアルモ殊ニ臺灣銀行ノ爲メ絶對ニ必要ナリトノ言明ニ信賴シ此際不得已處置トシテ之レヲ承認スルノ外ナキモ政府ハ速ニ調査委員會ヲ設ケ更ニ同行ノ鞏固ナル基礎ヲ樹立スルガ爲メ適切ナル方案ヲ立テ帝國議會ノ協賛ヲ經ベキモノハ其措置ヲ執ルコト

右方案成立シ之レガ實行セラルル場合ニ於テハ政府ハ同行ニ對スル震災手形善後處理法ニ依ル貸付金ヲ回收スルコト

斯ウ云フ風ニナッテ附帶決議ガ通過イタシマシタ次第デアリマス、モウ一ツアリマス、第三ハ

三、前二項ノ委員會ノ委員ニハ貴衆兩院議員ヲ加フルコト

斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、特別委員會ノ經過並ニ結果ニ付キマシテハ、大體ハ之ヲ以テ漏ラサナイコトト私ハ考ヘルノデアリマス、之ヲ以テ特別委員會ノ報告ヲ終リマス

〔阪本鈺之助君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 阪本君ハドウ云フコトデスカ

○阪本鈺之助君 只今ノ報告ニ付キマシテ私ハ特別委員ノ一員トシテ補足ヲ願ヒタイト思ヒマス、少シ間違ッテ居ル所ガアリマスカラ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマス、間違ガアリマスカラ御補足ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、御許シナリマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○阪本鈺之助君 只今ノ報告中ニ、二十二日ノ會議ハ午後ノ一時半ニ開イテ懇談會ニ這入ッタト云フ御説明ニナリマシタガ、ソレハ大變重要ナ關係ガアリマシテ、一時半ニ直チニ懇談會ニ這入ッタノデハアリマセス、一時半ニ開會ニナリマシテ、本員ヨリ要求イタシテ先ヅ正式ノ會議ヲ願ヒマシタノデアリマスガ、其會議タルヤ、前日來特別委員中ノ二三ノ方ガ個人トシテデアリマセウガ、色々ナル行動ヲ爲サレテ、政府ト御交渉ヲナサレテ、而シテ後ニ前田子爵ノ意見トシテ提出サレタ所謂附帶條件ナルモノハ、既ニ此二三氏ガ私議セラレテ……行動セラレタト云フ結果ト見ルベキ、同様ノモノガ行ハレテ來タノデアリマス、故ニ此即チ特別委員中ノ二三氏ガ私ニ行動セラレタ如キハ、甚ダ特別委員會ノ神聖ヲ害スル嫌モアルシマスカラ、特別委員長ハ是ハ如何ニ御覽ニナリマスカ、又之ニ關係アリト見ラレル特別委員ノ諸君ハ如何ナル御考デアアルカト云フコトヲ、私ヨリ質問ヲ致シタ、是ハ速記録ヲ御

覽下サイマス。ト明瞭ニ分ルノデアリマス、之ニ付テハ特別委員長ヨリ、及ビ關係アリト認メラレタ二三ノ御方カラ、御釋明ガアリマシテ、是ハ了解イタシマシタガ、ソレニ對シテ彼此レ申上ゲマセヌガ、此點ハ此案ヲ決スル上ニ、前提ト致シテ餘程關係アルコトト思ヒマスカラ、斯ノ如キ事ガアッタト云フコトハ、委員長ヨリ此議場ニ御報告ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○伯爵林博太郎君 阪本君ニ御答ヲ致シマス、午後一時半ニ特別委員會ヲ開イテ、懇談會ニ移ッタト申上ゲタト思ヒマス、特別委員會ヲ開イテ直チニ懇談會ニ移ッタノデアリマセヌノデ、ソレハ成程、阪本君カラ一應速記ニ留メマシテ質問ガ出タノデアリマス、併シ是ハ特別委員ノ若干ガ此十九、二十、二十一日ノ期間ニ於テ何カ政府ト交渉シ、或ハ其屬スル所ノ會派ト交渉ヲシテ案ヲ練ッテ來タノデハナイカト云フヤウナコトニ付テ、色々複雑ナル御質問ガアッタノデアリマス、併ナガラ是ハドウモ特別委員會ノ中デ出來タコトデハナイノデアリマシテ、特別委員ガ個人トシテ行動ナサルコト云フコトハ、ドウモ特別委員長ノ報告ノ中ニハ無イ方ガ穩當デハナイカト思ッタノデアリマス、勿論之ヲ加ヘタ所デ差支ナイノデアリマス、又間接ノ關係ハアルカトモ思ヒマスガ、餘リ長クナリマスノデ其點ハ省略イタシマシタ次第デアリマスカラ、ドウカ其點ハ惡シカラズ御了承ヲ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ質疑ノ發言ヲ許シマス、板倉子爵

〔子爵板倉勝憲君演壇ニ登ル〕

○子爵板倉勝憲君 只今、林特別委員長カラ此議題ニ上ボツテ居リマス、所謂震手法案、二ツノ震災手形ニ關スル議案ニ付テノ特別委員會ノ詳細ナル御報告ガアッタコトハ、誠ニ我々非常ニ能ク了解シタ所デゴザイマス、私ハ唯簡單ニ特別委員長及政府ニ質問シタイト思フ、林委員長ハ後デ讀ミ上ゲラレマシタ三ツノ條件ニ付テ、時ニハ希望條件ト仰シヤリ、或ハ希望決議ト仰シヤリ、附帶決議ト云フコトモ仰シヤッタノデゴザイマスガ、希望決議デアルカ、附帶決議デアルカト云フコトガチヨツト分ラヌ、又附帶決議ト云フ言葉

ト、希望決議ト云フ言葉ト、此間ノ差別ガドウアルカト云フコトハ分リマセヌガ、私ハ新聞紙上ヤ何カデ見マシテモ、單ニ希望條件デハナイ、是ハ嚴格ナル附帶決議だらウト推測シテ御報告ヲ伺ッタノデゴザイマスガ、若シ此私ノ解釋ガ違ッテ居リマスレバ、ドウカ委員長カラ特ニ御辯明ヲ願ヒタイ、單ニ是ガ希望條件デアルト云フナラバ、政府ガ希望トシテ聽キ置クト云フダケデ濟ンデシマフコトデアラウト思ヒマスガ、是ガ附帶決議ト云フコトナラバ、サウ云フ譯ハナカラウト思フ、私ハ用語ノ意味ガ能ク分リマセヌ、ドウカ此意味ヲ特別委員長カラモウ一應御説明ヲ願ヒタイ、又政府ニ私ハ質問ヲシタイノデゴザイマスガ、假ニ此附帶決議、附帶決議ヲ政府ガ承認シテ同意スル、同意シテ此案ヲ通スト云フコトデゴザイマスレバ、此附帶決議ノ中ニ色々ゴザイマスガ、私が伺ヒタイ質問ハ、第三ノ……四デスカ、第三デスカ、此法案ノ通過シタ後ニ所謂震手善後處分ノ、處分法案ノ通過シタ後ニ、政府ハ直チニ審査委員ヲ設ケテ審査委員會ヲ開ク、其審査委員會ノ中ニハ、貴衆兩院ノ議員ヲ必ズ加ヘルト云フコトニナツテ居リマスルガ、政府ハ既ニ屢々貴衆兩院デ聲明シテ、嚴正ニ公平ニ此審査會ヲ開クト云フコトハ、無論言ハレテアルノデアリマス、然ラバ……而シテ又或ル場所ニ於テハ、貴衆兩院ノ所謂議員ト云フ者ハ入レナイデ、成ルベク官吏ダケデ此審査委員ヲ組織シタイト云フヤウナ御話ガアッタヤウニモ思ヒマスルケレドモ、既ニ此附帶決議ニ依ッテ貴衆兩院議員ヲ入レルト云フコトニナツタト致シマスレバ、此選擇ハ非常ニ嚴正、公平デナケレバナラスト思フ、此幾人ノ審査委員ガ設ケラレルノデアアルカ未ダ存ジマセヌガ、併シ此審査委員ノ中ニ、貴族院ノコトハ私ハ申シマセヌガ、衆議院ノコトヲ申シタイノデアアルガ、此審査委員會ノ中ニ憲政會ガ多數ヲ占メテ居ルト云フヤウナ、不公平ナコトハ無イダラウト思フ、今日ノ衆議院ノ有様ヲ見テモ、憲政會百六十何人デアアル、政友會モ百六十人、少シ未滿デアアルカモ知レナイ、兎ニ角百六十ト云フ數ニ對シテ、政友會ト憲政會トノ間ノ差ハ五人カ……五人ニハナラスト思フ、而シテ是ガ若シ此審査委員ニ憲政會ノ所屬代議士ハ非常ニ澤山這入ッテ居ッテ、權衡ヲ失シテ政友會代議

士ガ少イト云フコトニナレバ、是ハ天下ノ疑惑ヲ招クコト非常ナモノダラウト思フ、私ハ極ク公平ナル立場ニ於テ考ヘマス、憲政會ト云ハズ、政友會ト云ハズ、政友本黨ト云ハズ、實業同志會ト云ハズ、衆議院ニ於ケル總テノ政派ノ代表者ヲ公平ニ出シテ、假令實業同志會ガ少數デアラウトモ、其總テノ少數黨モ悉ク代表者ヲ此審査委員ニ加ヘテ、各政黨ニ此審査ニ與カラシメル、此審査ニ對シテ各發言權ヲ與ヘルト云フコトガ非常ニ必要ダラウト思フノデアリマス、此問題ト云フモノハ、此震災手形ノ問題ハ、國民ニ非常ナル感動ヲ與ヘテ、國民ノ思想ノ惡化ノ、是ガ非常ニ動機ニナルダラウト私ハ考ヘテ居ル、此上ニ又政府ガ或ル偏頗ナ、或ル不公平ナ處置ヲシテ、此審査委員ノ選擇ナドニ、尙ホ國民ノ疑惑ヲ懷カシムルト云フコトハ、是ハ由々シキ大事デアラウト思フ、ドウカ此點ハ政府ガ十分御考慮ヲ願ヒタイノデゴザイマスガ、之ニ對シテ政府ハ如何ナル御考ガアルカ、或ハ衆議院各會派ノ、所謂總テノ政黨ノ所屬代議士ノ數ニ依ッテ之ヲ分ケルトカ、何カソコニ御成案ガアルダラウト思フ、少數ノ實業同志會ノ如キモノハ是ハ加ヘストカ、或ハ無所屬トカト云フモノハ加ヘストカ云フヤウナ、何カ茲ニ御成案ガアルダラウト思フ、既ニ此三ツノ附帶決議ニ付テハ、昨日來政府モ御同意デアッタサウデアルカラ、其御同意デアッタ以上ハ、是ハ成案ガアルダラウト思フ、ドウカ此御成案ニ付テ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト云フ、斯ウ云フ二ツノ質問ヲ發シマシテ、降壇ヲ致シマス

○伯爵林博太郎君 板倉君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、委員長ニ對スル御質問ハ、附帶決議デアルカ、希望決議デアルカ、孰レデアルカト云フ御質問デアッタヤウデアリマスガ、是ハ附帶希望決議デアリマス、附帶ト申シマシテモ所謂附帶デアリマシテ、此法律ニビッタリト喰付イタモノデナイト云フ、是ハ御承知ノ通デ、是ハドウモ法律ノ審査ノ上ニ於テ、斯ウ云フモノヲ加ヘルト云フコトハ出來ナイ、所謂附帶デアルンデ、希望決議デアルト輕イト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、是ハ希望デアリマスルケレドモ、此決議ハ決シテ輕クナイコトニ、委員會ノ決議ニシテアルノガ第一、第二ニ政府ガ之

ニ對シテ言明ヲシマシテ、之ニ贊成ヲ表シテ居ルノデアリマスカラ、極メテ重イ附帶希望決議案デアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲマス

〔國務大臣片岡直溫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(片岡直溫君) 只今板倉子爵ノ御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、政府ハ此委員選定ニハ慎重ニ考慮ヲ致シマシテ公平ニ致ス積リデアリマス

〔男爵小畑大太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵小畑大太郎君 私ハ極ク簡單ニ前大藏大臣、ソレカラ只今ノ現大藏大臣ニ御尋ヲ致サウト思ヒマス、最近此數日ニ互リマシテ、市内ノ銀行約八九行ガ、將棋倒シノ如ク臨時休業ヲ致シマシタコトハ、誠ニ遺憾ニ存ジマスノデゴザイマスガ、實ハコ、兩三箇月ノ間ニ、中央銀行ハ二度金利ヲ引下ゲ、實ニ金融界ハ春ノ海ノ如ク、誠ニ風ナク波ナク平穩無事デアル際ニ、俄ニ此市中ノ銀行ガ倒産ヲ始メタト云フコトハ、誠ニ意外千萬ナ事デアリマス、要スルニ是ハ只今議題ニナッテ居リマスル此兩案ヲ議會ニ提出サレマシテ、現大藏大臣ガ御熱心ニ此通過ヲ計ラル爲ニ、鹿ヲ逐フ獵師山ヲ見ズト申シマセウカ、ソヒ御宣傳ガ過ギタ結果デアラウト思フ、甚ダ遺憾ニ存ズル次第デゴザイマス、實ハ大藏省免許ノ金看板ヲ掲ゲマシタ銀行デ、ソレカラ又大藏省ニハ立派ニ各銀行ヲ檢査スル機關モ備ハッテ居リマスルカラ、預金者ハ之ニ安心シテ預ケテ居ッタデアリマスガ、俄ニ倒産ヲシマシテ、數十万人ガ迷惑ヲスル、誠ニ同情ニ堪ヘヌ次第デアリマス、是ハ私ノ前提デゴザイマス、就キマシテハ是カラ質問ノ要領ヲ申上ゲマス、只今委員長閣下カラ御報告ガゴザイマシタ通り、此兩案ノ中、補償法ニ依リマシテ發行シマス公債案ノ方ハ、誰シモ異議ノナイコトデゴザイマス、ソレデ私モ此方ハ御尋ヲ致シマセス、他ノ善後處理案ノ方ニ付キマシテデゴザイマスガ、是モ二ツニ分ケテデゴザイマス、ソレデ此中デ、普通銀行ニ交付セラレテ救済ヲサレマス公債ト云フモノハ、僅カノ額デ足リルノデゴザイマスカラ、是モ大シテ異議ヲ唱ヘル次第デモアリマセヌガ、他ノ殘リノ特殊銀行ノ救済デゴザイマス、其中ニモ此特殊銀行ト申シマシテモ、朝鮮、臺灣兩銀行デゴザイマシテ、朝鮮銀行

ニ對シマシテハ、震災手形ノ手持モ極ク少額デアリマスルカラ、是モ問題デアリマセヌ、唯茲ニ殘リマスモノハ臺灣銀行ニ關スルコトデアッテ、是ハ約一億圓ヲ超エル高ニ上ボリマスノデゴザイマス、又國民今日多大ノ疑惑ヲ持ッテ居リマスルノモ、此點ニアルノデアリマス、ソレデ此點ニ付キマシテ御尋ヲ致シマス、事ハ一年半遡リマシテ、大正十四年、議會ノ終リマシタ頃カラノコトデゴザイマス、即チ只今ノ内務大臣、前大藏大臣御在職中ノ時ノ事デアリマスルガ、臺灣銀行ノ此整理ヲ立テラレマシテ、資本金ヲ四分ノ一ニ減ジ、ソレカラ積立金ヲ取崩シ、固定貸金ヲ整理セラレ、十五箇年ノ中ニ確實ニ整理ヲナスコト云フ案ガ出來マシテ、丁度其時ニ大藏省デ預金部資金運用委員會ニ此事ヲ計ラレ、五千万圓ノ特別ノ融通ヲ受ケタノデアリマス、其時ニ預金部委員會デ、丁度只今コチラノ特別委員會デ附帶決議ヲサレマシタ同ジヤウナ決議ガ出テ居リマス、甚ダ諄ウゴザイマスルガ、チヨットソレヲ讀上ゲマス

希望決議

一、政府ハ兩銀行ヲシテ營業上深甚ノ注意ヲ拂ハシムルト同時ニ其本來ノ使命ヲ果サシムルコトニ努メラレタキコト

二、今回兩銀行ノ整理ヲナスニツイテハ今後政府ニ於イテ責任ヲ以テ監督ヲ行ヒ、遺算無キヲ期セラレタキコト

三、兩銀行ノ貸出ガ今後内地ニ偏スルガ如キコト無キヤウ監督セラレタキコト

四、鮮滿及ビ臺灣方面ニ於ケル經濟上ノ發達ニ關シ兩銀行本來ノ使命ヲ果スニツキ政府ニ於テ適當ナル考慮ヲ加ヘラレタキコト

五、兩銀行ノ制度上ノ改善ニツイテハ政府ニ於イテ更ニ考究セラレタキコト

右決議ス

是ガ當貴族院ニモ議席ヲ有ッテ居ラレマシテ、財政上ニ付キマシテモ權威者ノ御方ニガ、此委員ニ加ハッテ居ラレマシテ、斯ク決議ヲシテ居テレマス、

ソレデ私ハ甚ダ意外ニ存ジマスルノハ、僅カ一年半ノ今日、其間ニ何モ財界ニ大シタ變化ハナイノデゴザイマス、天變地異モナイ、ソレガドウシテ一旦前藏相ガ御立テニナッタ整理ガデスナ、一年半ノ間ニ崩レマシテ、サウシテ再ビ救済セネバナラスト云フコトハ、如何ナル理由デアラウカ、ト云フコトガ分ラヌノデゴザイマス、デソレヲ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、少シ數字ニ互リマシテ甚ダ御聽キ苦シウゴザイマスケレドモ、大略申上ゲマス、臺灣銀行ノ考課狀ニ依リマシテ、整理後ノ……整理ヲ立テラレマシタ後ノコトヲ調べテ見マスルト云フト、大正十四年ノ下半期ニハ、資本金ヲ四分ノ一ニ減ゼラレマシテ、只今モ申上ゲマシタ通り、損失金ヲ填補シテ居ラレマス、ソレカラ配當モ其時ハ止メテ居ラレマス、併ナガラ是ガ段々進ミマシテ、其十四年ノ下半期、ソレカラ十五年ノ上半期、昭和元年ノ下半期、詰リ昨年ノ暮ニナリマシテ、貸金モ漸次殖エ、又配當モ爲シテ居ル、是ハ考課狀ヲドウ最負目ニ見マシテモ、蛸配當ト云フ外ハナイノデゴザイマス、ソレデ其中ニ又實ニ驚クコトハ、昨年ノ上半期、六月ニハデスナ、貸金ト云フモノガ三千七百餘萬圓バカリデアリマシタモノガデスナ、昨年ノ下半期即チ昭和元年ノ十二月ニ至リマシテ、是ガ一躍シテ八千万圓程殖エマシテ、一億一千七百七十萬圓ニ上ッテ居ルノデアリマス、實ハ驚イタノデゴザイマス、丁度是モ誠ニ申上ゲニクイ話デゴザイマスケレドモ、當貴族院ニ御二人モ監查役ガ席ヲ列ネラレテ居ルノデアリマシテ、ドウシテ此八千万圓貸金ガ突然増シタコトヲ默ッテ御イデニナルノカ分ラヌ、茲ニ疑ノアリマスノハ、詰リ此補償法案ヲ出サムガ爲ニ、殊サラ此ノ如キ勘定ヲ御作リニナッタノヂヤナカト云フ疑ガアルノデゴザイマス、ソレカラ一方此貸金ノ内容ヲ調べテ見マスルト云フト、只今國民ガ大ニ疑ノ目ヲ以テ見テ居リマス、一鈴木商店ヘノ貸出デゴザイマス、是ガ大正九年ニハ八千万圓デアリマシタモノガ昨年暮ニハ一躍シテ三億五千万圓ニナッテ居ルノデゴザイマス、ソレデ此貸出ヲ致シマスル資産ト云フモノガ幾ラアルカト云フコトヲ調べテ見マスルト云フト、只今申上ゲマシタ通り、資本金ト云フモノハ、大正十四年ノ上半期ニ四分ノ一切捨テテ居リマシ

テ、漸ク三千九百三十七万五千圓ニナツテ、約四千万圓バカリノモノデアリマス、ソレニ預金ガ九千二百萬圓バカリアリマスカラ、合計イタシマシテ一億三千万圓バカリノモノデ、アトハ借入金ヲ以チマシテ、一鈴木商店ニ其ノ約三倍ニ近い三億五千万圓、貸シテ居ルノデアリマス、ソレデ其時ノデスナ、貸金ノ總計ヲ申シマスト云フト、五億少シバカリノモノデアリマス、ソレデアリマスカラ、鈴木商店ノ爲ニ臺灣銀行ガ立ッテ居ルヤウナモノデアリマス、ソレデ此點ヲ見マシテモ、ドウシテ誠意ヲ以テ整理ヲシテ居ラレルカト云フコトガ疑ハレルノデゴザイマス、ソレデ誠意ヲ以テ整理ヲシテ居ラヌモノヲ、十四年ニ誓ッテ居ッテ、又今度同ジヤウナ附帶條件ヲ以テヤルト云フコトハ、マルデ是ハ反古紙同然ノコトデアッテ、私ハ實ニ解シ兼ネルノデアリマス、デ此點ヲドウゾ十分明カニ兩大臣カラ御説明下サレマシテ、我々ノ了解ノ届クヤウニ御説明アラムコトヲ望ムノデアリマス、私ノ質問ハ是ダケデゴザイマス、極簡單デゴザイマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 小畑男爵ノ御質問ニ御答ヘ致シマスガ、御質問ノ要旨ハ、私ガ大藏大臣トシテ大正十四年度ノ秋ニ、臺灣銀行ノ整理ノ爲ニ、預金部資金ノ運用委員會ヲ開キマシテ、預金部カラ從來臺灣銀行ニ貸出シテアリマシタ所ノ、其金利ヲ下ゲルト云フコトニ付テ、委員會ニ御協議ヲ煩ハシマシタ時ニ、其當時ノ狀況ニ依レバ、臺灣銀行ノ整理ハ此整理案デ出來ル見込デアルト云フ、其ノ案ヲ立テ、置イタニ拘ラズ、其後ノ狀況ニ依レバ、臺灣銀行ノ整理ハ豫定ノ如ク行カナイ結果ト見エテ、此度震災手形ノ處理法案ヲ出サナクレバナラヌヤウニナツタノハ、如何ナル理由デアラウカト云フノガ、御質問ノ要旨デアッタト承リマス、大正十四年ノ八月デアリマシタカ、九月デアリマシタカ、私大藏大臣トシテ、當時ノ經濟狀況ノ下ニ於テ、臺灣銀行ノ整理案ヲ作リマシタコトハ、御説ノ通デアリマス、其整理案ノ骨子トシマスル所ハ、臺灣銀行ハ四分ノ一ノ減資ヲスル、無論積立金ハ取崩ス、而シテ整理案ヲ實行シマスル時ニ、最初ノ決算期ニ於テハ無配當トスル、次期

カラ五分ノ配當ヲスル、是ダケガ臺灣銀行竝ニ株主ノ負擔デアリマス、臺灣銀行竝ニ株主ガソレダケノ負擔ヲシマスルコトニ致シマシテ、日本銀行及政府ニ於テモ相當ノ援助ヲ致シタノデアリマス、從テ其當時ノ經濟狀況ノ下ニ於テハ、ソレダケノ案ヲ立テマスレバ、臺灣銀行ノ整理ハ、大體ニ於テ豫定ノ通り出來ルト信ジテ居ッタノデアリマス、然ルニ御承知ノ通り經濟界ノ不景氣ハ、其後世人ノ期待ニ反シマシテ長ク繼續ヲ致シマスルノミナラズ、其不景氣ハ益々深刻ヲ加ヘルニ至ッタト云フ狀況デアリマス、私共其當時整理案ヲ立案スルニ當ッテ、希クハ官民雙方ノ努力ニ依ッテ、財界ノ景氣ガ漸次回復ニ至ラムコトヲ、衷心ヨリ希望シタノデアリマス、不幸ニ致シマシテ、其期待ハ今日ニ至ルマデ未ダ實現サレマセヌノデ、御覽ノ通り深刻ナル不景氣デアリマス、從テ整理案立案ノ當時ニ於テ、此狀況デアラナラバ、此整理案デ臺灣銀行ノ整理ハ出來ラウト云フ期待ヲ持ッテ居リマシタノガ、其後ノ經濟狀況ノ變化ニ依ッテ、其通りノ整理案デハ有効適切ナル整理ガマダ出來ナイト云フ狀況ニナツタコトハ、誠ニ遺憾トスル所デアリマス、私ハ昨年ノ六月マデ大藏省ニ居リマシテ、其後内務省ニ轉任ヲ致シマシタカラ、其後ノ經濟界ノ狀況竝ニ其經濟界ノ狀況ガ臺灣銀行ノ整理ニ及ボシマシタル狀況ニ付テ、茲ニ御説明ヲ申上ゲル資格ハ無いノデアリマスガ、私ノ大藏省ニ居リマシタ時ノ狀況ヲ申シマスレバ、只今申上ゲルヤウナ次第デアリマシテ、其當時ニ於テハ、アノ整理案デ大體整理ハ出來ルト云フ見込ヲ持ッテ居リマシタガ、其通りニ行キマセヌノハ、即チ經濟界ノ不景氣ガ益々深刻ニ赴イタ結果ニ外ナラヌコトト存ジマス、此點ニ付テハ現大藏大臣カラ御説明ニナツタコトト考ヘマスカラ、私カラハ別ニ申上ゲルコトハ致シマセヌ

〔國務大臣片岡直溫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(片岡直溫君) 小畑男爵ヨリノ御質問ニ對シマシテハ、前大藏大臣タリシ現内務大臣ニ於テ整理案ヲ立テラレマシタ顛末ハ、御聽キノ通デアリマス、私ガ就職ヲ致シマシタノハ昨年ノ八月デアリマシテ、從來ノ整理案ヲ見マスルト、此震災手形ナルモノハ回收ガ出來ル、運用ガ出來ル、此見込

ノ下ニ整理案ガ立ッテ居ルノデアリマス、是ガ活用シナイト云フコトニ……活用シナイ迄モナク……能ク圓滑ニ流通シナイト云フコトニナリマス、其整理ノ遂行モ甚ダ困難ニナル、茲ニ於テ一般ノ普通銀行ト併セテ此震災手形ノ解決ヲ付ケタイト云フ考ヲ起シテ、提案シタ譯デアリマス、而シテ臺灣銀行ニ關シマシテハ、特に先刻委員長ヨリ御報告ニナリマシタ如ク、特別委員會ニ於テ能ク説明ヲ致シマシタ通ノ次第デアリマス、是デ御了承ヲ願ヒタイト存ジマス

○男爵小畑大太郎君 私ガ御尋イタシマシタノハ、詰リ一年半……僅カ一年半前ニ整理案ヲ立テラレテ、ソレガ財界ニ何等異變ナク、中央銀行ノ金利ハ二度引續キ引下ゲルト云フヤウナ方面ニ形勢ガ向キツ、アル、ソレニモ拘ラズ臺灣銀行ヲ再ビ茲デ救済セネバナラスト云フノハ、ドウ云フ譯デアルカト云フ意味ヲ申上ゲタノデアリマス、マダ御分リニナラネバ、モウ少シ内容ヲ申上ゲテモ宜シウゴザイマスガ、ソレハ公表ヲ憚リマスカラ申上ゲマセヌガ、必要デアレバ申上ゲマスガ、如何デゴザイマセウ

〔政府委員松本脩君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本脩君) 臺灣銀行ノ整理ニ付キマシテハ、大正十四年ノ九月ニ於キマシテ大體整理案ヲ立テマシテ、ソレデ進行シテ參リマシタノデゴザイマス、其後此財界ノ不況ニ依リマシテ、思フヤウニ其貸金ノ利子ノ回收ヲ得ナイモノガアリマシタ、デ是ハイツ迄モ滯リノ利息トセズシテ、之ヲ元金ニ振替ヘルト云フコトガ、整理ノ進捗上宜シカラウト存ジマシテ、ソレデ割引ノ方ノ貸出ハ、貸付ノ方ノ貸出ニ振替リマシテ、増加イタシテ居ル數ガ非常ニ多イノデアリマス、只今小畑男爵ノ御舉ゲニナリマシタ貸金ノ増加ト云フノハ、サウ云フ原因カラ多ク現ハレテ居リマスノデゴザイマス、ソレデ震災手形トノ關係ニ於テハ、先刻大藏大臣カラ申述べマシタ通り、震災手形ハ、整理計畫ヲ立テマシタ時ニ於テハ、是ハ取レルモノ、詰リ長イ目デ見マスレバ回收ノ出來ルモノト致シマシテ、整理計畫ヲ立テテ居リマス、デアリマスルカラ、此善後處理法案ニ依リマシテ、是ハ長イ目デ回收出來ルモノト見ラル

ル方法ガ立チマスレバ、臺灣銀行ノ整理計畫ガ進捗シテ參ルノデゴザイマスガ、是ガ若モ此際打切ラレルト云フコトニナリマスレバ、其資金ノ調達ノ關係ニ於テ、非常ニ一時ニ多額ノ資金ヲ要スルコトニ相成リマスノデ、是ハ絶對ニ困難ノ狀況デアリマス、左様ニ考ヘテ居リマス次第デゴザイマス

○男爵小畑大太郎君 私ハ甚ダ簡單デゴザイマスケレドモ、先程モ數字ヲ舉ゲテ伺ッタノデゴザイマスガ、ドウモ其利息ガ滯ッテ、ソレガ元金ニ加ハッタト云フ數ニシテハ、昨年ノ上半期ト昨年ノ下半期トノ貸金ノ殖エ方ト云フモノハ、大變ナ相違デアリマス、昨年ノ上半期ト云フモノハ、貸金ハ約三千七百万、ソレガ昨年ノ下半期ニハ一億一千ナシト云フモノニナッテ、八千万圓殖エテ居ルノデアリマスカラ、逆モ利息ドコロデヤナイト思フノデアリマス、此殖エテ理由ハ私モ能ク存ジテ居リマス、申上ゲテ宜シケレバ申上ゲマス、モウ少シ明瞭ニドウゾ御答ヲ願ヒマス

〔政府委員松本脩君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本脩君) 只今申上ゲマシタ利息ガ貸金ノ方ノ元金ノ方ニ振替ッテ居リマス云フコトハ、其矢張り大部分ヲ占メテ居ルノデゴザイマスガ、併シ單ニソレ一ツデハアリマセヌ、色々其他ニ貸増シモゴザイマス、併シソレハ臺灣銀行ノ整理進捗上已ムテ得ズ増加イタシタル貸金デゴザイマシテ、決シテ整理計畫ヲ妨ゲル貸金デハゴザイマセヌノデアリマス

○男爵小畑大太郎君 餘リ執拗デゴザイマスケレドモ、然ラバ臺灣銀行ト云フモノハ誠意ヲ以テ整理ヲシテ居ラスト申サレマスルナ、ソレカラモウ一ツ前藏相ニ伺ヒマスガ、是ハ臺灣銀行ノ整理ガ立チマシテ、只今御話ノアッタ如ク、預金部ノ資金運用委員會ノ希望決議ガ出マシテ、ソレカラ五千万圓預金部カラ金ヲ貸出サレタ、利息モ四分ノモノヲ二分ニ引下ゲマシテ、其時ハ大正十四年八月十一日デアリマシタガ、大藏省ハ聲明ヲシテ居ラレマス、是ハ嘘ノ聲明デアリマスカ如何デアルカ、ソレヲハッキリ御答ヲ願ヒマス

〔政府委員松本脩君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本脩君) 大藏省ガ整理計畫ヲ立テマシテ、聲明イタシタコト

ニ付キマシテハ、少シモ嘘ハ申シテ居リマセヌ、五千万圓ヲ、整理計畫ヲ立
テマシタ時ニ、貸シマシタコトハゴザイマセヌ、從來ノ貸金ノ利率ノ上ニ於
テ考慮ヲ加ヘタコトハアリマスガ、新ニ貸シマシタコトハゴザイマセヌ、大
藏省ノ整理計畫ノ際ニ聲明イタシタコトハ少シモ今日ニ於テモ變ッテ居リマ
セヌノデゴザイマス

○男爵小畑大太郎君 此上モウ御尋ネ申シテモ、同じコトデ時間ヲ潰スバカ
リデ……私ノ質問ハ此程度デ止メマス、疑ノ眼ヲ以テ止メマス

○議長(公爵徳川家達君) 高橋琢也君

○高橋琢也君 簡單デゴザイマスカラ……

〔高橋琢也君演壇ニ登ル〕

○高橋琢也君 私ハ震手兩案ニ對シマシテ意見ガゴザイマスルノデ、之ニ對
シマスル意見ヲ定メマスル爲ニ、一言伺ヒタイコトガアル、第一伺ヒタイノ
ハ、司法大臣ニ伺ヒタイ、新聞紙上デ見マスルト、田代冠トカ云フ人ガ臺灣
銀行ノ重役ヲ背任罪デ告訴シテ居ル、斯ウ云フコトガアル、又今一ツハ龍居
令宣トカ云フ人ガ、大藏大臣ヲ財界亂攪ノ罪カ何カデ告訴シテ居ル、斯ウ云
フコトガゴザイマス、果シテ其告訴ガ出テ居リマスルノデゴザイマセウカ、
又出テ居リマスルトスレバ、只今ドウ云フ狀況ニナッテ居リマスルカ、御取
調上ノコトヲ、成ルベク我々ニ得心ノ行キマスルヤウ御答辯ヲ戴キタイ、ソ
レカラ私ハ特別委員長ニ伺ヒタイ、先刻特別委員長ハ縷々御述ベニナリマシ
タガ、其中デ、大藏大臣ノ敢テ不信任ト云フノデハナイノデゴザイマセウケ
レドモ、大藏大臣ノ辯明ニ委員ガ餘リ喜ンデ御イデガナカッタヤウナコトヲ
承ッタガ、又一方面カラ聞クト、臺灣銀行ノコトニ付テ、是ハ飽ク迄モ之ヲ
整理シナケレバナラヌ、絶對ニ之ヲ整理シナケレバナラヌ必要ガアル、斯ウ
大藏大臣ガ言ハレタト……然ルニ委員ノ中ノ方ガ……先ニハ大藏大臣ガ言ハ
レタ……然ルニ委員ノ中ノ方ガ、先ニハ大藏大臣ハ臺灣銀行ノコトヲサウ必
要ト言ハレナカッタ、然ルニ今回ハ殊更ニ絶對必要ト言ハレタ、其意味ハド
ウ云フ譯カ、言ヲ二三ニセラレルノハ甚ダ分ラヌチャナイカト云フ、斯ウ云

フ質問ガ出タト云フコトヲ承ッタ、果シテサウ云フ質問ガ出マシタカ、出タ
トスレバ、之ニ對シテ大藏大臣ハ何ト答ヘラレテ居ルカ、ソレヲ明瞭ニ其答
辯ヲ私ハ承リタイ、ソレカラ新聞ニ依ルシカ仕方ガナイ、先刻小畑男爵ハ新
聞紙ヲ以テ此附帶決議ノコトヲ仰セニナッタヤウデアル、此附帶決議ヲ見マ
スルト、何ト評シテ宜カラウカ、殆ド雲ヲ掴ムヤウナ是ハ事柄デ、震災手形
ヲ持ッテ居ル銀行全部ノ基礎ヲ鞏固ニスルノデアル、基礎ヲ鞏固ニスルト云
フノハ、ドウ云フコトヲスルノデアル、第一是ガ分ラヌ、ソレカラ其中ニモ
臺灣銀行ハ絶對ニ……絶對ニト云フコトハ大藏大臣ガ今度殊更ニ言ハレタカ
ラ、ソレデハ絶對ヲ入レヤウカト、ソレデハ委員會デ入レタト云フコトヲ承ッタ、
隨分輕卒ノヤウナ話デアルガ、其絶對ノ意味ガ何處ニ在ルノカ、私ハ之ヲ承
リタイ、ソレカラ僅ニ是シキノコトニ大キナ委員會ヲ二ツモ設ケル、何ノ必
要ガアッテ委員會ヲ設ケル、職員録ヲヒロゲテ御覽ナサイ、此ノ位アリマセ
ウガ、連モ十日ヤ二十日デ以テ職員録ハ讀切レル所デハナイ、是ダケノ職員
ガ居ルノニ、マダ其政府ノ役人デハ調べガ出來ナイ、監督スルニ足りナイデ、
貴衆兩院總掛リデヤラウチャナイカト、斯ウ云フ風ニ見エル、何ノ必要ガア
ル、貴衆兩院ノ議員ハ、年々召集セラレタ議會ニ出テ自分ノ抱懷スル所ノ意
見ヲ述ベレバ足りテ居ルト思フ、又之ニ對シテハ十分ナ權能ガ與ヘテアル、
併ナガラ院外ニ出テ働カヌデモ宜イ、此委員ヲ拵ヘタ所デ、貴衆兩院ノ議員
ガ其兩院ニ對シテドウ云フ關係ヲ持ッテ居ルノカ、力ヲ持ッテ居ルノカ、何等
ノ資格ヲ以テ行クノデアアルカ、私ニハ是ガ分ラヌ、之ヲ一ツ承リタイ、ソレ
カラ一面カラ見ルト云フト、何ダカ此委員ト云フモノニナッテ置ケバ安心デ
宜イト云フノガ一ツデアラウシ、又貴衆兩院ガ平生ニ、銀行ノコトカ何カデ
政府ノ方ヘ縁故ヲ付ケテ置クト云フコトハ、實ハ是ニ委員ニナル人ハ迷惑ダ、
何故迷惑ダト云フノハ、此高潔ナ貴族院議員ガ、サウ云フ縁故ヲ持ッテ居レ
バ、林豫算委員長ガ曩ニモ言ハレタヤウナ、英國製ノ「ビスケット」ノ虞レガ
アル、少クトモ李下ノ冠、瓜田ノ履、ソレハシナイ方ガ最モ宜カラウ、ソレ
ニモ拘ラズ、殊更ニ兩院ノ議員ヲ入レテクレト云フコトデ、コッチカラ政府

へ註文スルナント云フ、殆ど其意味ガ分ラヌ、最モ私ニ玆ニ分ラヌコトガアル、帝國議會ニ協賛ヲ得ベキモノハ其手續ヲシタラ宜カラウ、コンナコトヲ書カヌデモ當リ前ノ話デアル、帝國議會ニ出スベキモノハ何處ニアツテモ出サナケレバナラヌ、ソレヲコンナ附帶條件ノ中ニ書イテ何ニスル、此意味ガ分ラヌ、私ハ是等ノコトハ、八回モ御開キニナッタ委員會ダ、十分ナ御審議ガ出來テアルダラウト思フ、而モ十五人ノ委員デアル、其委員ハ貴族院中ノ一粒撰リノ人ヲ持ッテ行ッテ拵ヘタ委員デ、十分ナ御審議ガアッタニ相違ナイ、ドウカ其邊ヲ明瞭ニ委員長カラ御答ヲ願ヒタイ

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 高橋君ニ御答へ致シマスルガ、新聞紙ニ出テ居リマシタコトヲ御引用ニナリマシテ、告訴若クハ告發ガ檢事局ノ方ニ出テ居ル趣デアルガ、其處理ハドウ云フヤウニスルノデアルカ、斯ウ云フ意味ノ御尋デアリマシタ、御承知ノ如ク、檢事局ニ於テ受ケマスル告訴ナリ告發ハ、多クハ人ノ名譽等ニ關係スル事柄ゴザイマシテ、其檢察中ニ屬シマスルモノヲ盡ク公ノ席デ申上ゲルコトハ、差控ヘテアルノデアリマス、未ダ詳シキ報告ハ私受ケテ居リマセヌガ、新聞紙ニ載ッテ居ルヤウナ事實ガアルト致シマシテモ、之ヲ詳シク此處デ御報告申上ゲルコトハ、差控ヘルノガ當然デアルト思フノデアリマス、サリナガラ檢事局ニ於キマシテ告訴告發ヲ受ケマシタ場合ニ於キマシテ、固ヨリ嚴正公平ニ且ツ慎重ニ事件ヲ扱ヒマスルコトハ、申ス迄モナイコトデアリマス、是ハ度々此席デ申上ゲテ居ル通デアリマス、是ダケ御答へ申上ゲマス

○伯爵林博太郎君 高橋君ノ御質問ニ御答へ致シマス、第一問ニ對シマシテハ、特別委員會ノ討論ノ際ノ背景ニ付テ申上ゲタノデアリマシテ、其批判、即チ大藏大臣ガ不信任ナリヤ否ヤト云フヤウナコトハ、是ハ私が特別委員ノ意思ヲ忖度シテ申上ゲルコトハ出來ナイト云フコトヲ申上ゲテ置イタト考ヘテ居リマス、第二ノ御質問ハ、是ハ特別委員會ニ於テハ現ハレマセヌデシタケレドモ、懇談會、即チ昨日ノ懇談會ノ時ニ於テ色々其間ニ練ッタ問題デア

リマス、第三ハ、此附帶決議ニ於テハ、基礎ヲ鞏固ニスル云々トアルガ、一體基礎ヲ鞏固ニスル方法ハドウデアルカ、斯ウ云フ御質問デアリマシタガ、是ハ讀ンデ字ノ如ク、諸銀行ト云フモノヲ、基礎ヲ鞏固ニスルト云フコトハ、必要ナコトデアリマスカラ、其意味ニ於テ現ハレタコトデアルト考ヘマス、其基礎ヲ鞏固ニスルト云フコトニ付テハ、先程申シマシタ如ク、調查會ノ設置ト云フコトモ必要デアリマセウ、又日本銀行ノ監督ト云フコトモ必要デアリマセウガ、ソレ等ハ、是ハ矢張り附帶決議デアリマスカラ、内容ノ如何ハ……内容ヲ充實スルコトノ如何ハ、特別委員竝ニ諸君ニ於テ是ハ御考慮ニナルコトデアラウト考ヘルノデアリマス、又絕對ニト云フ言葉ハドウデアラウカト云フ御話モアリマシタガ、是ハ大藏大臣ガ言明サレ、且ツ首相ガ之ニ對シテ贊意ヲ表サレテ居ルノデアリマス、絕對ニト云フコトハ、頗ルト云フヤウナ意味ニ私ハ解釋イタシマス、非常ニ必要ナコトデアル、其特殊銀行ヲ活カスカ殺スカト云フコトハ、是ハ國家ノ爲ニ非常ナ大事デアルカラ、絕對ニ是ハ必要デアルト云フ、斯ウ云フ意味ニ解釋シテ宜カラウト私ハ思ッテ居リマス、ソレカラ第四ニハ、此調查會ニ上下兩院議員ヲ入レル、是ガドウモ不公平ニナッテイカヌチャナイカ、ソレニ付テノ質問アリシヤ否ヤ、先程、板倉子爵モ仰セガアリマシタケレドモ、是ハ政府ニ對スル質問デアリマシタカラ、私ハ申シマセヌデシタ、只今委員長ニ對シテ之ヲ聽クト云フ御話デアリマスカラ申上ゲマスガ、是ハ大體委員會ニ於テ練ッタ問題デアリマス、此調査委員會ト云フモノハ、極メテ重大ナ公平嚴正ナ審判ヲスル委員會デアリマスカラ、單ニ官吏ノミヲ以テ之ヲ組織スル譯ニ行カナイ、金融調查會ト云フモノガアルガ、併シハ金融上ノ制度ノ調查會デアツテ、或ハ金融調查會ノ委員ガ是ト兼任ニナル場合ガアルカドウカト云フ御話モ出タノデアリマスガ、是ハ兩兩相兼ネテモ兼ネヌデモ差支ナイ、併シ兩院ノ議員ヲ之ニ加ヘルト云フコトハ、附帶決議ニモアリマス如ク、兩院ノ議員ハ、即チ兩院ノ議員タル者ハ國民ヲ代表シテ居ルモノデアル、國民ヲ代表シテ居ル議員ヲ嚴選シテ、政黨ニ囚ハレザル、斯道ノ權威アリ、而シテ特殊ノ能力知識ヲ有シテ居ル者ヲ之

ニ加ヘルト云フコトハ、極メテ必要デアルト、斯ウ云フ意味ニ於テ是ガ加ハツタ次第デアリマス、先程モ申シマシタ如ク、會計検査院ノ検査官ヲ之ニ加ヘタイト云フヤウナ質問モアリマシタガ、會計検査院ノ検査官ナルモノハ、總テノ會計ガ紊亂セルヤ否ヤ、法規ヲ誤レルヤ否ヤヲ、第三者ノ地位ニ立ッテ監察スル役目デアルカラ、其検査官ガ此中ニ入ルト云フコトハ、自己ノ天職ヲ誤ルモノデアルカラト云フヤウナコトカラ、マア是ハ抜イタラ宜カラウト云フヤウナコトニ相成ツタ次第デアリマス、是ハ決シテズベラニ、宜イ加減ニ質問應答ヲシタニ止マルカト仰シヤルガ、決シテサウデハナイ、十分慎重ニ特別委員會ニ於テ練ツタト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○高橋琢也君 司法大臣ハ、先刻新聞紙ニ依ッテ質問ヲシタケレドモ、サウ云フコトガ有ルヤ無キヤト、極クアヤフヤナ御答辯ガアリマシタガ、内容ヲ御漏ラシニナル……取扱ヒ振リガドウナッテ居ルカト云フヤウナ細カイコトハ、無論御話ニナリニクイコトモ有ルデゴザイマセウケレドモ、併シ告訴狀ガ出テ居ル、出テ居ナイト云フコトハ、司法大臣ハ御承知ナクテハナラヌ筈デアル、又新聞紙上ニ立派ニ出テ居ル以上ハ、此處ニアル以上ハ、皆承知シテ居ル、サスレバ告訴狀ガ確カニ出テ居ルト云フダケノコトハ、御明答ニナッテモ然ルベキコトト考ヘマス、其御答ガナイ、ソレカラ今一ツ總理大臣ニ伺ヒマス、只今特別委員長カラ述ベラレマシタ兩院議員ヲ調査會ノ委員ニスル、斯ウ云フコトデアル、一體附帶決議ナルモノハ、表決ニハ加ハラヌ、サウスルト此本案ガ議決サレテ本案ヲ實行スルト云フ場合ニ、政府ハ附帶決議ノ方ハ實行セラレヌデモ、貴族院ノ決議シタモノデナイカラ差支ナイ、斯ウ云フヤウニモ言ヘバ言ハレルト思フガ、政府デハドウ爲サル御積リデスカ、此附帶決議ノ通り必ズ之ヲ御承認ニナッテ、御實行ヲ爲サルト云フ御考デアリマスカ、ソレヲ伺ッテ置キマス

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 御答ヘ致シマスルガ、檢察上ノ機密ニ屬スルコトハ、公開ノ席デハ申上ゲルコトハ出来マセヌ

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 只今特別委員長ヨリ御報告ニナリマシタ附帶決議ナルモノハ、委員會ニ於テ之ヲ議決セラレテ、サウシテ此席ニ特別委員長カラ御報告ニナッタノデアリマスノデ、本議場デ之ガ採決ヲ爲サレルト否トニ拘ハリマセズ、政府ニ於テハ之ニ付テハ貴族院ノ諸公ノ大體御意向ガ現ハレテ居ルト考ヘマシテ、其御趣旨ニ依ッテ此問題ノ解決ニ當リタイト思ッテ居ルノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ニテ質疑ハ終了シタモノト……

〔小林嘉平治君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 小林君ハ御質疑デアリマスカ

○小林嘉平治君 質疑デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ此際願ヒマス

○小林嘉平治君 此處デ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○小林嘉平治君 私ノ見ル所ニ依リマスト、今提案ニナッテ居リマスル震災手形ニ關スル問題ハ、至ッテ簡單明瞭ナル問題デアリマス、私ハ此問題ガ何ガ故ニ今日ニ至ッタカト云フコトヲ、非常ニ怪シデ居ル、確カニ此決議ノ爲ニ、震災手形ノ效力ノ半バヲ殺ガレテ居ル現在ノ經濟界ノ狀態デアリマス、而モ其今日ニ至ッタ所以ハ何デアルカト云フト、震災手形其モノハ、先刻委員長ノ説明ナサッタヤウニ、正當ニ解釋シテ居ナイ者ガ多イカラデアリマス、私ハ衆議院ニ於ケル論議、又貴族院ニ於ケル論議ヲ詳シク忠實ニ注意ヲ拂ウタモノデアリマスガ、其論議ハ枝葉末節デアル、既ニ今日、先刻委員長ノ附帶決議案ヲ見テモ、痛切ニ其感ヲ致シタ、又先刻來二三ノ質問ヲ爲サル方ノ御説ヲ聽イテモ、同様ノ感ヲ深ク致シタノデアリマス、茲ニ於テカ私ハ自分自ラモ、今日特別委員長ノ扱ハレテ居ル如キ問題デアラナラバ、私ハ此問題ニハ大反對デアアルノデアリマス、私ハ斯ク見テ居ナイノデアアル、恐ラク委員諸君モ、多數ノ方々モ私ト同ジャウナ解釋ヲ震災手形ニ向ッテ持ッテ居ラシヤ

ルデアラウト思フノデアリマス、併シ只今ノ附帶決議ナルモノ、又先刻來ノ議員ノ方々ノ御質問ト云フモノハ、一層國民ノ疑ヲ深クシハシマイカト云フコトヲ私ハ虞レル、故ニ此質問ヲ致スノデアリマス、委員長ノ報告ハ、是ハ詳シク讀ンデ見マス、私ハ又事情ヲ能ク知ッテ居ルカラシテ、誤解ハ致シマセヌガ、要スルニ此震災手形ナルモノハ、臺灣銀行ノ救済ニ極ク必要ナリト認メル、此政府ノ言葉ヲ信賴シテ、サウシテ、之ニ同意ヲスルノデアルト云フコトニカヲ……重キヲ置イテ居ラッシャルノデアリマス、昨日來私ハ震災手形ノ委員會ノ光景ヲ親シク見テ居リマスガ、此政府ノ此言明ヲ得タコトヲ、大イナル手柄……ト云ウテハ如何デアリマスガ、茲ニ於テ心機一轉サレタヤウナ態度ヲ取ッテ、サウシテ此決議ガ圓滿ニ運ンダヤウナ状態デアル、又委員諸君ノ此問題ニ對スル所ノ賛成ノ要點ヲ見マシテモ、今日ノ經濟界状態ハ斯ノ如クデアル、尙ホ審議ヲセネバナラスケレドモ、今日ノ經濟界ノ状態ニ鑑ミテ、已ムヲ得ズ賛成スルモノデアルト云フヤウナ言葉ヲ漏ラシタ方ガアル、私共ノ尊敬シテ居ル經濟界ニ最モ經驗ヲ有シテ居ラッシャル方ニ、此言ヲ爲サタ方ガアルノデ、實ニ私ハ驚イタノデアリマス、其問題ハ何デアアルカト云フト、既ニ大正十二年ニ「モラトリウム」ノ法令ヲ布イタ時ニ、此問題ハ決セラレナケレバナラスノデアリマス、何故ナラバ、既ニアノ時ニ於テ日本銀行ガ「スタンブ」ヲ捺スト云フコトハ、要スルニ保證ノ位置ニ立ッタノデアリマス、日本銀行ガ何故ニ保證シタト云フト、日本政府ガ……日本政府ガ命令ヲ下シタノデアリマス、アノ時ニ於テ既ニ……

「質問デナイ討論ダ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 小林君、小林君ニ御注意イタシマスガ、誰ニ向ッテノ質疑デアリマスカ、只今ハ質疑ノ場合デゴザイマスカラ、十分御注意ヲ請ヒタウゴザイマス

○小林嘉平治君 私ハ此質疑ヲ爲スコトノ前提トシテ、斯ク話シテ置クコトノ必要ヲ認メルノデアリマス、而シテ私ノ質問ハ委員長及大臣ニ對シテノ質問デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 委員長竝ニ政府ニ對スル質疑デアリマスカ

○小林嘉平治君 左様デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 成ルベク簡明ニ願ヒタウゴザイマス

○小林嘉平治君 既ニ政府ガ其當時ニ於テ其責任ヲ負ッタモノデアリマス、從テ私ハ世間ノ人ハ、或ハ一二ノ銀行ヲ救済スルカ又ソレニ依ッテ國民ノ負擔ヲ重クスルトカ云フコトニ依ッテ反對ヲ致シタノデアアルガ、流石ソレデモ今日此資金ヲ直グニ回收セヨト云フヤウナコトヲ言フ者ハナイ、假令如何ニ此問題ニ反對シテ居ル者デモ、少クトモ此「モラトリウム」ヲモウ一年延バシタラ宜イデヤナイカト云フ程度ノ反對デアル、少クトモ根本カラ此問題ニ反對スル人ハ決シテナイ、ソコデ私共ハ即チ政府ガ保證シテ居ル以上ハ、既ニ政府ノ責任ニ歸シテ居ルノデアッテ、此手形ヲ……震災手形ヲ救フコトニ依ッテデス、若シ救フト云フ言葉ヲ用キルナラバ、銀行モ救ハレルト同時ニ、政府自體モ救ハレルノデアアル、國民モソレニ依ッテアノ當時ノ負擔ヲ輕クスル意味ノ法案デアアルノデアリマス、茲ニ思フ致シテ、私ハ此問題ノ賛否ヲ決シヤウト思ッテ居ルノデアアル、然ルニ國民ノ多クハ、是ハ一銀行ヲ救済スルモノデアアル、一政商ヲ救済スルモノデアアル、斯ウ云フコトヲ言フノデアリマス、隨分暢氣ナ人ガアッテ、中ニハ或商店ノ番頭ヤラハ……鈴木商店ハ自分自ラ仕事ヲ縮小スレバ宜イデハナイカ、自分デ縮小シタラ宜イデハナイカ、何故斯ウ云フ大掛カリノ運動ヲスルノカ、ト云フコトヲ言ッテ居ルト云フコトヲ聞キマシタ、若シ某商店、某銀行ナルモノガ、國家、國民ニ何等ノ損害ヲ與フルコトナクシテ縮小シ得ルモノナラバ、サウ云フコトハ何等……

「議長、討論デアリマス」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 小林君、討論ハ……

○小林嘉平治君 私ガ茲ニ御尋ネスルコトハ、之ヲ前提トシテデナケレバ……

○議長(公爵徳川家達君) 議長ノ云フ事ヲ御聽キ下サイマシ、議長ノ發言中ニハ、議員諸君ハ暫ク御發言ヲ御見合セニナルノガ德義上穩カト考ヘマス、

議長ハ只今ノ小林君ノ質疑ハ、質疑ト看做シマセヌ、議場ニ居ラレル諸君モ、議長ト同感ノヤウニ考ヘマスカラ

〔其通リ〕ト呼フ者アリ

德義上、十分ニ質疑ト諸君ガ認メラレルヤウニ願ヒタウゴザイマス

○小林嘉平治君 御注意ハ辱ケナウゴザイマス、併シ……

○議長(公爵德川家達君) 而シテ討論ノ賛否ヲ御述ベニナリタケレバ、マダ其機會ガ澤山ゴザイマスコトハ、小林君モ御承知ノ筈デゴザイマス

○小林嘉平治君 併シドウシテモ是ダケノ前提ヲ申上ゲテ置カナケレバ、私ノ伺フコトガ……

〔前提ナシニ質問セヨ〕無用馬鹿ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御靜肅ニ願ヒマス、制スベキコトハ議長ガ制シマス

○小林嘉平治君 然ルニ此決議ニシテモ、又政府ノ答辯ナルモノヲ見マシテモ、臺灣銀行ヲ救済スル爲ニ必要デアルト云フコトガ、茲ニ大ニ叫バレタノデアル、是ハ世間ノ誤解ヲ招ク因ナンデアリマス、衆議院ニ於ケル……民衆ノ彼ノ問題ヲ裏書スルコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、私ハ、斯ク口ニハ御話ニナルガ、要スルニ是ハ臺灣銀行ヲ救フノデヤナイ、要スルニ臺灣銀行ヲ救フト云フコトハ、經濟界ヲ安定スルコトデハナイカラ

〔議長、質問ニアラズ〕ト呼フ者アリ

單ニ臺灣銀行ノミデハアリマセヌ、經濟界ヲ安定スルコトニナル、即チ國家ヲ救フコトニナルノデアル、國民ノ負擔ヲ輕クスルコトニナルノデアル、斯ウ云フ意味デアラウト私ハ思フノデアリマス、私ハ確ニ其意味ヲ明カニシテ置クコトガ、今日ノ場合極ク必要デアラウト思ヒマスノデ、私ガ賛否ヲ決スル上ニ於テ必要デアリマスカラ

〔質問中止〕ト呼フ者アリ

委員長竝ニ大臣ノ所見ヲ伺ツテ置キマス

〔何ノコトカ〕答辯ノ必要ナシト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 答辯ヲ致サル、人ガナケレバ、答辯ナシト議長ハ

認メマス、是ニテ質疑ハ終了イタシタモノト認メマス、討論ハ午後ニ開カウト考ヘマス、午後一時三十分マデ休憩

午後零時十三分休憩

午後一時四十七分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔山本書記官朗讀〕

本日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

保稅倉庫法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 子爵 八條 隆正 君

副委員長 內田 嘉吉 君

防火地區內借地權處理法案特別委員會

委員長 永田 秀次郎 君

副委員長 佐々木 志賀二 君

本日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表第十回報告書

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、通告順ニ依リマシテ發言ヲ許シマス、高橋琢也君

○高橋琢也君 大藏大臣ガ見エマセヌヤウデスガドウデセウ

○議長(公爵德川家達君) 大藏大臣ハ程ナク出席セラレルダラウト考ヘマス

〔高橋琢也君演壇ニ登ル〕

○高橋琢也君 私ハ只今日程ニ上ボツテ居リマスル震災手形損失補償法案、震災手形善後處理法案、此二法案ニ對シマシテ卑見ヲ述ベタイト思ヒマス、斯様ナ大事ナ法案ヲ討論スルニ當ツテ、大藏大臣ノ顔ガ見エヌト云フコトハ、遺憾至極デゴザイマスル、併シ前ノ大藏大臣濱口君モオ出ニナルシ、一方ニハ大藏ノコトニ最モ精通シテオイデニナル若槻總理大臣ガオ出ニナリマスルカラ、大藏大臣ガオ出ニナラナクツテモ御差支ナイノカモ存ジマセヌ、私ハ

此兩法案、就中處理法案ニ對シテ反對スル者デアルノデス、結論ヲ最初ニ申上ゲマスルガ、私ハ二讀會ニ移スベカラズト云フ說ナンデス、御承知ノ如ク、此法案ハ滿天下ノ人ガ惡法トシテ日々夜々絶叫シテ居ルモノナンデス、此惡法案ガ今デハ有ラユル鐵條網ヲ打破ッテ遂ニ此貴族院ヲ通過セムトスルヤウナ形勢ニナッテ居リマス、誠ニ遺憾ナコトデアルノデス、悲ムベキコトデアルノデス、此法案ノ宜シクナイト云フコト、殆ド惡魔視セラレテ居ルト云フコトハ、諸君モ皆御承知ノコトデアラウト思フ、國民ガ大會ヲ開イテハ決議ヲ爲シ、演說會ヲ開イテハ公衆ニ訴ヘ、新聞紙ハ都邑ヲ通ジテ數千萬ノ新聞紙、日々、朝刊モ、夕刊モ、筆ヲ揃ヘテ此法案ヲ攻撃シテ居ル、若シ政府ニシテ輿論ト云フコトヲ顧ミラレルナラ、疾ニ撤回セラレルノガ當然デアラウト思ッテ居ル、政府ハ殆ド其聲ガ耳ニ入ラナイ、アレ程鋭敏ナ耳ト頭ヲ持ッテオイデナサル各國務大臣ガ、何ニモ聞カナイ、見ナイト云フヤウナ風ヲシテ、知ラザル眞似ヲシテオイデナルト云フコトハ、誠ニ遺憾千萬ナコトデアルノデス、此法案其モノガ貴族院ヲ大手ヲ振ッテ通過スルト云フコトハ、諸君ハ如何ニ思召シマスルカ、恐ラクハ諸君ノ中ニモ、一人デモ無事ニ此處ヲ通過サセタイト思ッテオイデノ御方ハゴザイマス、様々ノ事情、色々ナ關係カラ、已ムコトヲ得ズ、心ニハナイガ、政府ノ依頼ガアルトカ、頼ミガアルトカ、或ハ銀行其他ニ關係ガアルトカ云フ點ヨリシテ、涙ヲ吞ンデ賛成ヲスルノデアルト、恐ラクハ諸君ノ頭ノ中ハ皆サウデアラウト思フ、此惡法案、此惡法案ト私ハ今日最終ノ戰ヲ交ヘルノデアル、勿論必勝ハ期サナイ、唯斃レテ已ムノデアル、大凡斯ウ云フモノニ打勝タウト云フニハ、ソレダケノ力ガ無クテハナラナイ、而モ正義ノ力ガ無クテハナラナイ、私ニハ其力ガ足りナイ、ソレ故ニ如何ニ私ガ戰ッテ見テモ、茲ニ勝算ハ無いノデゴザイマセウ、難攻不落ノ旅順ガ落チタノモ皇軍ノ力デアル、世界一ノ名城「メツ」、十七万ノ兵ヲ以テ「バゼーヌ」ガ籠ッテ居テモ、獨軍ノ力ニ抗スルコト能ハズシテ破レタ、私ガ如何ニ力ヲ盡シテ見テモ、私ノ力デ之ヲ阻止スルコトガ出來ナイノデセウ、併シ少クトモ諸君ノ中ニ私ニ御同意下サル、御共鳴……共鳴ト云フノヲ、

私人齒ヲシテ居リマスカラ、チヨット聞エナカッタカモ知レマセヌ、共鳴シテ下サル御方ハ有ルデアラウト私ハ信ジテ居ル、此法案ガ通過シマシタナレバ、熱血ノ涙ヲ絞ルモノハ八千万ノ國民デアル、憤然トシテ怒ル者ハ帝國ノ志士デアル、若モ此法案ガ無事ニ通過シタトスレバ、此世ノ中ニドレ程ノ毒ヲ流スデゴザイマセウカ、政界ニ如何ナル醜ヲ殘スデゴザイマセウ、是ハ私ガ申上ゲヌデモ、皆様ノ御頭ニ御判斷ガ付イテ居ル筈デアル、是ガ通過シタナレバ、國民ハ全ク窮地ニ陥レラレルノデアル、國家ハ危殆ニ導カレルノデアル、ソレニモ拘ラズ、今ハ僅ニ附帶條件トカ云フモノヲ以テ、此議場ヲ易易通過セムトスル有様が見エルノデス、私ハ本案ニ付テ利害ハ最早詳シクハ申シマセヌ、ナゼナレバ衆議院以來詮議ニ詮議ヲ盡シ、審議ニ審議ヲ盡シ抜イタ、既ニ皆様ハ速記録ヤラ、新聞紙ヤラデ、十二分ニ御承知ニナッテ居ルコトデア、故ニ之ヲ詳シク申上ゲルハ、却テ諸君ニ相濟マスコトニナリマスルカラ、是ハ申上ゲヌ、併シ何故ニ政府ハ先キノ附帶條件ニ附イテアルガ如ク、絶對ニ臺灣銀行ヲ救ハニヤナラヌノデスカ、臺灣銀行ノ整理ナルモノハ確力ニ回モ定メラレテ、現ニ先刻或ル御方ノ質問ニ對シテ前ノ大藏大臣ガ答辯ナサッタコトヲ拜聽シテ見テモ、政府ハ十分ナ之ニ責任ヲ持ッテ御答ハ出來ナイヤウナ有様デアル、然ラバ臺灣銀行トシテハ貸出シテ缺損ガ立ッたら、又政府ヘ泣付ケバ何時デモ政府ハ金ヲ出シテ呉レル、斯ウ云フヤウニナル、是ハドウモ驚人ッタ話デアル、先キニ林委員長……特別委員長ヨリ此處デ以テ御報告ニナッタコトヲ聞キマスルト、大震災ニ依ッテ震災手形ナルモノガ出來タト云フ其起原ヨリ、政府ニ代ッテ御辯明ガアッタ、サスレバ先キノ大正十二年九月一日ノ大震災ニ原因シテ、此震災手形ト云フモノガ起ッタノデアル、然ルニ今ヤ震災手形ト云フ名ガアッテ、之ヲ救ハニヤナラヌト云フコトニナルト、普通ノ人ハア、氣ノ毒ナ、アノ大震災デ、關東五百万ノ民衆ガ或ハ斃レ、或ハ傷キ、家ハ燒カレ、財産ハ失ヒ、今モ尙ホ親ガ殘サレテ子ノナイ人ガアル、子ヲ失ッテ……親ヲ失ッテ子ノ殘ッテ居ル人ガアル、現ニ此處ノ議員デ居ラレタ京極子爵ノ如キハ、十四人モ一時ニ悲慘ノ境遇ニ御遭ヒニナッタノデアル、我々ノ

友人磯部君モ亦、當時ノ災ニ罹ッタノデアル、ソレ故ニ震災ノコトデアレバ、何人モ之ヲ救フト云フコトニ付テハ、ア、氣ノ毒デアルト云フコトガ先キニ頭ニ起リマスカラ、千万圓が一億圓デモ出スト云フコトニ客カナラヌデゴザイマセウ、併シモウ其事ハ過ギタ、銀行ノ始末ノ惡イ爲ニ、震災手形ト云フ名ヲ藉リテ來テ、之ヲ奇貨居クベシトシテ、銀行ガ助ケテ貰ハウト言ヒ、政府モ之ヲ助ケルト云フコトハ、私ニハ殆ド了解ニ苦シム、能ク世ノ中ニ火事場何トカト云フノガアリマス、俗諺ガ……、惡ク稱シタラバサウ云フコトニ當リハ致シマセスカ、獨逸ノ諺ニ、小賊ハ絞首臺ニ上ルガ大賊ノ前ニハ世人ガ脱帽スルト云フコトガアルガ、是ハ獨逸ノコトデアルカラ、日本ニハ絶對ニ無イニ違ヒナイケレドモ、八千万ノ國民ノ内、或ハ絶無トハ稱ヘラレヌト私ハ思フ、此法案ガ通過シタ曉ニ、泣ク者ハ國民デアッテ、喜ブ者ハ一政商デア、斯ウ言ッたらドウ致シマセウ、或ハ一銀行デアルト言ッたらドウ致シマセウ、ソコ迄國民ガ知ッたナラバ、能クマア震災手形ノ法案ヲ貴族院ハ易々通シマシタナト斯ウ申シマセウカ、何モ考ヘル餘地モ何モナイ、ヒドイモノヲ貴族院ハ通スデヤナイカト云フ議論ガ、ソコニ直グニ詰問ガ起ッテ來ヤウト思フ、度々神戸ノ鈴木云々ト云フコトガ衆議院デモ出デ、本院デモ出テ居ルガ、私ハ鈴木ト云フ者ガドウ云フ者デアルカ、ソレハ知ラナイ、唯私ノ覺エテ居ルノハ、先年米騒動ノ時ニ、神戸ニ一揆ガ起ッテ、鈴木商店ナルモノハ一揆ノ爲ニ焼拂ハレタト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレ程ノ恨ヲ受ケ、公衆カラ斯ク迄ニ鈴木ナル者ガ嫉マレルトカ、恨マレルトカ云フコトガアラウトハ私ハ思ハナイ、是ハ何カノ間違カラ起ッタノダ、併シ其鈴木ナル者ガ二億八千万圓ノ借財ヲ一銀行ニスルト云フニ至ッテハ、實ニエライモノデアアル、日本ノ實業家多シト雖モ、誰モ此足下ニ及ブ者ハ恐ラクハ無カラウト思フ、實ニエライモノデアアルガ、其エライ鈴木ハ誰ガヤル、タッタ一人ノ、ヨネトカ云フ後家サンガヤル仕事デアアル、天下ノ女傑デアアル、又之ヲ助ケル金子直吉トカ云フ番頭ガアルト聞イテ居ル、此怪腕ニ至ッテハ實ニ驚クノ外ハナイ、是等ノ人ガアノ大キナ鈴木ヲ拵ヘタノデ、今デハ鈴木ノ天下カ、天下ノ鈴木カト稱ス

ル位ニ、新聞ニマデ出テ居ルノデアアル、斯カル鈴木デアアルカラ、國家公共ノ事ニ是マデ貢獻シテ居ルコトハ、エライモノデアラウト私ハ信ジテ居ルガ、不幸ニシテ未ダ曾テ聞カナイ、サウスルト一方ニ貢獻スルコトハナイ代リニ、困ル時ハ政府デ救ウテヤラウデヤナイカト、斯ウ云フ何カ條理ガアルカ知ラヌガ、斯ウ云フ條理ハ私ドモ辭書カラ見出スコトガ出來得ナイ、英語ニモ獨逸語ニモ無イヤウデアアル、況ヤ支那ニハ無イ、サスレバ震災手形ト云フモノノ、震災ニ關係シタ事柄カラシテ、遂ニ氣ノ毒デアアルカラ、是等ノ店ニ損失ヲ掛ケ、臺灣銀行ト云フ大銀行ニモ損失ヲ掛ケタカラ、之ヲ國家ガ救ウテヤラナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ歸著スルヤウデアアル、ソレ迄ノ國家ハ義務ガアルデゴザイマセウカ、私ハ少シ茲ニ疑フノデアアル、若シ是ガアリトスレバ、一億圓ガ五億圓デモ宜シイ、出シテヤルガ宜シイ、ケレドモ其所マデノコトヲ私ハ見出シ得ナイ、ソレ故ニ茲ニ疑ヲ持ツノデアアル、斯カル事情デアルナラバ、何モ政府ガ進ンデ此際財界マデモ一時ニ攪亂サシテ、株式モ大暴落ヲ爲シ、預金者モ大恐慌ヲ來スト云フヤウナコトマデ引摺リ出シテ、何モ此震災法案ヲ通サナケレバナラヌ必要ハナイト私ハ信ジテ居ル、ソレハ大藏大臣ガ輕卒ニ言ハレタ結果デアルト言ハレレバソレ迄デアアルガ、外ノ事トハ違ッテ、苟モ國務大臣デアアルカラ、其人ガ輕卒ニヤッタ爲ニ、幾千万ノ國民ガ迷惑ヲスルト云フコトニナル、抑、一日モ、斯ウ云フコトガアッタ時ニ、國務大臣タル人ガ責任ヲ負ハズニ居ッテ宜イモノデアアルヤ否ヤ、私ハ疑ナキ能ハヌ、ナニ疑ハナイ、宜イモノデナカラウト茲ニ斷案ヲ下スコトニナル、ソレ故ニ私ハ斯カル法案ハ、少クトモ處理法案ハ二讀會ニ移スモノデナイト信ジテ居リマス、私ハ茲ニ甚ダ申上ゲニクイ事柄、或ハ御叱リヲ蒙ルカモ知レナイ、一昨日ノ委員會ノ結果デアラウト思ヒマス、此法案ノ特別委員會ノ結果デアラウト思ヒマス、二十二日ノ時事新報ニ斯様ナコトガ出テアル、青木信光子ノ談ト云フモノガアル、國民ノ疑念一掃、貴族院ニ此説ガ容レラレタノデ、無事ニ通過スルデアラウト云フヤウナ意味ノコトガアッタ、私誠ニ此點ニ付テハ了解ニ苦シム、時事新報バカリデナイカラ、是ハ恐ラクハサウ

仰シヤッタコトが有ルノデアラウト思ヒ、又非常ナ御骨折デ茲ニ至ッタモノデアラウカラ、實ハ謹シデ御禮ヲ申上ゲニヤナラヌヤウナ次第デアルガ、唯私ハ、青木信光子ハ研究會ノ領袖デアルト云フコトハ承知イタシテ居ル、國民ノ疑念ヲ一掃スルコトガドウシテ出來タノデアルカ、ソレガ私ニハ分ラナイ、ナゼナレバ、特別委員會スラマダ知ラナイ、委員會ヲ開イテ議決シタコトデモ何デモナイ前ノ話デアル、然ルニ貴族院ハ容レタ、委員會スラ知ラナイモノヲ貴族院ガ容レタト云フコトハ、ドウ云フ意味ニナリマスルカ、私ニハドウシテモ了解ガ出來ナイ、斯ウ云フ事柄ハ、委員會モ濟ンデ然ル後、委員會ハ通過シタカラ、本議會ハ多分宜イデアラウト云フ、推理上カラノ御論ナラハ知ラズ、未ダ委員會モ通過シナイ、ソレヲ國民ノ疑念ガ一掃スルト云フ、ドウシテ八千万ノ國民ノ腹ノ中ヲ御承知デアルノカ、私ニハ分ラヌ、又一事が萬事、總テ研究會デ決メサヘスレバ此ヤウニ行クノダ、研究會ハ即チ貴族院デアル、貴族院ノ研究會ヂヤナイ、研究會ノ貴族院デアルト、斯ウ云フコトニ歸著スレバソレハ宜イカモ知レナイ、併シ貴族院ニハマダ多數ノ各派ガアツテ、恐ラクハ各派ノ人々ハサウハ言ハナイデアラウ、許サナイダラウト思フ、若シ是ガ事實トスレバ、僭越極マッタ話デアル、元來戰國策的ノ反間苦肉ノ策ヲ弄シテ、妙ナ附帶決議トカ希望條件トカト云フヤウナモノヲ拵ヘテ、世間體ヲ作ツテ、此法案ヲ通サムト云フ心事ガ、私ニハ分ラナイノデアアル、諸公ノ大膽ニ私ハ驚ク、現ニ此法案ニ付テハ、衆議院デハ、吉植某トカ、西方某トカト云フ者ニハ、如何ナ運動ガ行ッタト云フコトハ、新聞紙ニアルバカリヂヤナイ、皆御互ニ耳カラ耳ヘ傳ヘテ居ル話デアル、危險千萬ナ事デアルノデアアル、又先刻司法大臣ニ私ガ質問ヲシタ、田代冠ト云フ人ガ、臺灣銀行ノ重役ヲ背任罪ヲ告訴シタト云フ、片岡大藏大臣ヲ財界攪亂ノ罪デ告訴シタ人ガアルト新聞紙ガ傳ヘテ居ル、取消モ出テ居ラヌ、事實デゴザルカト言ウテ聽イタラ、先達テ村上辯護士ガ贈賄罪ヲ告發シタト云フコトニ付テ、私ガ司法大臣ニ伺ッタ時ニハ、ソレハ出テ居ルガ内容ハ言フコトハ出來ナイ、人ノ名譽ニモ關係スルカラト、斯ウ仰シヤッタ、デ今日ハ出テ居ルトモ

出テ居ラナイトモ仰シヤラナイ、二度モ承ツタガ、ソレハ言ヘナイ、告訴シタト云フコトガ何ノ名譽ニ關係スル、司法大臣トシテ之ヲ御承知ナイコトハアルマイ、況ヤ此議會ニ於テ伺フノデアアル、御答辯ニナツテ少シモ差支ナイ話デアル、ソレヲモ避ケテ仰シヤラナイ、避ケテ仰シヤラナイ所ニ、否認ヲナサツタ所ガナケラネバ、尙以テ議員一同ハ深い疑ノ眼ヲ以テ見テ居ルト云フコトハ明カデアル、サア斯クナツテ來ルト、アチラデモ告訴、コチテデモ告訴、斯ウナツテ來ル、斯ウ云フヤウナ問題ヲ矢庭ニコ、デ附帶條件ヲ附ケテ決議ヲナサルト云フ必要ハナイト思フ、是迄通り當リ前ニ、一箇年延バシテモ何ニモ差支ナイ、九月ニ行ツテ又勅令デモ何デモ御出シニナツテ宜シイ、ソレヲ御序デヲ以テ一億七百万圓ダケハ、少ナクモ別ニ又、銀行或ハ商人ニ出シテヤラウト云フニ至ツテハ、餘リ虫ノ好過ギタ遣リ方ト云ハザルヲ得ナイ、又貴族院ガ附帶條件ヲ附ケタ、是ハ言ハバ監視付ノヤウナモノデアル、而モ僅ナコトニ兩院議員ガ二ツモ會ヲ拵ヘテ、之ニ入レテ政府ヲ監督ヲセシメナケレバナラヌトハ、滅法界ナ話デアル、ソレ程ニマデ政府ニ人ガ無イカ、ソレ程政府ハ良クナイ仕事ヲスルノデアルカ、此事ダケガ政府ヲ監督スル……十億三千餘萬圓、否今デハ十七億五千餘萬圓ト云フ豫算……又今回モ教育費カ何カデ出テ居ル、此大キナ豫算ヲ出シ入レル政府デアル、危險ダト思フナラバ總テ之ニ向ツテ監督ヲ附ケナケレバナラヌ、何ゾ此震災手形ノ僅カ一億七百万圓ダケニ付テ、業々シクモ會ヲ二ツモ設ケテ、而モソレニ貴族院、衆議院ノ議員ヲ入レナケレバナラヌカ、如何ニモ政府ガ薄弱デアルトカ、危險デアルトカ云フヤウナ……表カラハ言ヘマセヌデセウガ、裏面カラ言フトサウ云フヤウナ議論ニ歸著シハセヌカト思フ、更ニ轉ジテ此二法案ガ通過シタ曉ニ、政府ハドウ之ヲ處理スル、私ハ茲ニ甚ダ申上ゲニクイケレドモ、現大藏大臣片岡直溫君ハ、先刻林委員長ガ其鼎ノ目方ヲ此處デ御量リニナツタヤウナ言議ガアッタ、重イカ、輕イカ、大概皆サンニ之ヲ考ヘテ御覽ナサイト言ハヌバカリノ御言葉ガアッタ、アノ謹厚ナ林伯ガコ、迄仰シヤルトスレバ、委員會デエライ事ガアッタノヂヤナイカト私ハ思フノデアアルガ、ソコ迄

デナクテモ、仰シヤッタゲケデ随分澤山デアル、斯カル大藏大臣ニ之ヲ任シテ處理ヲサセル、處理法案チヤナイ、是ハ惡クシタラ是ガ亂暴ナ使ヒ方ヲシテ、却テ此金ノ使ヒ方ニ又一ツノ處理法案ヲ出サナケレバナラスト云フコトガ起ッテ來ハシマイカト、私ハ思フノデアリマス、況ヤ今回ノ大藏大臣ノタッタ一言ダト仰シヤルガ、一言カニ言カソレハ知リマセヌガ、兎ニ角衆議院、貴族院此震災手形ニ付テ仰シヤッタ事柄ガ、世ノ中ニ響イタコトハ甚ダ……銀行ハ將棋倒シデアル、株式界ノ總瓦解ト云フコトデ、是ハ實ニ驚入ッテ話デアル、ソレデモ知ラヌ顔ノ半兵衛デオイデナサルニ至ッテハ、誠ニドウモ驚カザルヲ得ナイ、斯カル人ニ對シテ幾ラドンナムヅカシイ條件ヲ附ケテモ、委員會ヲ拵ヘテモ、ソレハ私何ノ用モ爲サナイト思ッテ居ル、又誠ニ私ハ申上ゲルノハ恐縮スルケレドモ、若槻總理大臣ニ嚮ニ私が豫算委員會デ御質問ヲ申上ゲタ復興局ノ大疑獄ヲ始メ、十大不祥事ヲ擧ゲテ綱紀肅正ノ事ヲ御尋ネシタ、其場合若槻總理大臣ハ流石デアルト私ハ敬服シテ居ルノハ、如何ニモ不都合千萬デアル、遺憾千萬ト言ッタノハ、オ前ノ言フ通りニ不都合千萬ト云フコトデアル、責任ヲ負ヘト云フコトデアルガ、責任ハ負フ、誠ニ慚愧ニ堪ヘナイ、責任ハ負フガ辭職スルト云フコト迄ハマダ考ヘテ居ラヌ、斯ウ仰シヤッタ、是カラ御考ヘニナル所デアル、今御考ヘ中デアル、併シ慚愧デアルト云フコトハ直グ一言ニシテモ申セバ、恥デゴザルト斯ウ云フ……恥ハ知ッテオイデニナル、チャント恥ハ知ッテオイデニナル、併シコ、迄申上ゲルト不都合千萬ナコトモ御承知デアル、恥モ御承知デアル、責任モ御取リニナル、斯ウ來タ、宜シイカナ……コ、迄來タ總理大臣ト、サウシテアノフラフラシタ頭ヲ以テ、時々刻々變ッタコトヲ仰シヤル大藏大臣ト、二人ガ道連レデ此震手法案ヲ實行ナサル上ニ至ッタラドンナ拍子ノ瓢箪デ駒ガ出ルカモ知レナイ、私ハソレヲ氣遣フノデアル、ソレ故ニ今更多ク辯ズル必要ハナイ、斯カルモノヲ第二讀會ヘ移スト云フコトハ誠ニ危險千萬デアルカラ、私ハ飽ク迄モ之ヲ二讀會ニ移スベカラズト云フ意見ヲ以テ降壇ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ前田子爵ニ發言ヲ許ス場合デゴザイマスガ、其前、議長ハ議場ノ秩序ヲ保ツ關係上、一言申上ゲネバナラヌコトガゴザイマス、ソレハ午前小林嘉平治君ノ發言中ニ、「前提ナシニ質問セヨ、無用、馬鹿」ト呼ブ者アリ、ト云フコトヲ速記録ニ明カニ掲載シテゴザイマス、「前提ナシニ質問セヨ、無用」ト云フコトハ、強チ答メルニハ及ビマスマイガ、「馬鹿」ト云フ二字ハ本議場ニ於テハ用ウベカラザル言葉ト考ヘマス、將來何卒此ノ如キ言葉ノ發セラレナイコトヲ切ニ望ム次第デゴザイマス、前田子爵ノ登壇ヲ望ミマス

〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕

○子爵前田利定君 私ハ私等ノ前ニ置カレタル所ノ組上ノ物ニ向ヒマシテ、今ヤ如何ニ之ヲ料理スルカラ決スルノ時ガ來タノデアリマス、刀ハ翳サレマシタ、刀下、活カ殺カ、死カ生カ、是ノ分レルノハ今ガ其時デアルノデアリマス、私ハ之ニ對シテ殺人劒ヲ揮フヤ或ハ活人劒ヲ揮フヤヲ斷ズルノ利那ニ立ッテ居ルノデアリマス、組上ノ物トハ何ゾヤ、震災手形損失補償公債法案竝ニ震災手形善後處理法案デアリマス、渡邊銀行ガ先キニ躓キマシテ、新聞紙上ノ傳フル所ニ依リマスレバ續イテ中井、中澤、村井等ノ諸銀行ガ將棋倒シニナリマシテ、尙其餘波ハ二流銀行ニ及バントシテ居ル有様デ、財界ハ誠ニ凄マジキ雪崩ノヤウニナッテ居ルノデアリマス、ソレニ直面シマシテ、私ハ國民ノ實生活ニ觸レテ居ル所ノ、此脅威サレル所ノ財界ノ妖雲ヲ披キマシテ、不安ノ淵カラ安定ノ岸ニ、天下ノ民衆ヲ救ヒ上ゲネバナラヌコト考ヘルノデアリマス、此意氣ヲ以チマシテ、私ハ活人劒ヲ以テ此組上ノ物ヲ一刀兩斷ニ解決セントスルノデアリマス、私ノ論ズル所ノモノガ、能ク滿場ノ議員諸君竝ニ國民各位ニ對シマシテ御了解ヲ得マスルヤ否ヤ、私ノ不束ナル辯舌ガ、能ク此兩法案ノ賛成通過ヲ圖ル所ノ苦衷ヲ御理解得ラルルヤ否ヤト云フコトハ測リ兼ねマスルケレドモ、私ハ嚴正中立ノ政治上ノ立場ニ立チマシテ、立法府ノ一員ト致シマシテ、其實ノ重キヲ思ヒ、其良心ノ命ズル所ニ從ヒ、其良知ニ依リマシテ、一面ニハ現下ノ經濟界ノ實勢ヲ察シマシテ、他面ニ於キ

マシテハ國民ノ疑惑ノ聲ニ鑑ミマシテ、慎重ニ考究イタシマシタル末、是ハ何事ヲ措イテモ先以テ此財界ノ危急ヲ救ヒ、財界ヲ安定ナラシメルト云フコトハ、大ニ國家、社會、將又大ニ國民ヲ救フ所以ノ途デアルト云フコトヲ信ズルノデアリマス、私ノ眼中ニハ、政府モナク、政黨モナク、況ヤ政商ノ如キモノハ無イノデアリマス、机上ノ理論ヲ申スヨリモ、國民ノ實際生活ノ安危ノ上ニ思フ致シマシテ、惡シキコトヲ矯メルヨリモ先以テ善キコトヲ先ニシ、醜キモノヲ棄テルヨリモ先以テ美シキモノヲ先ニシ、非ヲ糾スヨリモ先以テ是ヲ爲スコトニ努力スルト云フコトガ、此際ニ於テノ一番適切ナル措置デアラウト思フノデアリマス、先日特別委員會ニ於キマシテ、阪谷男爵ノ火事ノ例ヲ御引キニナリマシテ、御演述ガアリマシタガ、誠ニ是ハ只今私ガ演述致シマスル上ニ於キマシテハ、適當ナル比喻デアリマスルカラ、願ハクハ御許シテ蒙ッテ拜借致サウト思フノデアリマス、火元ヲ詮議シテ徒ラニ時ヲ費スヨリモ、蔓延セムトスル所ノ火事ヲ消シ止ムルト云フコトガ、最モ最急務デアラウト思フノデアリマス、斯ク申セバトテ、火元ノ詮議不始末ヲバ等閑視スル次第ハ決シテナイノデアリマス、又惡イコトヲ矯メナイト云フ次第ハナナイ、又醜キコトヲ棄テナイト云フノデハナナイ、非ナルコトヲ糾サナイト云フノデハナナイガ、先以テ人畜ノ傷害、財産ノ燒盡スルノヲ消シ止メマシテ、而シテ後ニ其火元ノ不始末不行届ヲ詮議スルト云フコトガ、最モ順序デアラウト思フノデアリマス、先ヅ危険ナコトヲバ避ケシメテ、而シテ再ビ其危険ノ來ルコトナカラムヤウニ、適切ナル考究措置ヲ取ルト云フコトガ、所謂國民ヲシテ堵ニ安ンゼシムル所ノ政治ノ大道デアラウト思フノデアリマス、抑、此兩法案ハ震災ノ跡始末ヲ爲スト共ニ、財界ノ整理安定ヲ齎シ來ル所ノ效果ヲ持ッテ居リマスルモノデアリマシテ、誠ニ時節柄適切緊要ノモノデアルト云フコトハ、信ジテ疑ハナイノデアリマス、誠ニ明白ナル所ノ經濟問題デアアルノデアリマス、併ナガラ當初私ガ此案ニ對シマシテ直チニ賛成ノ出來ナカッタノハ、蓋シ此法案ガ通過ノ後、其實施セラル、曉ニ當リマシテハ、其法律ノ適用ノ及ブ所ノ比例ガ、普通銀行ニ比シテ特殊銀行ニ偏シ、其

分量ニ於テモ大ニ均衡ヲ失シテ居ルノデアリマス、殊ニ特殊銀行ノ中ニ就キマシテ臺灣銀行ノ如キハ、震災以前ヨリモ、其業績ニ於キマシテモ餘リ香シキ風評ヲ聞イテ居ラナカッタノデアリマス、而シテ現在國民ガ疑惑ノ聲ヲ以テ包ンデ居リマスル所ノ一政商ノ如キハ、同行トノ取引關係ニ於キマシテ、多大ナル滯貨ヲナシテ居ルト云フコトハ、餘程以前カラ聞イテ居ル所デアリマス、而シテ震災手形ノ分量ニ於キマシテモ、此特殊銀行ト一政商トノ間ニ於ケル震災手形ノ數量ハ、夥シキ額ニ上ボルノデアリマス、斯様ナ事實ガアリマスガ故ニ、假令大震災ト云フモノガ偶然ニ參リマシタノデハアリマスルガ、此偶然ノ事實トデモ申シマセウカ、兎ニ角現在ノ事實ニ於キマシテ、此法案ガ適用セラレタ曉ニ於テ、所謂臺灣銀行ノ救済トナリ、其結果ガ一政商ノ救済トナルト云フ風ニ、見誤ラレタル所ノ外觀ヲ呈シテ居ルノデアリマス、茲ニ於キマシテ國民ガ茲ニ疑惑ノ念ヲ起シマシテ、漸次ソレガ凝結シテ濃厚トナリマシテ、此單ナル經濟問題ハ、今日政治問題ヨリ再轉シテ社會問題ニ移ラントスル勢ヲ示シテ居ルノデアリマス、故ニ私ハ單ナル經濟問題トシテ無造作ニ之ヲ可決シ去ルト云フコトガ、頗ル躊躇スルヲ得ナイ次第デアリマス、固ヨリ此二法案ハ、誠ニ現下ノ時局ニ對シ適切緊要ノモノデ、誠ニ結構ノモノニハ相違ゴザイマセヌケレドモ、苟モ此國民ノ疑惑ヲ釋然トシテ氷解ヲ致サセタ上デゴザイマセヌト、或ハ恐ル、此疑惑ノ念慮ヨリ一轉シテ、思想ノ惡化ヲ招來スルコトガアリハセヌカト云フコトニ付テ、大ナル心配ヲ持ツ次第デアリマス、然ルニ此法案ハ既ニ衆議院ヲ通過シテ當院ニ參ッテ居ルノデアリマシテ、固ヨリ先議ノ府タル衆議院ノ院議ヲ尊重シナケレバナリマセヌ、ソレト共ニ財界ノ救済整理安定ヲ保タセル上ニ於キマシテハ、是非トモ此二法案ヲ我々ハ賛成シテ通過サセナケレバナリナイノデアリマス、然ルニ一面ニ於キマシテハ、只今申上ゲルヤウニ國民ノ疑惑ガ凝ッテ散ジナイモノガアリマスルガ故ニ、此點ニ付キマシテハ十分政府ノ説明ニ依ッテ氷解ヲ致サナイ限ニ於キマシテハ、簡單ニ此法案ヲ取扱フ譯ニハ參ラヌノデアリマス、而シテ今ヤ天下ノ耳目ハ我ガ貴族院ノ上ニ集マッテ居ルノデアリマス、

我々此進退兩難ノ間ニ立チマシテ、慎重ナル考究ヲ致シテ、現在ニ於キマシテモ、又百年ノ後ニ於キマシテモ、當年ノ議會史ヲ繙ク者ガ誠ニ當年ノ貴族院ハ此問題ヲ妥當ニ取扱ッタト云フヤウナ、批評ヲ受ケルヤウニシナケレバナラスト思フノデアリマス、然ルニ如何セン、特別委員會ニ於ケル所ノ政府當局ノ説明、若クハ委員ト政府當局トノ間ニ交ハサレマシタル質疑應答ノ間ニ於キマシテ、未ダ此國民ノ疑惑ヲ十分ニ解決術ガナカタノハ、誠ニ遺憾トスル次第デアッタノデアリマス、私ハ固ヨリ此二法案ハ政府ガ一政商ヲ救済スルノ意味ヲ以テ提案ヲナサレタト云フコトニ付キマシテハ、固ク信ジナイ所ノ一人デアリマスケレドモ、併ナガラ自分ガ信ゼザルノ故ヲ以テ人ヲ律スル譯ニハ參ラスノデアリマス、自分ガ信ズル所ノモノヲ以テ他人ニ之ヲ信ゼヨト強要スルノモ亦無理デアリマス、此問題ノ解決促進ヲ致シマスニ付キマシテハ、此疑惑ガ永解サレルト云フコトガナケレバ、安全ニ通過スルノハ甚ダ困難ナ情勢デアッタノデアリマス、ソコデ私ハ最近マデ斯様な愚見ヲ懷イテ居ッタノデアリマス、此二法案ハ現下ノ財界ニ對シマシテ贊成通過ヲ圖ラネバナラス、併ナガラ此國民ノ疑惑ヲ解クニ由ナキ所ノ特殊銀行ノ適用ニ付テハ、之ヲ引離スヨリハ外ニハ途ハナイ、即チ處理法案中ヨリ特殊銀行ニ對シテ適用セラレル所ノモノヲ修正スルカ、或ハ又此法律ハ特殊銀行ニハ適用シナイト云フ所ノ政府當局ノ言明ヲ得ルカ、何レニシテモ善後處理案ハ特殊銀行ニ適用スルコトヲ否認スルト云フコトニ依ッテ、此法案ノ通過ヲ圖ルヨリ外ニ策ハナイト、斯様ニ信ジタ時ガアッタノデアリマス、然ル所特別委員ノ終末ニ於キマシテ、大藏大臣ハ委員會ニ臨マレマシテ、特別委員會ニ於ケル從來ノ答辯ニ付キマシテ訂正ノ御説明ガアリ、總理大臣ハ之ニ關聯シテ裏書ノ御説明ガアッタノデアリマス、其點ニ付キマシテハ、先刻林委員長ヨリ詳細ニ御紹介ニ相成リマシタコト故、省略イタシマスルガ、要スルノニ此二法案ハ、普通銀行ノ所持スル所ノ手形、日銀ノ手許ノ手形、竝ニ特殊銀行其他ノ震災ニ關スル所ノ手形ノ跡始末、及ビ銀行界ノ整理刷新ヲ目途トスルモノデハアルケレドモ、臺灣銀行ニ付テモ、特ニ此二法案ガ併立シテ

成立シ、其效果ヲ及ボスト云フコトニナラナケレバ、臺灣銀行ノ經營ハ甚ダ面白クナイ狀態ニ陥ルト云フコトデアリマシタ、言換ヘテ見マスレバ、銀行ノ經營ハ極メテ困難ナ情勢ニ陥ルモノデアルト云フコトヲ、稍、銀行ノ真相ニ付キマシテ胸襟ヲ披イテ、委員會ニ於ケル委員ヲシテ理解スルヤウニ要望セラレタノデアリマス、私ハ茲ニ於キマシテ、最早政府ノ責任、政府ノ體面、又是マデ臺灣銀行ガ從來爲シ來ッタ所ノ放漫ナル貸出、或ハ又臺灣銀行ノ整理ヲ爲シタトハ云ヘ、其基礎ガ鞏固デナカタト云フヤウナコトニ付テ、今日之ヲ一々答メ立テヲ致シマスルヤウナ遑ハ無イノデアリマス、殊ニ臺灣銀行ニ於キマシテハ、皆様モ御承知ノ通り巨額ノ兌換券ヲ發行イタシテ居リマスル所ノ國際金融機關デアリマシテ、外國ニモ各地ニ支店ヲ出シテ居リマスル所ノ國家重要ナル金融機關デアリマスルガ故ニ、若モ此重要ナル所ノ金融機關ガ一旦破綻デモ致シマシタナラバ、其影響ノ及ブ所、誠ニ測リ知ルベカラザルモノガアルト云フコトヲ憂慮イタス次第デアリマス、殊ニ又同銀行ノ兌換券所持者、同銀行ニ預金ヲ託シテ居リマスル所ノ額モ約一億ニ上ボッテ居ル次第デアリマシテ、ソレ等ノ預金者ノ身ノ上ヲ想ヒ合セマシテモ、國家民人ノ爲ニ、ドウシテモ此金融機關ノ支持ニ努メナケレバナラスノデアリマス、況シテ同銀行ト政府トノ間、同銀行ト日銀トノ間、其他「コール」ノ關係ヨリシテ多クノ銀行ト交渉ヲ有シテ居リマスル銀行デアリマスルガ故ニ、之ヲ見殺シニ致シマススト云フコトハ、國民利福ノ上カラ考ヘテ見マシテモ、到底忍ベナイ次第アルノデアリマス、故ニ私ハ善後處理法案中ノ適用ヲ特殊銀行ダケハ除外スベシト云フ考ヲ懷イタコトモアリマシタガ、今此場合ハ、先ヅ以テ差向キ此臺銀ノ維持應急ノ手當ト致シマシテ、此善後處理法案ヲ認ムル外、途ガナイト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ特殊銀行ヲモ善後處理法案ノ適用ヲ受ケル、即チ兩法案ニ對シマシテ、全然無修正デ贊成通過ヲ祈ラザルヲ得ヌ次第デアリマス、此點ニ付キマシテハ、國民ニ對シマシテ了解ヲ得マシテ、私ガ此法案ニ贊成スルノ意味ヲ明カニシタイト思フノデアリマス、尙ホ之ニ附帶イタシマシタル、先程林委員

長ヨリ御報告ノゴザイマシタ通ニ、兩院議員ヲ加ヘマシタ所ノ調査會ヲ設ケマシテ、根本的ノ、臺灣銀行ニ對シマシテ徹底的ノ調査考究ヲ爲シ、將來臺灣銀行ガ拓殖銀行トシテ十分ニ其機能ヲ發揮シ得ルヤウ、根本的ノ整理ト云フモノヲ必要ト致スコトヲ條件ト致シタノデアリマス、又同時ニ、兩法案ヲ運用イタシマスル所ノ調査委員會ニ兩院議員ヲ加ヘマシテ、嚴正公平ニ調査ヲ遂ゲマシテ、切斷スベキハ切斷シ、手術スベモノハ手術イタシテ、深く潛在デ居ル弊根ヲ十分ニ一掃イタシマシタナラバ、將來再ビ是等ノ特殊銀行ガ、一商會、一政商ニ偏シテ不良ナル貸付ヲナスガ如キ所ノ禍根ヲ根絶イタスデアラウト云フコトヲ信ズルノデアリマス、最後ニ私ハ皆様ニ申上ゲタイコトハ、一面ニ於キマシテハ財界ノ整理安定ヲ期シ、他面ニ於キマシテハ國民疑惑ノ聲ノ中ニ、貴族院ハ貴族院タル所ノ存在ヲ明カニスル所ノ任務ヲ持ッテ居リマスルガ故ニ、誠ニ此問題ニ逢著イタシテ以來、進退兩難ニ陥ッタノデアリマス、況シテヤ近來、財界ノ不安ハ前申ス通り、雪崩ノ如クニ日々ニ日々ニ其領域ヲ擴メツ、アルノデアリマス、此場合グズグズシテ居ルコトハ出來ナイノデアリマス、何トカ早急ニ適切ナル斷案ヲ下サザルヲ得ヌ時機ニ立到ッテ居ルノデアリマス、此場合ニ於キマシテハ、前段ノ如ク先以テ兩法案ノ贊成通過ヲ圖リ、財界ノ應急的整理救済ヲ爲シ、永年禍根デアッタ所ノ臺灣銀行ノ真相ヲ解剖シテ、徹底的ニ療治ヲ加ヘルト云フ、此外ニ良案ハナイト思フノデアリマス、前段ニ申上ゲタ通り、惡ヲ憎ミ非ヲ糺シ醜ヲ棄テルト云フコトハ、將來此調査委員會ニ於キマシテ十分ニ其事ガ出來ヤウト思フノデアリマス、又最後ニ政府諸公ニ對シマシテ要望スルコトハ、是等ノ法案ノ如キ、將來國家重要ナル所ノ法案ニ對シマシテハ、特ニ委員ニ對シマシテ、當局ノ諸公ハ、最モ眞摯ニ、深切ニ、周到ニ質疑ニ應答セラレマシテ、其職責ヲ盡ス上ニ於キマシテ、嚴正ナル所ノ批判ヲ誤リナカラシムルヤウニナサレタイト云フコトヲ、切ニ諸公ニ對シテ反省ヲ求メル次第デアリマス、高橋君ハ八十餘歳ノ御高齢デアアルニ拘リマセズ、演壇場裡ニ御出マシニナリマシテ、侃々諤々ノ御論ヲ御吐キニナリマシタ御精力ニ對シマシテハ、誠ニ深甚

ナル敬意ヲ表スル次第デアリマス、私ハ昭和ノ齋藤實盛ノ如キ高橋老翁ニ對シマシテ、一々之ヲ反駁スルノハ禮ヲ失スルトハ思ヒマスガ、私ガ只今長々ト演述イタシマシタル全部ヲ以テ、御論ニ對シマスル駁撃ガ出來ヤウト思ウテ居リマスガ、茲ニ一二御高説ニ對シマシテ申上ゲタイコトガゴザイマス、元々高橋君ノ御立論ノ御根據ガ何レノ所ヨリ出テ居リマスルカ、我々トハ大ニ距離ガ離レテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、御議論ノ前提ハ皆斷定的デアリマシテ、其斷定ガドウ云フ道程ニ依リ理由ニ依ッテ御斷定ニナッタカ、少シモ拜聽スルノ榮ニ浴セナカッタノデアリマス、要スルノニ、根本ヨリ高橋君ト意見ガ相違シテ居ルモノト思ヒマス、一例ヲ申上ゲマスレバ、本案ガ通過イタシマスレバ、高橋老翁ハ、泣ク者ハ八千万ノ國民デアアルト仰セラレマシタガ、私ハ、喜ブ者ハ八千万ノ國民デアラウト思フノデアリマス、ソレガ如クニ事々物々私ト意見ガ相違イタシテ居リマス、一々茲ニ論戰ヲ致シマスコトハ、時ヲ費シマスルガ故ニ、再應敬意ヲ表シテ此際ハ何事モ申シマセヌ

〔男爵長基連君演壇ニ登ル〕

○男爵長基連君 只今議題ニ上ボッテ居リマスル本案ニ對シマシテ、私ハ反對ノ意見ヲ持ッテ居ル者デアリマス、只今前田子爵カラ、如何ニモ綺麗ナ字句ヲ竝ベマシテ贊成ノ御意見ガアッタノデアリマスルガ、要スルニ其御贊成ノ點ハ二ツデアッタノデアリマス、第一ハ、此財界ノ動搖ノ際ニ此法案ヲ通スト云フコトハ、ドウシテモ急務デアアルト云フコトト、モウ一ツハ、臺灣銀行ヲ救済スルコトガ必要デアアルト、此二點ニ盡キタト思フノデアリマス、臺灣銀行ヲ救済スルコトガ必要デアアルト云フコトハ、私モ左様信ジテ居ルノデアリマスガ、前田子爵ハ此法案ヲ通シテ、ドウシテ臺灣銀行ガ救済サレルカト云フコトニ付テハ、御論及ニナラナカッタノデアリマス、唯政府ガ此法案デ以テ臺灣銀行ガ救済出來ルト言フ、其政府ノ言フコトヲ御信ジニナッテ御論ジニナッタノデアリマス、政府ハ再三再四嘘ヲ申シテ居リマス、此政府ノ言フコトヲ御信ジニナッテ贊成ナサルト云フコトハ、甚ダ遺憾ナ所デアアルト

私考ヘテ居リマス、第二ノ、現在ノ財界ノ狀態デアルカラシテ、此際此法案ヲ通サナケレバナラナイト云フコトニ付キマシテハ、少シク私ハ意見ガアリマスノデ、是カラ述ベタイト思ヒマス、私ノ反對理由ヲ述ベマスニ付テハ法案ノ内容、細カイ内容竝ニ種々ノ事情、及び裏面ニアリマス所ノ醜惡ナル事柄ニ付テモ述ベナケレバナラナイノデアリマスルガ、時間モ多ク掛カリマスシ、又外部ノ經濟界竝ニ思想界ノ影響モ如何カト考ヘマスルノデ、是等ハ省キマシテ、簡單ニ大體ノ骨子ダケヲ述ベタイト思フノデアリマス、大正十二年ノ彼ノ關東地方ノ大震災ニ當リマシテ發布サレマシタ所ノ、勅令第四百二十四號ノ目的ト云フモノハ、大震災ニ因リマシテ商品店舖或ハ家財道具等ノ資本ヲ無クシマシテ、又其取引先ガ此火災ニ遭ヒマシタガ爲ニ、手形ノ支拂ガ非常ニ困難ニナツテ來タ、之ヲ銀行ガ無理ニ取立テルト云フコトニナリマス、罹災者ハ誠ニ氣ノ毒ナモノデアアル、ソレ故ニ支拂ハ延期シテヤラナケレバナラナイ、併ナガラ一方ニ於テハ銀行ガ手形ノ支拂ヲ受ケナイト云フコトニナリマス、金融界ノ活動ガ甚ダ阻礙サレルノデアリマス、ソコデ手形ノ支拂ヲ猶豫スルト同時ニ、銀行ノ手形ヲ日本銀行ニ提出シマシテ、割引ヲ受ケテ資金ヲ受ケルノデアリマス、サウシテ若モ日本銀行ガ之ガ爲ニ損害ヲ蒙ツタ場合ニハ、一億圓ヲ限り政府ハ之ヲ補償スルト云フコトニナツタノデアリマス、然ルニ此勅令ハ震災手形ト云フモノノ定義ヲ、震災地ヲ支拂地トスル手形又ハ震災地ニ震災當時營業所ヲ有シタル者ノ振出シタル手形若クハ之ヲ支拂人トスル手形ト云フコトニ決メタノデアリマス、即チ手形ノ外面ニ依ッテ區別ヲシタノデアリマス、故ニ震災ニ直接關係ノナイ手形モ、此中ニ這入ッテ來ルコトガ出來ルノデアリマス、茲ニ於テ實際ノ狀況ハ、震災ノ爲ニ支拂ガ出來ナイト云フ手形デナイ、數年前カラ取レナイ手形、即チ震災ガ無クトモ取レナイ手形ガ、震災手形トシテ日本銀行デ割引サレタノデアリマス、當初、四億三千万圓アッタ手形ガ、其後、罹災者ノ勤勉或ハ又銀行ノ犧牲ニ依リマシテ、段々決濟サレマシテ、現在二億七百万圓ニ減少シタノデアリマス、併ナガラ其大部分ト云フモノハ、即チ震災ニ直接關係ノナイ手形デ

アリマス、此二億七百万圓ノ震災手形ノ内容ヲ申シマスルト、特殊銀行ノ持ッテ居ルノガ半分以上、殘リハ普通銀行デアリマス、特殊銀行ノ中デ或ル一行、即チ臺灣銀行デアリマス、臺灣銀行ガ大部分ヲ持ッテ居ルノデアリマス、此臺灣銀行ハ鈴木商店ト深い關係ガアリマシテ、震災以前カラ澤山ノ金ヲ貸シテ居ルノデアリマス、而モ鈴木商店ノ經營ガ宜シクナイ爲ニ、回收ガ出來ナイノデアリマス、此臺灣銀行ノ所有スル震災手形ハ、即チ直接震災ニ關係ノナイ手形デアルト云フコトハ、略、想像ガ付クノデアリマス、震災手形ノ所有銀行數ハ五十一行デアリマス、特殊銀行全部ガ此中ニ這入ッテ居ルト假定イタシマシテモ、四行カ五行デアリマス、殘ル四十幾行ト云フモノハ普通銀行デアアルノデアリマス、サウシテ震災手形二億七百万圓ノ半分以上ガ特殊銀行トスレバ、四十幾行ノ普通銀行ノ一行當リ震災手形所有高ト云フモノハ、勿論多イノモアリマセウ、少イノモアリマセウガ、多イモノデモ大シタ金額デナイト云フコトハ、想像ガ付クノデアリマス、以上申述べマシタ所ニ依リマシテ、震災手形ノ内容ト云フモノハ、普通銀行一行當リ所有高ハ僅カデアッテ、特殊銀行ノ中、臺灣銀行ガ非常ニ澤山所有シテ居ルト云フコトハ、大體了解出來ルノデアリマス、政府ハ、大震災ニ因ッテ生ジタ震災手形二億七百万圓ト云フモノハ、財界ノ癌デアアル、之ヲ取除カナケレバ財界ノ安定ハ出來ナイ、從テ金ノ輸出解禁モ出來ナイ、ソレ故ニ此二ツノ法案ヲ出シタノデアルト云フ説明デアリマス、即チ支拂ノ不可能ノモノハ、補償法案ニ依ッテ政府ガ之ヲ補償シ、然ラザルモノハ善後處理法ニ依ッテ十年間ノ公債貸付ヲナシテ、以テ財界ノ癌ヲ全治スルト云フノデアリマス、補償ノ方ハ既ニ勅令第四百二十四號ニ依リマシテ約束ヲシタノデアリマスカラ、國ノ損失トナツテモ是ハ仕方ガナイ、貸付ノ方ハ決シテ國ノ損失トナルモノデハナイ、即チ國家ガ損失ヲ蒙ラズシテ財界ノ癌ヲ取り得ルト云フノデアリマス、政府ノ申シマス通り、現在我國ノ財界ニハ如何ニモ癌ガアリマス、併ナガラソレハ震災ニ因ッテ生ジタモノデハナク、世界大戰ニ伴ッタ好景氣時代ニ、銀行會社等ノ株主其他資本主ガ作ッタ所ノ大キナ癌デアリマス、震災手形ノ整理位デハ到底

全治出來ナイヤウナ大キナ癌デアリマス、大藏大臣ハ、震災手形ハ財界ノ癌デアルト云フコトヲ頻ニ御吹聴ニナリマス、ソレガ故ニ世間ノ人ハ能ク震災手形ナルモノノ内容ヲ知ラナイガ爲ニ、大藏大臣ノ言ハレルコトヲ信用シテ、震災手形ハ財界ノ癌デアアル、此手形ヲ持ッテ居ル銀行ハアブナイト云フコトニナツテ、即チ昨今ノ取付ガ始マッタノデアリマス、震災手形ハ決シテ財界ノ癌デアアリマセヌ、財界ノ癌ハ別ニアルノデアリマス、震災手形ヲ整理シタダケデ財界ノ癌ハ決シテ取レルモノデハナイノデアリマス、震災手形ノ整理ハ、此大キナ癌ニ對シテハ、殆ド效果ノナイ治療方法デアルト考ヘルノデアリマス、ソレ故ニ此治療ヲ行ヒマシテモ、徒ラニ治療代ヲ失フト云フ結果ニ終ルドラウト思フノデアリマス、即チ國民ハ其治療代ヲ負擔イタシマシテ、而モ其病ト云フモノハ直ラナイト云フ結果ニナルドラウト思フノデアリマス、元來、此私ノ申シマス大キナ癌ヲ作ッタ所ノモノハ、資本主デアリマス、即チ好景氣時代ニ非常ナ放漫ナ經營方針ヲ立テタ、其結果出來タノデアリマス故ニ、此癌ヲ取ル責任ハ即チ資本主ニアルト私ハ思フノデアリマス、即チ資本主ハ、此癌ヲ取ル爲ニハ非常ナ犠牲ヲ拂ハナケレバナラナイノデアリマス、然ルニ此資本主ハ依然トシテ多額ノ配當ヲ取り、又政府ハ是等資本主ノ機嫌ヲ害スルコトヲ恐レマシテ、資本主ニ對シ犠牲ヲ拂ハセルコトヲ怠ッテ居ルノデアリマス、尤モ是ハ現内閣ノミノ責任デハナク、歴代内閣ノ責任デアルト思ヒマスルガ、現内閣ハ根本の治療方法ヲ立テナイノミナラズ、震災手形整理ト云フ姑息ナ方法ヲ立テテ、而モ其治療代ハ國民全般ノ負擔トスルト云フノデアリマスカラ、最モ罪ガ深イト思フノデアリマス、震災手形ノ内容ハ前段申述べタ通デアリマス、即チ特殊銀行ノ或ル一銀行ガ大部分ヲ持ッテ居リマス、而モ其後ロニハ鈴木商店ト云フ商店ガアリマス、ソレ故ニ此法案ハ資本家階級ヲ救済スルモノデアルト云フ非難ガアリマスガ、尤ナ非難デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、又先程申上ゲマシタ通り、當初、四億三千万圓アリマシタ手形ガ、現在、二億七百万圓ニナッタノデアリマスガ、ソレハ債務者ガ非常ナ勤勉ヲ以テ決濟シ、又或ハ銀行ガ非常ナ犠牲ヲ拂ッテ

決濟シタ結果、減ッタノデアリマス、現在殘ッテ居リマスノハ、詰リ其殘リハ餘リ勉強シナイ者ガ殘シタ手形デアアルノデアリマス、詰リ勉強シテ借金ヲ返濟シタモノハ、此法案ニ依ッテハ何等顧ミラレズシテ、ヅルク構ヘテ借金ヲ返サナカッタ者ガ得ラスルト云フ法案デアルト云フ非難ハ、尤ナ非難デアルト思フノデアリマス、政府ハ之ニ對シマシテ、チヨット見ルト左様ニ思ハレルガ、能ク考ヘテ見レバ、是ハ決シテサウデハナイ、即チ財界ノ癌……癌ヲ取ルノデアッテ、其結果ハ財界ノ動搖ヲ防止シ、銀行ノ取付モ無クナル、從テ預金者ノ大部分デアアル所ノ中産階級以下ノ利益トナル、謂ハバ社會政策デアルト辯護スルノデアリマス、震災手形ノ整理ハ決シテ財界ノ根本の治療デナイ所以ハ、先キニ申述べマシタ通デアリマス、ソレ故ニ政府ノ此辯解ハ、何等理由ノナイ所デアルト思ヒマス、此法律案ガ衆議院ニ於テ審議サレマシタ時ニ、内容ノ發表ヲ迫ラレマシタ、所ガ政府ハ預金ノ取付、銀行ノ破綻ト云フコトヲ恐レマシテ、之ヲ拒ンダノデアリマス、或ル議員ハ之ヲ評シマシテ、風呂敷包ヲ出シテ、此中ヲ見テハ腐ルカラ、其儘見ナイデ買ッテ呉レト云フ註文デアアル、誠ニ無理ナ註文デハナイカト言ッテ居リマス、如何ニモ無理ナ註文デアリマス、アケテハ腐敗スル虞ガアルト云フノナラバ、何ガ故ニ先ヅ腐敗ヲシナイ豫防方法ヲ立テテカラ、然ル後ニ出サナイノデアリマセウカ、震災手形ノ内容ヲ發表ヲシテハ預金ノ取付ガ起ル、銀行ガ破綻ヲスルト云フ虞ガアレバ、何ガ故ニ先ヅ其豫防方法ヲ講ジテ、然ル後ニ此法案ヲ出サナイノデアリマセウカ、此方法ヲ講ジナイデ出スト云フコトハ、全ク政府ノ手落デアルト思フノデアリマス、貴族院ガ此不當ナル法案ヲ否決スルノハ當然デアリマスガ、或者ハ、此法案ヲ否決シタナラバ、財界ニ大變動ヲ起スコトハ十分明カデアアル、其場合ノ責任ハ誰ガ負ハナケレバナラナイカト云ヘバ、之ヲ否決シタ所ノ貴族院デアルト、斯ウ云フコトヲ言ッテ脅ヤカシテ居ルノデアリマス、財界ハ御承知ノ通り頗ル鋭敏ナルモノデアリマス、震災手形ニ關スル法律案ヲ審議スル場合ニハ、財界ニ變動ヲ起スト云フコトハ當然ナコトデアリマス、此財界ニ變動ガ起ルト云フコトハ、此法案ヲ出ス前カラ、モウ

分り切タコトデアアルノデアリマス、故ニ政府ハ之ニ對スル十分ナ用意ヲシテ、然ル後ニ此法案ヲ出スベキモノデアリマシテ、法案ヲ出シタ以上、財界ガ變動シタカラト云ッテ、其責任ガ貴族院ニアルト云フコトハ決シテ無イノデアリマス、貴族院ガ此法案ヲ否決シマシタ場合デモ、其責任ハ決シテ貴族院ガ負フベキモノデアリマセヌ、政府ガ責任ヲ負フベキモノト、私ハ考ヘルノデアリマス、衆議院ハ此重要法案ヲ、憲本ノ提携ニ依ッテ、十分ニ審議セズシテ通シテ來タノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ貴族院ガ……貴族院ノ存在ガ最も必要ノデアリマス、然ラザレバ二院制度ヲ我國ニ採タ必要ハ全然無クナルノデアリマス、貴族院ハ宜シク此不當ナル法案ヲ否決シテ、根本的ニ財界立直シノ方法ヲ速ニ案出スルコトヲ、政府ニ要求シナケレバナラナイト思フノデアリマス、財界ガ動搖スルト云フ聲ニ脅ヤカサレテ、輕々ニ此法案ヲ通過サセルト云フコトコソ、貴族院ノ責任問題ガ起ッテ來ルノデアラウト思ッテ居ルノデアリマス、甚ダ簡單デアリマスルガ、私ハ大體、私ノ反對ノ理由ヲ述ベマシタ、ドウゾ諸君ニ於テハ、此私ノ反對理由ニ御賛成ニナッテ、此法律ノ否決サレムコトヲ切ニ希望スル次第デゴザイマス

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 只今ハ、本議會ニ於キマシテ最モヤカマシイ問題ニ逢著シタ譯デアリマス、殊ニ此財界ニ關シマスル問題ハ、誠ニ此演壇デ論ジマスルノハ困ルノデ、昨年皆サンノ御承知ノ通ニ、愛蘭ノ「ダブリン」デ取付ガアリマシタコトハ、皆サン御承知デゴザイマセウ、新聞ニモ出テ居リマシタ、其場合ニ非常ナ取付デアリマシテ、銀行カラ取付ケタ金ヲ郵便局ヘ皆國民ハ持ッテ行ッタデス、流石英吉利……愛蘭ノ人ハ餘程知識ガ進ンデ居ルノデ、銀行カラ取出シテハ郵便局ヘ持ッテ參リマシタ、ソコデ郵便局長ハ獨斷ヲ以テ、自動車ニ臺傭ウテ、郵便局ヘ集マル金錢ヲ元ノ銀行ヘドシノ運ンデ貸付ケタノデアリマス、初ノ中ハ預金者モ氣ガ付カナカタノデスケレドモ、ドシノ銀行ニ金ガ來ルカラ、段々調ベテ見ルト、自分達ガ皆引出シテ郵便局ヘ持ッテ行ク、スルト郵便局長ハ元ノ銀行ヘドシノ預ケルト云フノデ、

段々鎮マッタト云フヤウナコトガゴザイマシタ、是ハ英吉利人ダカラ出來ルノデ、日本デハナカノ、法律トカ色々ヤカマシイ問題ガアリマスカラ、サウ云フ英斷ハ大藏大臣ニモ日本銀行總裁ニモナカノ出來ナイ、從テ此度ノヤウナ財界ニ一ツノ火事ガ始マリマスト云フト、此火事ヲ消スノガナカノムヅカシイ、既ニ此火事ハモウ東京内ニハ止マラズシテ、段々地方ヘ擴マツテ居リマス、如何トナレバ、皆銀行ハ支店ヲ持ッテ居ルノデスカラ、或ル一ツノ支店ガ取付ケラレルト云フト、モウ忽チ方々ヘソレガ擴マルト云フヤウナ譯デアアル、デ斯ウ云フ場合ニハ、打チャッテ置キマスト云フト、立派ニ成立ッテ行クモノガ皆共倒レニナリ、到頭終ヒニ工業會社アタリデハ職工ニ賃銀ガ拂ヘスト云フコトニナッテ、非常ナソコニ困難ヲ起スト云フヤウナ譯デアリマス、何ヨリモ先ヅ玉石混淆……ト云フ言葉モ少シヒドウゴザイマスケレドモ、兎ニ角此火事ヲ消シテシマツテ、ソレカラ靜カニ議論ヲスル外仕方ガナイモノデアアル、丁度此震災手形ガ貴族院ノ、今日、日程ニ上ボリマシタノハ、誠ニ此十分ナル論議ヲ盡スコトガ出來ナイ、今長サンノ申サレタヤウナコトニ付キマシテモ、十分ナル意見ヲ長サンモ御述ベニナリ、國民ガ満足スルヤウナコトニナッタラ結構デアラウト思ヒマスルガ、本員ノ如ク長ク此財界ニ關係イタシテ居ッタ者ハデス、或ハモウ年ヲ取ッテ臆病ニナツタカモ存ジマセヌガ、ドウシテモ此火ハ手段ノアラム限り早く消スヨリ、モウ仕方ガナイ、ソレニハ今目的物トナッテ居ル此法律案ヲ可決シテ、茲デ決メテシマフヨリ外仕方ガナイト本員ハ覺悟イタシテ、此演壇ニ登ッタノデ、長サンノ如キハ即チ公正會ノ有力ナ議員デ、即チ私ト派ヲ齊シウシテ居ル、今日ハモウ兄弟議論ヲ異ニスルト云フヤウナ譯ニナッテ居ルノデス、併ナガラ二人共是ハ眞面目デ、國家ノ爲ニ盡サムトスル點ハ一致シテ居ルト云フコトハ、御了承ヲ願ヒタイノデゴザイマス、ソコデ問題ハ簡單デス、震災手形ト申シマスケレドモ、其震災手形ノ何デアアルカト云フコトハ、十二年ノ勅令ノ四百二十四號、此勅令ヲ貴族院ガ承認イタシタ時ニ、モウ物ハ決シテ居リマス、ソレヨリ以來、震災手形ガ一枚モ増シモセズ又別ノモノガ加ハリモシナイ、段々ト減ッ

テ行キツアルノデアリマス、財界ノコトハデス、横著ナ者ガ得ヲスルト云
フヤウナ長サンノ議論モアリマシタガ、ソレハ或場合ニハソシナコトモ言ハ
レマセウ、多クノ銀行デ滯リ貸ト云フモノガアリマスガ、何モ是好ンデ滯
リ貸ヲスル人ハナイデスケレドモ、ドウモ色々ナ手違ヒガ起ツテ、滯リ貸ガ
出來ルノデ、日本銀行ニ集マツタ震災手形四億三四千万ノモノモ、減ジテ、
今日ハ二億七百万トナツタノデアリマスガ、勉強シタモノガ損ト云フ論ニ
ハナラナイノデ、誰モ此日本銀行ノ「スタンプ」附ノ手形ガ殘ルト云フコト
ヲ、名譽ト思ッテ居ル人ハナイ、又サウ云フ手形ト云フモノハ、將來信用ヲ
博スル上ニ付テハ非常ナ邪魔ニナルモノデアリマスカラ、一日モ早ク此「ス
タンブ」手形ト云フモノハ、苟モ商賣ヲスル人デアッタナラバ、取消シテシマ
フト云フコトハ勿論ノコトデアル、併ナガラ到頭十二年カラ今日マデ整理シ
テ來テ、整理シテ來タ手形ガ二億七百万圓殘ッタ、ソレニ對シテ政府ガ約束
シテ居ル補償ハ一億シカナイ、是ガ今日ノ問題ナノデアリマス、モウ只今殘ッ
タ二億七百万圓ヲ解剖シテ考ヘル必要ハ毫モナイ、詰リ一億ト云フ政府ガ約
束シタ補償高ニ對シテ二億七百万圓殘ッタガ、之ヲドウ取扱フカト云フノガ
簡單ナ問題ナンデ、若シ國家ガ一億ノ約束以外ニハ一文ヲ出サヌト云フノナ
ラバドウナルカ、斯ウ言ヘバ日本銀行ガアトノ一億七百万圓ハ自分デ損ヲス
ル氣遣ヒハナイ、又ソシナコトヲスレバ株主ガ承知スル氣遣ヒガナイ、ソレ
デアルカラ日本銀行ハ、政府カラ補償ヲ得ベキ一億ノ範圍内ニ止マル迄、ア
トノ一億七百万圓ト云フモノヲ嚴シク取立テタルコトハ、是ハ極ッタ話デアル、
是ハ日本銀行ガ自分ノ利益ヲ保護スル上ニ付テ、一億七百万圓ノ手形ハドン
ドン取立テテ、損ヲ少シデモ少クスルト云フコトニナル、サウナルト業ニ已
ニ傷ヲ負ウテ居ル銀行ガ、サウ日本銀行カラ嚴シク取立テラレバ、愈、ソ
コニ閉店デモシナケレバナラヌト云フコトニナル、一ツデモ閉店ニナルト又
他ニ及ブト云フコトヲ政府ガ虞レルカラ、ソコデ何トカ日本銀行ノ取立ヲ少
シク緩メタ方ガ宜カラウ、元々一億ト云フコトヲ補償スルコトニシタノモ當
テツボウ、何ニモナイ、其當時ノ大藏大臣井上準之助君ノ英斷トモ私ハ思

フノデアリマス、井上君ガ英斷ヲ以テ、日本銀行ニドシ、ソレコソ玉石
混淆、構ハズ手形ヲ取レ、其結果損ガ行ケバ一億圓マデ補償シテヤルト斯ウ
言ハレタ、是ハ若シ其當時ノ日本銀行ノ總裁ガ、サウ一億ト限ラレテハ困ル
カラ、マア損ガアッタ時ニハ何トカ出來マスカタ云フコトハ言ウタラウト思
フ、言ウテ居ツテモ言ハヌデモ、道理ガサウ云フ譯ノモノデアル、詰リドシ
ドシ玉石混淆、ドシ、手形ヲ取ルト云フコトヲ政府ガ命令スルカラニハ、
ソレニ依ツテ生ジタ損ト云フモノハ、國ガ背負ハナケレバナラヌ、ソレニ付
テハ其當時ノ大藏大臣ガ責任ヲ負フト云フコトガ已ムヲ得ヌデセウ、今日ト
雖モ、併ナガラモウ井上君ハ職ヲ去ッテシマウタカラ、今日デハ片岡君ガ
其責ヲ負ハナケレバナラヌ、片岡君ハ詰リ此ドシ、取立テタルノハ、ドウシ
テモ、今日ノ疲弊シタル財界ニ於テハ不利デアル、斯ウ見テ、ソシナラ日本
銀行ノ取立ヲ緩メルニハ、少シク此國家ノ信用ヲ貸シテヤラウ、國家ガアト
ノ一億七百万圓ノ此取立ヲ少シ緩メルヤウニシテヤラウ、ソレニハ何モ公債
證書ヲ發行セヌデモ宜イト思ヒマスガ、併シ片岡君ハ一億七百万圓ノ公債證
書ヲ發行シヤウト云フ案ヲ採ラレタ、サウシテソレヲ、先ヅ二億七百万ノ手
形ノ中デ稍、確カサウナモノヘ、貸シテヤラウト云フ譯ニナル、而シテ之ヲ
十年間ニボツ、取立テテ行ケバ、却テ一億損ヲスルト思ッタノガ存外ウ
マクヤルト、八千万カ、七千万カ、損ガ減ルカモ知レナイ、斯ウ云フヤウニ
片岡君ハ考ヘテ此案ヲ立テラレタモノト私ハ思フノデアル、若シ私ガ案ヲ立
テルナラバ、斯ウ云フ案ハモット考ヘヤウガアッタト思ヒマスルケレドモ、是
モ一案ニ相違ナイ、既ニ衆議院ヲ通ツテ來テ、貴族院ヘ廻ッタモノデアルカラ、
之ヲ贊成シヤウカト思ッタガ、唯私ノ疑ノ殘ルノハ、今言ハレタ臺灣銀行ノ
問題デアル、臺灣銀行ノ問題ハ十四年ノ秋デシタカ、八九月頃デシタ、濱口
君ガ大藏大臣デアツテ、臺灣銀行ガ困ルカラ、預金部カラ貸シテアル金ノ利息
ヲ少シマケタイト云フ案ヲ立テラレタ、私ハ即チ預金部ノ運用委員ノ一人デ
アリマシタ、其時ニドウ云フコトヲ論ジタカト云ヘバ、先刻小畑君ガ此處デ
御讀ミニナッタヤウナ條件ハ、即チ私共ガ附ケタ條件デアリマス、マダ私ノ

附ケントシタ條件ハモット強カッタ、ソレハ事茲ニ至レバ、此銀行ヲ二度整理
スルト云フコトハ、一番株主ニモ不利益デアルシ、國家ニモ不利益デアル、
ソレデ十分ニモット切ッテハドウカト云フコトヲ、私ハ頻リニ主張シタ、即チ
資本金四分ノ一ヲ減ジタノデアリマスガ、モット／＼強ク資本金ヲ御切りナ
サイ、配當モ暫ク無配當ニシテ置クト云フ位ニマデヤッタ方ガ宜イデナイカ、
如何トナレバ此病人ナドノ……例ヘバ癌々ト云フ説ガアリマスガ、癌アタリ
ガ出タ時分ニ、能ク療治ヲシマス時分ニ、ドウモ御醫者サンガ、若イ御醫者
サンハ兎角遠慮シテ十分ニ能ウ切ラナイ、能ウ切ラナイガ爲ニ癌ガ再發スル
ト云フコトガ多い、老練ナ御醫者サンハ不必要ト思フ程ニ十分ニ切ッテシマ
フ、デ後トニ殘ル傷ハ大キウゴザイマスケレドモ、併ナガラソレガ爲ニ再ビ
癌ガ生ゼズニ助カタ人モアル、癌ト云フ病氣ハムヅカシイ病氣ダカラ、ド
ウシテモ直ラスト云フ説モアリマスノデス、ソレト同ジコトデ、臺灣銀行ト
云フモノノ病氣ハナカ／＼深い、癌ガ随分大キナ癌ダ、之ヲ療治スル時ニ思
切ッテオヤンナサイ、十分ニ思切ッテ、茲デドウセ切ルナラ株主ノ不平位ハ構
ハヌ、ヤッテオシマヒナサイト云フコトヲ頻ニ言ウタケレドモ、時ノ大藏大
臣ノ濱口君ハ、先ヅ是ナラ大丈夫ダ、斯ウ云フ御話デアッタ、今日此處デ濱
口君ガ辯明スルノニ、大丈夫ト思ッタケレドモ、財界ガ甚ダ不景氣ニナッタ、
是ハ辯明ニナラスト思フ、苟モ臺灣銀行ヲ整理スル時分ニ、其當時ト今日ト
ノ間ニ、經過ヲスベキ財界ト云フモノハ、凡ソ見据ガ付イテ居ラニヤナラス、
而モ財界カラ遠ザカッテ居ル本員ノ如キスラガ、ドウモマダ是デハ臺灣銀行
ノ癌ノ療治ガ不安心ダカラ、思切ッテヤラヌカト云フコトヲ言ヒ得ル狀態ノ
下ニ在ッタンデアルカラ、濱口君ノ賢明ナル、今少シ勇氣ガアッタナラバ、
其當時癌ノ療治ヲモウ少シ強クオヤリニナッタノデアラウト思フ、ソレナラ
バ今日再ビ斯ウ云フコトデ議場ヲ煩ハス必要ハナイ、而シテ其臺灣銀行ガ困
ルト云フコトハナイ筈ト云フノガ本員ノ頭ニアッタ、如何トナレバ、本員ハ
モウ政府ニモ居ラズ、財界カラ遠ザカッテ居ル人間デアリマスカラ、サウ精
シク知リマセヌケレドモ、臺灣銀行ノ十四年ノ秋ノ整理案ニハ、本員ガ條件

ヲ附ケタノデスカラ、ソレハ能ク記憶イタシテ居ル、ソレデアルカラ、臺灣
銀行ガ再ビ困難ニ陥ル筈ハナイト云フ信用ヲ以テ、本員ハ此案ニ對シテ質問
シタ、質問シタ所ガ、政府モサウ言フノデス、臺灣銀行ト云フモノハ決シテ
此案ニハ大シタ關係ハナイ、此案ガ成立テバ臺灣銀行ノ整理ハヨリ良クナル
ト言フノデスカラ、本員ハ初カラサウ思ッテ居ッタ、其下ニ本案ニ付テノ議論
ヲシテ居ッタ、所ガ豈圖ランヤ、大藏大臣ハ其説明ヲ訂正セラレタ、最後ニ
至ッテ訂正セラレタ、ソレハ先刻前田君ノ仰シヤッタ通ニ、臺灣銀行ノ爲ニ必
要デアルト云フコトニナッテ來タカラ、マルデ本員ハドウシテ宜イカ、チヨッ
トマア狐ヲ馬ニ乗セタト云フヤウナ譯デ、甚ダ迷ッテ來タ次第デアル、併ナ
ガラドウモ訂正セラレタ以上ハ、其訂正セラレタ方ヲ信ズルヨリ外アリマス
マイ、此點ニ付キマシテノ問題ハ、本員ハ同志ト共ニ、別ニ總括的決議案ヲ
提出スルコトニナッテ居リマス、其總括的決議案ノ場合ニ論ジテ見タイト思
フノデアリマスガ、今日ハ此事ニ付テ、大藏大臣ガ説明ヲ訂正シタガ善イト
カ惡イトカ云フヤウナコトヲ言ウテ見タ所デ、ナカ／＼今日ノ場合ドウスル
コトモ出來ナイ、故ニ誠ニ煮エ湯ヲ飲ムヤウナ譯デアアル、煮エ湯ヲ飲ムヤウ
ナ譯デアアルケレドモ、今日之ヲ可決スルノ外ハナイ、今長君ノ言フヤウナ議
論、或ハ高橋君ノヤウナ議論ヲシテ、此財界ト云フモノヲ……私ガ多少タリ
トモ今日財界ニ關係シテ居リマシタ身分トシテハ、能ク分ッテ居ル、狀態ガ
……ノミナラズ私ノ所ヘ迄ドウカナラヌカト云フ相談ヲ受ケル、私ニハ何等
今日力モ何モ有ル譯デハナイノデアアル、併ナガラ何トカナリマスマイカト云
フヤウナ相談ヲ現ニ私ハ受ケル、其自分ノ身ニ感ズル所ト、自分ノ既往ノ經
驗ニ徴シテ、是ハ此度ノ財界ノ不穩ハ早ク鎮壓シテシマハナケレバイケナイ、
其鎮壓スルニハ、之ヲ即刻可決シテシマッテ、サウシテ此一般國民ニ先ヅ安
心ヲ與ヘル、ソレダケデ鎮マルヤ否ヤト云フコトハ保證ハ致シマセヌ、保證
ハ致シマセヌケレドモ、餘程強イ鎮壓劑ニナルト云フコトハ、本員ハ確信イ
タスノデアリマス、デ、ソレ故ニ滿場ノ諸君ニ於テモ、又傍聽シテ居ラレル
所ノ諸君ニ於テモ、此法案ニ付テハ幾多ノ疑ガアリ、又御心配デモアラウケ

レドモ、今日ニ於テ取ルベキ途ハ可決ノ外ハナイ、白紙ノ上デアレバ、本員ハモット良イ立案ヲシテ見タイト云フ考ハアリマスガ、今トナッテ之ヲ否決シタナラバ、到底國家ノ爲ニ利益ナ結果ハ得ラレナイ、議論トシテ……議論トシテ色々言ウテ、自分ノ自説ヲ主張スルト云フコトモ、一ツノ愉快デアルケレドモ、併ナガラ國家ノ利益、經濟上ノ利害ニ鑑ミテ、他ニ取ルベキ途ハモウ無イノデス、外ニ無イ、ソレデ唯一ツアルノハ此兩法案ヲ可決スルバカリデアル、但シ其施行ニ付テハ、私ハ委員會ノ附帶希望條件ト云フモノガ決シテ満足トモ思ハヌ、又變ナモノト考ヘラレバ考ヘラレルノデアリマス、既ニ色色御質問モアッテ、十分ナ辯解モ付カヌヤウデアルガ、ソレモ是モ外ニ行ク途ガ無イ、所謂貴族院ハ煮エ湯ヲ飲マセラレル、是ハドウモ今日ハ甘ンジテ煮エ湯ヲ飲ムノ外ハナイ、其意味ヲ以チマシテ本員ハ之ニ賛成スルノデアリマスガ、ドウゾ諸君ニ於カレマシテモ、ドウゾ御賛成ヲ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 是ニテ通告者ハ終リマシタ、討論終局ヲ告ゲタモノト認メマス、先ヅ只今採決イタシマスノハ、日程第二、震災手形損失補償公債法案ノミト御承知ヲ請ヒマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ、本案ノ第二讀會ヲ直チニ開クト云フ勳議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴ

ザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ勳議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ日程第三ノ法案ニ對シテ採決イタシマス、此採決ニ付テ、大隈侯爵外二十三名ヨリ、記名投票ヲ以テ表決ヲ爲スノ要求ニ接シマシタ、故ニ本院規則第一百八條ニ依リマシテ、記名投票ヲ以テ表決イタシマス、本院規則第一百九條ニ依リマシテ、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ハ白色票ヲ、二讀會ヲ開クベカラズトスル諸君ハ青色票ノ御投票ヲ請ヒマス、本日モ諸君ノ氏名ハ點呼ヲ省略イタシマシテ、二條公爵ヨリ順次ニ此演壇ニ御登リヲ請ヒマス

〔投票執行〕

○議長(公爵徳川家達君) 投票漏レハゴザイマセヌカ、投票漏レナシト認メマス、書記官ヲシテ投票ヲ計算イタサセマス

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、投票總數二百四十八、第二讀會ニ移スベシトスル者即チ白色票ヲ投ジタル者百九十八、

第二讀會ニ移スベカラズトスル者即チ青色票ヲ投シタル者五十、故ニ本案ハ
第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

〔參照〕

賛成者氏名(百九十八名)

公爵 二條 厚基君	侯爵 蜂須賀 正詔君	侯爵 四條 隆愛君
侯爵 中御門 經恭君	伯爵 松本 宗隆君	伯爵 松浦 厚君
伯爵 寺島 誠一郎君	伯爵 川村 鐵太郎君	伯爵 奧平 昌恭君
伯爵 林 博太郎君	伯爵 松平 賴壽君	伯爵 溝口 直亮君
伯爵 樺山 愛輔君	伯爵 小笠原 長幹君	伯爵 二荒 芳德君
伯爵 堀田 正恒君	伯爵 酒井 忠克君	伯爵 黒木 三次君
伯爵 酒井 忠正君	男爵 木越 安綱君	服部 一三君
男爵 加藤 定吉君	子爵 京極 高德君	子爵 稻垣 太祥君
子爵 毛利 高範君	子爵 大久保 立君	子爵 松平 直平君
子爵 青木 信光君	子爵 牧野 忠篤君	子爵 酒井 忠亮君
子爵 小倉 英季君	子爵 伊集院 兼知君	子爵 五辻 治仲君
子爵 井上 匡四郎君	子爵 前田 利定君	子爵 櫛笥 隆督君
子爵 西大路 吉光君	子爵 五條 爲功君	子爵 柳生 俊久君
子爵 水野 直君	子爵 吉田 清風君	子爵 藪 篤麿君
子爵 秋月 種英君	子爵 伊東 祐弘君	子爵 片桐 貞央君
子爵 大河内 輝耕君	子爵 白川 資長君	子爵 野村 益三君
子爵 池田 政時君	子爵 米津 政賢君	子爵 清岡 長言君
子爵 八條 隆正君	子爵 立花 種忠君	子爵 伊東 二郎九君
子爵 花房 太郎君	子爵 新庄 直知君	子爵 石川 成秀君
子爵 曾我 祐邦君	子爵 森 俊成君	子爵 秋田 重季君
子爵 渡邊 千冬君	子爵 東園 基光君	子爵 牧野 一成君
子爵 戸澤 正己君	子爵 渡邊 七郎君	子爵 秋元 春朝君
子爵 西尾 忠方君	子爵 裏松 友光君	子爵 岩城 隆德君

子爵 大浦 兼一君	子爵 鍋島 直繩君	子爵 稅所 篤秀君
子爵 板倉 勝憲君	子爵 米倉 昌達君	子爵 舟橋 清賢君
子爵 松平 康春君	子爵 綾小路 護君	子爵 瀧脇 宏光君
淺田 德則君	大久保利武君	嘉納 治五郎君
富谷 銈太郎君	男爵 宇佐川 一正君	佐藤 三吉君
玉利 喜造君	木場 貞長君	渡邊 暢君
男爵 坂本 俊篤君	男爵 幣原 喜重郎君	男爵 阪谷 芳郎君
男爵 山内 長人君	黒岡 帶刀君	荒川 義太郎君
河村 讓三郎君	石塚 英藏君	小松 謙次郎君
岡 喜七郎君	内田 嘉吉君	男爵 南部 光臣君
志水 小一郎君	若林 資藏君	男爵 伊藤 安吉君
男爵 千田 嘉平君	小野塚 喜平次君	男爵 北河原 公平君
伊澤 多喜男君	江 木 翼君	男爵 坪井 九八郎君
男爵 中島 久萬吉君	男爵 黒川 幹太郎君	男爵 上田 兵吉君
男爵 福原 俊九君	男爵 赤松 範一君	男爵 池田 長康君
男爵 矢吹 省三君	男爵 周布 兼道君	男爵 高崎 弓彦君
男爵 北島 貴孝君	男爵 高木 喜寛君	男爵 近藤 滋彌君
男爵 大寺 純藏君	石井 省一郎君	原 保太郎君
藤田 四郎君	石渡 敏一君	澤柳 政太郎君
福永 吉之助君	橋本 圭三郎君	添田 壽一君
倉知 鐵吉君	山之内 一次君	中村 純九郎君
鍋島 桂次郎君	井上 準之助君	山川 端夫君
湯淺 倉平君	塚本 清治君	安樂 兼道君
川上 親晴君	菅原 通敬君	田所 美治君
西久保 弘道君	川村 竹治君	馬場 鏌一君
青木 周三君	湯地 幸平君	西野 元君
宮田 光雄君	佐竹 三吾君	樺山 資英君

大橋 新太郎君	内藤 久寛君	末延 道成君
佐々木 志賀二君	尾崎 元次郎君	吉野 周太郎君
津久居 彦七君	森本 善七君	澤山 精八郎君
菊池 恭三君	今井 五介君	宇田 友四郎君
根津 嘉一郎君	藤安 辰次郎君	伊澤 平左衛門君
坂田 貞君	田村 新吉君	奥田 榮之進君
齋藤 喜十郎君	磯貝 浩君	金杉 英五郎君
田村 駒治郎君	平田 吉胤君	西本 健次郎君
高橋 源次郎君	土田 萬助君	金子 元三郎君
山崎 龜吉君	菅澤 重雄君	北村 宗四郎君
森 廣三郎君	津村 重舍君	奥田 龜造君
五十嵐 甚藏君	澤田 喜彦君	横山 章君
森 平兵衛君	松本 勝太郎君	濱口 儀兵衛君
三木 與吉郎君	小林 嘉平治君	風間 八左衛門君
小林 暢君	絲原 武太郎君	濱 平右衛門君
高廣 次平君	本間 千代吉君	瀬川 彌右衛門君
反對者氏名(五十名)		
男爵 大井 成元君	田中 館愛橘君	犬塚 勝太郎君
藤澤 利喜太郎君	水野 鍊太郎君	和田 彦次郎君
男爵 紀 俊秀君	男爵 小原 睦吉君	男爵 船越 光之丞君
男爵 千秋 季隆君	男爵 大島 富士太郎君	男爵 今枝 直規君
男爵 黒田 長和君	男爵 岩倉 道俱君	男爵 今園 國貞君
男爵 上村 從義君	男爵 金子 有道君	男爵 小畑 大太郎君
男爵 野田 龜喜君	男爵 辻 太郎君	男爵 足立 豊君
男爵 松岡 均平君	男爵 長 基連君	男爵 沖 貞男君
男爵 井上 清純君	男爵 伊江 朝助君	男爵 關 義壽君
男爵 稻田 昌植君	男爵 佐藤 達次郎君	男爵 渡邊 修二君

高橋 琢也君

阪本 鈺之助君

南 弘君

鎌田 榮吉君

松本 丞治君

竹越 與三郎君

室田 義文君

永田 秀次郎君

赤池 濃君

德富 猪一郎君

林 平四郎君

村野 常右衛門君

小塩 八郎右衛門君

花井 卓藏君

瀬谷 勇次郎君

工藤 八之助君

吉田 羊治郎君

山田 惠一君

山上 岩二君

森田 福市君

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ、本案ノ第二讀會ヲ直チニ開クベシト云フ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 水野鍊太郎君外一名ヨリ、成規ノ賛成者ヲ以テ修正案ヲ提出セラレマシタ、修正案ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

(長書記官朗讀)

震災手形善後處理法案中左ノ通修正ス

第九條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十條 本法ニ依リ臺灣銀行ニ貸付ケタル金額ハ臺灣銀行ノ整理實行セラ
ル場合ニハ第七條ニ依ル貸付期限内ト雖之ヲ辨濟セシムルコトヲ得
第十條ヲ第十一條ニ改ム

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ修正ノ趣意ノ説明ヲ水野鍊太郎君ニ煩ハシマス

〔水野鍊太郎君演壇ニ登ル〕

○水野鍊太郎君 只今本案ノ第二讀會ニ這入ッタノデアリマスルガ、此機會ニ

私ハ、同志ノ人々ト共ニ研究ヲ致シマシタ結果、修正案ヲ提出シタノデアリマス、其大要ヲ極メテ簡單ニ申述セヤウト思ヒマス、此案ハ、世間ニハ幾多ノ議論ガアリ、又幾多ノ疑惑ガアルノデアリマス、既ニ本議場ニ於キマシテモ、先程カラ之ニ對シテ論評ガアッタノデアリマス、此批評若クハ疑惑ガ、誤解デアアルカ正解デアアルカハ知リマセヌケレドモ、兎ニ角此案ニ對シテ、世上疑ヲ持ッテ居ルト云フコトハ事實デアアルデアリマス、故ニ此案ヲ成立セシメマスルニ於キマシテモ、此疑惑ヲ解キ、非難ヲ少シデモ少カラシメルト云フコトハ、我々貴族院ニ於テ此案ノ審議ニ與カル者ノ責任デアリ義務デアアルト思フノデアリマス、而シテ特別委員會ノ諸君ガ非常ニ御精勵ニ相成リマシテ、此案ヲ御審議ニ相成ッタノデアリマス、其結果ハ此案ヲ可決スルト同時ニ、所謂附帶決議ナルモノガ現ハレテ來タノデアリマス、此附帶決議ナルモノノ性質ガ如何ナルモノガアルカト云フコトハ、是ハ問題デアリマス、果シテ附帶決議ナルモノガ貴族院ノ意思ヲ發表スルモノデアルヤ否ヤト云フコトハ、問題デアリマスガ、從來モ斯卡ル例ガアルノデアリマス、而シテ此度ノ法案ニ於キマシテハ、特別委員會ノ諸君ガ慎重御審議ノ結果、此所謂附帶決議ナルモノヲ御作リニナリ、而シテ是ガ委員長ニ依リマシテ本議場ニ御報告ニ相成ッタノデアリマス、而シテ此所謂附帶決議ナルモノニ對シテハ、政府モ同意セラレテ居ルト云フコトデアアルノデアリマス、果シテ左様ナコトデアリマスナラバ、將來ノ疑ヲ解キ、又少クモ世上ノ疑ヲ解キ、又國庫ノ損失ヲ少カラシメル爲ノ手段方法ヲ執ルト云フコトハ、我々ノ責任デハアルマイカト思フノデアリマス、其意味ニ於キマシテ此修正案ヲ、私共ガ種々研究ノ結果提出イタシタノデアリマス、而シテ此修正案ナルモノハ特別委員會ニ於テ御決議ニ相成リ、而シテ政府ガ同意セラレタ其趣旨ニ外ナラナイノデアリマス、先程書記官ノ朗讀セラレマシタガ如クニ、第十條ト致シマシテ一條ヲ入レタノデアリマス、即チ此法文ハ、「本法ニ依リ臺灣銀行ニ貸付ケタル金額ハ臺灣銀行ノ整理實行セラルル場合ニハ第七條ニ依リ貸付期限内ト雖之ヲ辨濟セシムルコトヲ得」ト云フ規定デアアルノデアリマス、而シテ此

規定ハ附帶決議ニアル通ノコトデアアルノデアリマス、然ラバ何故ニ附帶決議トシテ決シタノヲ法律案ニセネバナラスカト云フコトニ付テハ、皆様モ御考ガアルデアラウト思ヒマス、此附帶決議ト云フモノヲ法律案ノ一條ニシテ置クト云フコトガ、是ガ私共極メテ必要ナコト、大切ナコトデアアルト考ヘルノデアリマス、附帶決議ナルモノ若クハ希望條件ナルモノガ能ク本議場ヘモ現ハレマスガ、是ガ時ニ依ルト云フト、後日ノ問題トナルコトガアルノデアリマス、而シテ所謂附帶決議希望條件ナルモノガ、政府ニ於テ實行セラレナカタ實例モアルノデアリマス、皆様御承知ノ如ク、一昨年ノ豫算デアリマシタカ、文部省ノ教育費ノ豫算ニ付キマシテ、本院ニ於テハ、稱シテ謂フ所ノ希望決議若クハ附帶決議ヲシタノデアリマス、然ルニソレヲ文部省……文部大臣ニ於テハ之ヲ實行シナイ爲ニ、種々ノ紛爭ヲ惹起シタト云フコトハ、皆様モ必ズ御承知ノコトデアラウト思フノデアリマス、其結果ト致シマシテ、文部大臣ハ此席ニ立ッテ貴族院ノ意思ヲ無視シテ之ヲ實行シナカッタコトハ誠ニ遺憾デアアル、申譯ノナイコトデアアルト云フヤウナ、アヤマリ言葉ヲ此處述ベラレタノデアリマス、是ハアヤマリ言葉ガアリ、政府カラ辯明ガアレバ、ソレデ宜イトスレバ、ソレ迄デアリマスケレドモ、貴族院ガ希望シ決議シタコトガ、政府ガ實行セスト云ウテモ、是ハドウモ仕方ガナイ、是ハ政治上ノ德義カラ言ヘバ甚ダ都合デハアリマスルケレドモ、將來ニ於キマシテハ、何等之ヲ責メル途ハナイノデアリマス、故ニ此所謂希望條件、希望決議ナルモノガ特別委員會ノ意思デアリ、而シテ又政府モ之ニ同意セラルト云フコトデアアルノナラバ、之ヲ法律ノ一條トシテ置クコトガ、是ガ極メテ適當ナコトデアリ、又國民モ少クモ之ニ依ッテ幾許カノ満足ヲ得ルコトニ相成ルデアラウト考ヘルノデアリマス、加之此事ハ、法律ノ中ニ入レルニ付キマシテハ、更ニ法律上ノ理由モ含マレテ居ルノデアリマス、御承知ノ如クニ本案第七條ニ依リマスレバ、「第二條ノ貸付ノ期限ハ十年以内トシ其ノ利率ハ年五分以上トス」トアリマス、即チ此條ニ依リマスレバ、此法律ニ依ッテ各銀行ニ政府ガ貸付ケマスル其貸付期間ハ、十年以内トナツテ居ルノデアリマス、故ニ貸付

ヲ受ケマシタ方ノ側カラ申シマスレバ、十年以内ハ之ヲ返還セヌデモ宜イト云フ權利ガアルノデアリマス、最長期間十年迄ハ、政府ガ督促ヲシテモ返サナイデモ宜イト云フ法律上ノ權利ガアルノデアリマス、然ルニ此希望決議ニ依リマスレバ、サウ云フコトデナクシテ、期間内ニ於テモ臺灣銀行カラハ辨償セシメヤウ、斯ウ云フコトニ附帶決議ニ現ハレテ居ルノデアリマス、即チ其附帶決議ノ第二ニ依リマスレバ、政府ガ震災手形善後處理法ノ成立ハ震手所持銀行全部ノ地位ヲ鞏固ニスルニアルモ、殊ニ臺灣銀行ノ爲絶對ニ必要ナリトノ言明ヲ信賴シ、此際已ムヲ得ザル處置トシテ之レヲ是認スルノ外ナキモ云々トアリマシテ、更ニ其次ニ參リマシテ「右方案成立シ之レガ實行セララル場合ニ於テハ政府ハ同行ニ對スル震災手形善後處理法ニ依ル貸付金ヲ回收スルコト」トアルノデアリマス、確カ今日委員長カラ御報告ニナッタノモ此文字デアッタカト思フノデアリマスガ、若シ間違ッテ居ッタナラバ御訂正ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、即チ此附帶決議ニ依リマスレバ、臺灣銀行ノ整理ヲスル、而シテ其整理方案ナルモノヲ立テル、其立テタ整理方案ガ成立シテ是ガ實行セラレル場合ニハ、政府ハ同行ニ……即チ臺灣銀行ニ對スル震災手形善後處理法ニ依ル貸付金ヲ回收スルコトアルノデアリマスカラ、十年以前デアッテモ、臺灣銀行ノ整理方法ガ成立シテ、是ガ實行セラレル場合ニハ、貸付金ヲ回收スルコトガ出來ルト云フ希望決議デアル、是ハ私ハ誠ニ尤ナ希望決議デアルト思フ、一日モ早ク臺灣銀行ノ整理ヲ爲サシメ、之ヲ實行セシメ、而シテ政府ガ貸付ケタル金ヲ回收シ得ラレルト云フコトデアッタナラバ、一日モ早ク回收スル方ガ宜シイ、即チ言葉ヲ換ヘテ言ヒマスレバ、政府ノ損失ヲ少カラシメルニアルト同時ニ、臺灣銀行ノ整理ヲ促進セシメル所以デアアルノデアリマス、故ニ此希望決議ハ誠ニ尤ナ決議デアアルノデアリマス、果シテソレデアアルノナラバ、法律上カラ申シマシテモ、法律ノ上ニ書イテ置カナケレバ、其實行ヲ期スルコトガ出來ナイ場合モ生ズルノデアリマス、斯ウ云フ希望決議ガアッタカラト云ウテ、臺灣銀行ノ方カラ申シマスレバ、法律ニハ何等規定ハナイノデアアル、法律ニハ十年内ハ返サナクテモ宜イト云フ

コトニナッテ居ルノデアアル、如何ニ政府ガ督促ヲシテモ、法律上ノ權利トシテ之ヲ拒ムト言ハレ、バ仕方ガナイノデアアル、然ルニ法律上ニ其事ヲ書キマスレバ、最早臺灣銀行ハ拒ムコトガ出來ナイ、國民モ之ニ依ッテ又臺灣銀行ノ整理ヲスルモノデアルト云フ確信ガ得ラレルノデアアル、一片ノ希望決議、一片ノ政府ノ漫然タル同意ヲ以テ満足シ得ラザルコトハ言フ迄モナイコトデアアル、現ニ政府ガ同意シタル事柄ニシテ、而シテ政府ガ實行セザル場合ガ前回ニアッタト云フ實例ニ鑑ミマスレバ、益、以テ此事ヲ法律案ノ一條ニシテ置クト云フコトノ必要ナルコトハ、言フ迄モナイト思フノデアリマス、此全體……此法案ニ對シテハ皆様モ御論議ニ相成リマシタ如ク、遺憾ノ事ガ少ナクナイノデアリマス、阪谷男爵ノ言ハレマシタ如ク、之ニ同意ハスルガ、若シ自分デアッタナラバ、何カ他ノ方法ガアッタデアラウト言ハレタノデアリマスガ、私等モ實ハサウ思フ、他ニ方法ヲ考ヘタナラバ、今日ノ如ク財界ノ混亂ヲ來シ、財界不安ノ状態ヲ惹起サナカッタノデアラウト思フノデアリマス、然ルニ此所謂震手法案ナルモノガ出マシタガ爲ニ、私ハ出マシタガ爲ニト云フコトヲ敢テ言フノデアリマス、之ガ爲ニ世間ニ幾多ノ問題ヲ起シ、遂ニ幾多ノ銀行ガ休業ヲ見、幾多銀行ノ支拂ヲ停止セネバナラザルニ立至ッタコトヲ、私ハ國家ノ爲ニ悲ムモノデアリマス、併ナガラ此情勢ニ陥ッタナラバ、何トカシテ之ヲ救済シ、此財界不安ノ情勢ヲ救ハネバナラスト云フコトハ、是ハ獨リ政府バカリノ考フベキコトデハナイ、我々モ共ニ俱ニ其責ヲ負ウテ考ヘナケレバ相成ラスト考ヘマス、唯甚ダ失禮デアリマスガ、遺憾ナコトハ片岡大藏大臣ノ御行動、御舉動デアリマシテハ、之ガ救済ヲ爲シ得ルヤ否ヤト云フコトヲ疑フノデアリマスガ、希クハ今後政府ニ居ラレル諸君ハ、誠心誠意國家ノ爲メ、此財界ヲ救済スルコトニ努力セラレムコトヲ、私ハ切ニ希望スル次第デアリマス、其一ツト致シマシテ、私ハ此法案ニ此條ヲ入レマシテ、此條ヲ以テ世間ノ疑惑ヲ救フマデニハ行キマスマイ、行キマスマイガ、少クモ此法律案……此法律案ハ諸銀行ノ震災手形所持者ノ救済デアルトハ言ウテ居リマスケレドモ、其數額カラ見ルト二億七百萬圓デスガ、其中デ殆ド

一億萬圓以上ト云フモノハ、臺灣銀行ノ爲ナンデス、而シテ臺灣銀行ト取引
ヲシテ居ル何トカト云フ商店ハ、此中デ多額ノ債務ヲ持ッテ居ル、故ニ此法
案ハ臺灣銀行救済案デアリ、又從テ某政商救済案デアルト云フヤウナ批評ヲ
下サザルヲ得ヌノデアリマス、私ハ此批評ノ出ルコトハ實ニ殘念ニ思ヒ、遺
憾ニ思フノデアリマス、併ナガラ事實ガサウデアアルヤウデアリマス、現ニ今
朝ノ小畑男爵ノ數字ヲ擧ゲテ巨細ニ御述ベニナリマシタコトハ、私ハ誠ニ事
實デアアル、能ク御調べ下サタモノデアルト思フ、サウ云フヤウナ譯デアリ
マス、而シテ臺灣銀行ハ大正十四年ノ秋ニ一度ハ整理セラレタト稱セラレテ
居ル、併ナガラ其整理ハ其實效ヲ見ズシテ、其當時決議シタ所ノ所謂希望決
議ナルモノハ、消エテ水ノ如ク、其希望決議書ハ一片ノ反古ニナッタ、斯ウ云
フヤウナ小畑男爵カラノ御説明ガアッタ、誠ニ其通デアラウト思フ、サウ致
シマスレバ、今後ハ臺灣銀行ノ整理ニ付テハ慎重ニ之ヲ行ヒ、所謂此希望條
件ナルモノガ消エテ水ノ如ク、一片ノ反古トナルヤウニナラザラムコトヲ希
望スル、其趣旨カラ申シマシテモ、私ハ特別委員諸君ガ考慮セラレマシタ所
ノ、此希望決議ヲ法律ノ條文ニ入レラレマシテ、今後紛争ノ因ヲ起サザラム
コトガ、眞ニ私ノ希望スル次第デアリマス、是ハ何モ特別委員會ノ意思ニモ
反スルノデハナク、政府ノ意思ニモ反スルノデハナイ、全ク同ジコトデアリ
マス、唯形ヲ法律ノ上ニ入レテ置キタイト云フニ過ギナイノデアリマスカラ、
恐ラク總テノ方ハ何等御異見ハナイコト思ヒマスガ、何卒此趣旨ヲ御了承
下サイマシテ、此案ニ御賛同下サラムコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス
○議長(公爵德川家達君) 水野鍊太郎君ノ説明セラレマシタ修正案ヲ議題ト
致シマス

○伯爵林博太郎君 只今水野君カラ御説明ガアリマシタ修正案ニ付キマシテ
ハ、私ハ此特別委員長トシテ、少々其精神ノ異ナッテ居ル點ヲ説明シテ見タ
イト考ヘルノデアリマス、ソレハ只今ノ第九條ノ二、「本法ニ依リ臺灣銀行ニ
貸付ケタル金額ハ臺灣銀行ノ整理實行セラレタル場合ニハ第七條ニ依ル」云
々トアリマス、私ノ今朝述ベマシタ附帶希望決議ノ精神ニ於キマシテハ、「右

方案成立シ之レガ實行セラルル場合ニ於テハ政府ハ同行ニ對スル震災手形善
後處理法ニ依ル貸付金ヲ回收スルコト」ト致シテアルノデアリマシテ、此修
正ハ實行セラレタル場合……銀行ノ整理ガ實行セラレタル後ニ於テハ云々ト
云フコトデアリマスガ、此希望決議ニ於キマシテハ、方案ガ成立シテ是ガ實
行セラレル場合ニ於テハ、即チ其實行セラルル所ノ現在ノ其當時ニ於テ之ガ
回收ヲ爲スベキモノデアアル、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマスカラ、
精神ニ大ニ距離ガアルト思フノデゴザイマスカラ、ソレヲ申上ゲテ置キマス、
尙又此附帶希望決議ガ從來ハ往々ニシテ是ガ反古ニナルヤウナコトモアリ得
タト思ヒマスガ、綱紀肅正ノ上カラ見マシテモ、現内閣ニ信賴イタシマシテ、
是ガ反古ニナラズニ實行セラルルト云フコトニ付テハ、既ニ言明モアッタコ
トデアリマスカラ、是ハ信賴シテ、政治道德上ノ責任ト致シテ置イタラ宜カ
ラウト云フ意味ニ於テ、附帶希望決議ガ出タノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 議長カラ念ノ爲ニ林伯爵ニ申上ゲタ方ガ宜カラウ
ト思ヒマス、只今朗讀相成リマシタ水野鍊太郎君提出ノ修正案ノ「貸付ケタ
ル金額ハ臺灣銀行ノ整理實行セラレタル」ト御讀ミニナリマシタガ、修正案
ハ「實行セラルル場合ニハ」トナッテ居リマスカラ、左様御承知ヲ請ヒマス
○子爵前田利定君 只今ノ水野博士ノ御意見ニ對シマシテ、意見ヲ申上ゲヤ
ウト思ヒマス、御許シテ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス
○子爵前田利定君 簡單デアリマスカラ、御許シテ願ヒマシテ自席デ申上ゲ
マス、水野博士ノ御心配ニナリマス點モ、我々共ガ心配イタシマス點モ、其
點ハ同ジデアリマス、同ジデアリマスガ、成程只今ノ御修正ノ案文ヲ拜見イ
タシマスト云フト、私共ノ考トハ大シタ違ヒモナイヤウニ、大體ニ於テ同ジ
ヤウデアアリマスケレドモ、我々共ハ此法律案ノ一日モ速ニ成立スルコト
ヲ祈ル念ガ切實デアアルノデアリマス、先程モ演壇デ申述ベマシタガ、財界ノ
現下ノ實狀ヲ見マシテモ、一日モ早く、一時モ早く此法律案ヲ成立サセタイ、
法律案ノ速ニ成立ニナルト云フコトガ、ソレダケ早く財界ヲシテ安定セシメ

ルノ、此場合ニ於ケル唯一ノ途デアルト、斯様ニ信ジテ居ルノデアリマス、故ニ折角ノ御所望デアリマススケレドモ、我々ハ我々同志ト共ニ此附帶希望決議ヲ以テ進ム考デアリマス、尙ホ唯一片ノ附帶希望ト違ヒマシテ、總理大臣、大藏大臣列席ノ上ニ、此希望決議ノ案件ニ對シマシテハ、全然承認セラレタコトデアリマスカラ、ヨモヤ政治德義ヲ十分ニ御感銘ニナツテ居ル所ノ臺閣諸公ニ於カレマシテ、將來ニ於キマシテ御異變ノアラウト云フコトハ、信ゼラレナイ次第デアリマスカラ、我々ハ只今申上ゲマシタ通り、法律案ノ速ニ成立スルコトヲ祈ルノ理由ヲ以チマシテ、折角ノ御言葉デアリマススケレドモ、水野博士ノ御提案ニ御賛成申スコトガ出來兼ネマスコトヲ遺憾ニ存ズル次第デアリマス

○小林嘉平治君 私ハ修正案ノ提案者タル水野氏ニ御伺ヒ致シマス、只今ノ御提案ハ、第七條ニ明カニ含マレテ居ルノ「チャナイカト私ハ考ヘルノデアリマス」、第七條ニ「貸付ノ期限ハ十年以内トシ」ト云フコトガアルノデアリマス、勿論此七條ナルモノハ、整理ノ出來タモノニモ、出來ル見込ノアルモノニモ、五年デ整理ノ出來ルモノニモ、十年貸スト云フ意味ハ無いノデアリマス、大凡整理ノ見込ヲ付ケテ、ソレ以内デ貸付ケルト云フ條文ガ第七條デアリマス、從テ私ハ、第七條ハ臺灣銀行ノミナラズ、其他ノ銀行モ含ム力強イモノデアルト斯ク考ヘテ居リマス、水野議員ハ如何ニ御解釋ニナリマスカ、御明答ヲ御願ヒ致シマス

○水野鍊太郎君 只今ノ御質問ノ點ニ御答ヘ致シマス、第七條ノ貸付ノ期間ガ問題デアリマシテ、貸付ヲ受ケタ方ノ人カラ申シマスレバ、十年内ハ貸付ヲ受ケテ居ル權利ガ有ルノデアアル、之ヲ督促セラレテモ、法律ニ依ッテ十年以内ハ返済シナイデモ宜シイト云フコトニナツテ居ル譯デアリマス、是ダケノ條文デアツテハ、期限前ニ回收ラセムトシテモ、若シ貸付ヲ受ケタル者ガ之ヲ拒ムニ於テハ、何等之ガ處置ヲ求ムルコトハ出來ナイ、是ハ尙ホ、法律上ノ問題デアリマスカラ、法律家ノ意見モ聽イタノデアリマスカ、サウ云フ風デアルト云フコトデアツタ、ソレデアリマスカラ、今アナタノ御尋ノ、第

七條ヲ以テ其目的ガ達シ得ラレルト思フノハ、私共カラ見マスレバ誤デアラウト思ヒマス

○小林嘉平治君 只今水野議員ノ御答辯ニ依リマスト、以内ト云フ字ヲ全ク眼中ニ置イテ居ラナイヤウニ思フノデアリマス、先刻カラノ質問應答ニ依リマシテ、大臣ガ是等ノ貸付ヲ實行スルノハ、勿論審査委員ナルモノノ審議ヲ經ルノデアリマス、最初年限ヲ如何ニ定ムベキカト云フコトハ、慎重審議ノ上、其銀行ナリ手形持主ノ狀態ヲ考慮シテ、サウシテ之ヲ定ムベキモノデアラウト思フノデアリマス、茲ニ於テ以内ト云フ意味ガ非常ニアルノデアリマス、此第七條ニ於テ御希望ノヤウナ運用ハ付クノデアリマス、私ハドウモ最初カラ臺灣銀行ト云フモノダケガ問題ニナルト云フコトハ、非常ニ怪ムモノデアアル、又此修正案ニ於テモ、何ガ故ニ臺灣銀行ガ問題ニナルカト云フコトニ不審ヲ懷ク一人デアリマス、意見ハ後述ベマス

○松本烝治君 私ハ水野君ノ御提案ニ賛成スルモノデアリマス、只今ノ小林君ノ御質問ニ對シマシテ、賛成者トシテ辯明ヲシテ置キタイト思ヒマス、小林君ノ御説デハ、第七條ニ依リマシテ、貸付ノ期限ハ十年以内デ自由ニ定メルノデアアル、其定メ方ニ依ッテドウデモ出來ル、即チ臺灣銀行ニ對シテハ短イ期限デ貸付ケレバ宜クハナイカト云フ御趣意カト思ヒマス、抑第七條ノ貸付ヲシマスルノハ、第六條ト關聯シテ居ルノデアアル、第六條ニ依リマシテ、震災手形所持銀行ガ更ニ此震災手形債務者トノ間ニ貸付ヲ致シマシテ、十年以内デ年賦償還貸付契約、ソレヲ條件トシテ、政府ガ其銀行ニ對シテ貸付スルト云フコトニナルノデアリマス、第六條ニ依リマスレバ、此銀行ノ貸付ハ年賦償還ノ貸付デアリマス、年賦償還ト申シマス以上ハ、一年ト云フコトデハ年賦償還ト云フコトニハナラナイト思ヒマス、恐ラク是ハ最大限ノ十年ニ大概サレルダラウト思ヒマス、或ル場合ニハ七年トカ八年トカ、或ハ五年ト云フモノガアルカモ知レマセヌガ、併ナガラ年賦償還ト云フ以上ハ、少クトモ二年三年ト云フコトニナラナケレバナラヌト云フコトハ、常識上明瞭デアラウト思ヒマス、左様ニ考ヘマスレバ、政府ガ臺灣銀行ニ貸付ヲナス場合

ニ、ソレヲ極メテ短期ニスルト云フコトハ出來ヌコトデアラウト思フ、而シ

テ此臺灣銀行ノ整理ト云フコトハ、附帶決議ヲ主張サレル方々ノ御主張ニ依
レバ、極メテ早クシタイ、次ノ議會マデニ成案ヲ具シテヤラレタイト云フ御
話デアリマス、左様ニ考ヘマスレバ、サウ短イ、即チ一年以内ノ貸付ニ臺灣
銀行ヲ致スト云フヤウナコトハ、出來ヌ筈デアリマス、又政府ガ……整理出
來マセヌ以上ハ、短イ期間デ貸付ケテ置キマシテ、整理ノ方ガ出來ヌ、即チ
貸付ケテ貰フコトガ出來ヌト云フコトデハ、臺灣銀行ハ堪ラナイと思ヒマス、
從テ臺灣銀行ニ對スル貸付モ亦他ノ銀行ト同ジク、或ハ八年、或ハ十年、恐
ラク十年ト云フ、ソレヨリ外私ハナイダラウト思フ、若シ十年ト云フコトデ
貸付ケマス致シマシタ以上ハ、附帶決議トカ何トカ云フモノガアリマシテ
モ、何等法律上ノ拘束力ハナイ、附帶決議ニ依ッテ斯ウ云フコトニナッタカラ
返セト申シテモ、法律上是ハ返サシムルコトガ出來ナイト云フコトハ、極メ
テ明瞭ナコトデアラウト思フ、其點ニ付テ規定シナイト云フコトハ、法律上
大ナル缺陷デアルト私ハ考ヘル、此規定ハ只今述ベタヤウナ法律上ノ見地カ
ラ、只今マデニ御話ニナッタヤウナ附帶決議ヲ本院ニ於テ致ス以上ハ、ドウ
シテモ之ヲ附ケナケレバ、法律上困ルコト私ハ考ヘル、斯様ナ意味デ水野
君ノ提案ニ賛成スル者デアリマス、討論ニ近ク見エルカモ知レマセヌガ、小
林君ノ御質疑ニ對シテ、之ニ依ッテ多少タリトモ解キ得タカト考ヘマス
○小林嘉平治君 先刻松本博士ハ、七條ハ第六條ニ聯關シテ居ルト云フコト
デアリマスガ、私モ能ク承知イタシテ居リマス、然ラバ新ニ拵ヘル第十條ナ
ルモノハ六條ニ聯關ラセヌノデアリマスカ
○松本恭治君 何カ討論ノヤウニモ聞エマスガ、質問デアルカ、討論デア
ルカ、又私カラ御答ヘスベキモノカ存ジマセヌガ……勿論關聯スルノデアリマ
シテ、故ニ先ヅ長イ年賦デ貸シテ置イテ、併ナガラ其代リノモノガ整理方法
ニ依ッテ出來タト云フ場合ニハ、イツデモ之ヲ取上ゲテ宜シイト云フコトヲ
指スノデアリマス、ソレデ御分リニナルダラウト思ヒマスガ、御分リニナラ
ナケレバ別ノ機會ニデモ御話ヲスルコトニ致シマス、議場ヲ餘リ煩ハスコト

ハ避ケタイト思ヒマス

〔小野塚喜平次君發言ノ許可ヲ求ム〕

〔小林嘉平治君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 小野塚君ニ發言ヲ許シマシタ

○小野塚喜平次君 私ハ極ク簡單ニ水野君ニ賛成ノ意見ヲ表シタイト思ヒマ
ス、私ハ此問題ハ非常ニ複雑デアッテ、何レニシマシテモ其利害得失ノ及
所ハ、可ナリ廣イ影響ヲ經濟社會、一般社會ニ與ヘルコトト思フノデアリマ
ス、賛成論者モ反對論者モ、共ニ相當ノ理由ガアルト思ヒマス、唯我々トシ
テハ白紙ノ上ニ物ヲ書クト云フ自由ハ許サレナイノデアッテ、今政府案ガ出
テ來テ居ル、今與ヘラレタル經濟事情、社會事情ノ下ニ於テ、我々ハ政府案
ニ賛成スベキヤ否ヤト云フ、極メテ限定サレタル範圍内ニ於テノ自由ヨリ有
タナイ、其自由デ如何ニ我々が賛成スルカ、反對スルカト云フコトニ付テハ、
非常ニ苦心シタノデアリマスガ、私ハ大體ニ於テ先程阪谷男爵ガ述ベラレタ
意味ニ於テ、政府案ニ賛成イタシマシタ、併ナガラ附帶決議ナルモノデハ何
トナク満足シナイ、アレガ鞏固ニ行ハレバ宜イガト云フ疑ヲ起シマシタ所
ガ、幸ニ水野博士ガ之ヲ法律ニスル方ガ宜イ、ソレナラバ安心ダト云フ具體
案ヲ出サレマシタノデアリマスカラシテ、幾ラカ私ノ困ッテ居ル……ソレハ
多分同ジ様ナ考ノ諸君ガ此處ニオイデダラウト思ヒマスシ、又識者ノ間ニモ
國民一般ノ間ニモ同様ノ感ヲ持ッテ居ル、ソシテ、大體ニ於テハ今日ノ事情
ノ下ニ於テ、アレハ通過シナケレバナラス、併ナガラ臺灣銀行云々ト云フコ
トニ付テ、附帶決議デハ困ルト云フ人ガ、世間ニ澤山アルダラウト思ヒマス、
其疑義ヲ解クガ爲ニ、是デ果シテ十分ナリヤ否ヤト云フコトハ私モ分リマセ
ヌケレドモ、附帶決議トシテ置クヨリハ法律ニスルト云フコトガ遙ニ有效デ
アルト云フコトハ、何人モ疑ハナイ所デアラウト思フノデアリマス、ソレデ
アリマスカラ詳シイコトハ述ベマセヌ、ソレハ先程水野博士ノ説明デ十分明
カデアルト思ヒマス、賛成ノ意ヲ表シマス
○花井卓藏君 私ハ小林君ノ質問ニ對シテ御答ヲ爲サントシテ、立チカケタ

ノデアリマシタガ、松本君ノ答辯ニ依リマシテ、極メテ能ク了解セラレタルモノト思ヒマス、此機會ニ於キマシテ一言……眞ニ一言ヲ述ベテ水野説ニ賛成ノ意ヲ表シタイト思フ、私モ水野君ト同様、附帶決議ナルモノノ性質、効力ニ付テ多クノ惑ヲ有シテ居リマス、併シ今茲デ論議スルコトハ避ケマスガ、唯我々ノ了知セザルベカラザルコトハ、此議場ニハ附帶決議ナルモノハ、議題トシテ現ハレテ採決セラレテ居ルモノデハナイト云フコトデアル、即チ貴族院ノ議場ニ於テ、此法律案ニ對シテ、附帶決議ノ趣旨ニ依リテ可決スベキモノナリトノ結論ハ得ラレテハナイノデアリマス、何等ノ法律の效力ノ無イト云フコトハ、言フ迄モナイコトデアル、本院規則ニ依リマシテモ、表決ニ條件ヲ付スルコトヲ得ズト云フ規定ハ、儼トシテ現ハレテ居ルノデアアル、唯、附帶決議ナリト云フコトヲ、委員會ノ意思ナリトシテ、委員長ガ議場ニ報告シタルニ止マレリト雖モ、議場ガ之ヲ受取ッテ審議スルノ權能モナケレバ、表決スル所ノ權能モ有シテ居ナイノデアアル、併ナガラ斯ノ如キ強イ意見ノ交換ガアツテ、政府ノ言明ニ信賴ヲシテ可決ト云フコトニ決セラレタト云フダケノ徑路ハアル、然レドモ天下ノ大問題タル此法律案ガ、附帶決議ニ歌ハレタルコトヲ政府ニ於テ誓ッテ實行スルコト云フノ聲明ヲ得ルニアラザレバ、贊成シ難イト言ハル、所ノ人々ガ、無論此法案ノ附帶決議ノ如ク實現セラル、コトヲ欲スルニハ相違ナイト思フノデアリマス、之ヲ法律ノ上ニ現ハシテ拘束力ヲ付シテ、必ズ實行セザルベカラザルノ責任ヲ課スルコト云フコトハ、即チ此法ヲシテ強ク可能性ヲ有セシムル所以デアルトシテ、之ニ反對セラルベキ道理ハ全然ナイト確信イタシテ居ルノデアアル、人或ハ言ハム、眞ニ、眞ニ此法律ノ實行ヲ期スルナラバ、附帶決議ノ如ク實行ヲ期スルナラバ、附帶決議ヲ法案ニ現ハスニ於テ異議ノアルベキ筈ハナイノデアアル、然ルニ之ヲ法律ニ現ハスコトヲ拒ムト云フノハ、眞ニ附帶決議ノ如ク實行セラル、ヤ否ヤト云フコトニ、一種ノ別段ナル異見ヲ有シテ居ラル、デハアルマイカト云フヤウナ邪推ヲスル者ガ無イトモ限ラヌノデアリマス、政府ヲ信賴スルコトモ結構デアリマス、併ナガラ政府ヲ信賴セザル者モアルノデアリマス、法律ハ

信賴セネバナラス、法律ハドコノ迄モ實行セラルベク信賴セネバナラスノデアアル、前田子爵ノ反對ノ御意見ハ、唯一日モ速ニ實行セザルベカラザルガ故ニト云フ事ニ歸シテ居リマス、此修正案ガ成立スルガ爲ニ、一日モ速ニ實行セザルベカラズト云フコトヲ遮ルコトハアルマイト思フノデアリマス、今日是ガ決定セラレテ、或ハ修正ノ議ノ成立タル場合ニ於キマシテハ、衆議院ニ廻ルモノデアリマセウケレドモ、是ハ今日若クハ明日ノ間ニ於テ可否ノ結論ハ得ラル、コトデアリマセウ、此法律モ、今日行ハレテ明日結了スベキ性質ノモノデハナイノデアリマス、大切ナル法律デアリマスルカラ、政府モ同意シ、特別委員會モ附帶決議ヲ以テ決定セラレテ居ル事柄デゴザイマスカラ、之ヲ法律ノ上ニ現ハシテ強イ拘束力ヲ付シテ、疑惑ノ一端ヲモ退ケタイト云フコトハ、當然ノコトト思フノデアリマス、立法院ノ面目トシテ、法律事項ト爲シ得ベキコトヲ、殊更ニ避ケテ、法律事項トシナイト云フ事柄ハ、立法院ノ權威ヲ墜ス所以デハアルマイカト私ハ考ヘルノデアリマス、水野説ノ成立セムコトヲ熱望シテ已マナイ次第デアリマス

○馬場鏐一君 水野博士ノ修正案ノ御趣旨ハ誠ニ御尤ノ次第デアリマス、殊ニ其御述べニナリマシタ修正ノ御趣旨ニ付テハ、私モ同感デアリマス、併ナガラ此修正ヲ致シマセズデモ、附帶決議ノ運用ニ依リマシテ、私ハ法律案ノ修正ヲ要セズシテ實行シ得ルト思フノデアリマス、何トナレバ、恐ラクハ此臺灣銀行ノ徹底的整理案ノ成立、即チ或モノハ法律トナッテ議會ニ現ハレルデアラウト思フ、其場合ニ於テハ、其法律ニハ恐ラクハ振替貸付ノ途ヲ取ルモノガ多ク生ズルコトヲ私ハ前提トシテ居ルノデアリマス、又今日臺灣銀行ノ現狀ト致シマシテハ、實際然リト私ハ思フノデアリマス、若シ幸ニシテ臺灣銀行ノ整理ガ意外ニ好成績デアリマシタ所デ、恐ラクハ其貸付ケタモノノ大部分ガ振替貸付ニナルモノデアラウト思フ、私ハ必シモソレヲ非難スルモノデハナイ、ソレハ法律ノ力ヲ以テ爲シ得ルコトト思フノデアリマス、加之、整理案ヲ立テルト云フコトガ、既ニ本法律案成立ノ死命ヲ制シテ居ルノデアリマス、此問題ハ普通ノ所謂輕キ附帶決議ニアラズシテ、此法律案ノ贊

否ノ分レ、此法律案死活ノ岐ル、附帶希望決議デアルコトハ、政治的ニ見テ極メテ明瞭ナルコトデアリマス、ノミナラズ若シ此法律案ガ修正セラレマシテ、衆議院ニ回付セラレタ場合ニハ、私ハ非常ナル混亂ヲ來ス虞ガアルト思フノデアリマス、何故ナラバ、政府ハ衆議院並ニ貴族院ニ於テ、昨日マデハ斯ノ如キ説明ハ致シテ居ラナカッタデアリマス、昨日ニ至ッテ震災手形善後處理法ハ、殊ニ臺灣銀行ノ爲ニ絶對ニ必要ナリトノコト……即チ臺灣銀行ノ運命其モノニ關スルガ故ニ、我々ハ忍ンデ此案ニ賛成シテ居ル次第デアル、此説明ノ訂正ガ、衆議院ニ至ッテ如何ナル紛争ヲ起スカ、私ハ測リ知レヌト思ヒマス、然ル場合ハ此法案ノ運命ニ關スルト思フノデアリマス、修正論者ト雖モ、此法案ヲ助ケタイ……此法案ノ成立ヲ望マレテ居ル以上ハ、假令法律論トシテ多少ノ、或ハ缺點ガアルカモ知レヌ、併ナガラ實行上ニ於テハ、私ハ實際ニ於テ差支ナイト、斯ウ信ジマスル故ニ、此法律案ヲ活カシタイト云フコトヨリ致シテ、會期切迫ノ今日、萬一衆議院ニ於テ此修正ヲ容レラザル場合ニ於テハ、極メテ遺憾ナル結果ヲ生ズルト思ヒマスカラ、忍ンデ此原案通り、即チ修正案ニ反對イタス次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御發言ナイト認メマスカラ、討論ハ終局ヲ告ゲタモノト認メマス、採決ヲ致シマス、水野君ノ提出ニ係ル修正案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス

〔「異議アリ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 異議アリト云フ御言葉モゴザイマシタガ、定規ノ賛成者ヲ得テ居ラヌト議長ハ認メマス

○議長(公爵德川家達君) 原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマ

ス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第四、鑛業法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

鑛業法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月二十二日

右特別委員長

添田 壽 一

貴族院議長公爵德川家達殿

〔添田壽一君演壇ニ登ル〕

○添田壽一君 本案ハ甚ダ單純ナ案デアリマス、單純ナ案デアリマスル所ヨリ非常ニ審査ニ骨ガ折レタノデアリマス、ト申シマスル譯ハ、所謂營業稅ト營業收益稅ノ關係デアリマシテ、營業收益稅ヲ設ケマシタル結果、當然修正セラルベキ性質ノモノデアアルニ拘ラズ、是ガ殘サレテ居ッタト云フ點カラ、色々ナル質問ガ起ッタノデアリマス、最早ソレハ一々詳シク此場合ニ於テハ

申上ゲヌノデアリマス、委員カラ種々其點ニ付キマシテ隨分突込シタル御質問ガアッタノデアリマス、ソレニ對シマシテハ、商工大臣ヨリ色々事情ヲ御述ベニナリマシテ、殊ニ率直坦白ニ甚ダ心外デアルト云フヤウナ御言葉モアリマシテ、委員ハ之ヲ諒ト致シマシテ、本案ハ可決イタシタノデアリマス、併シ一委員ヨリ、本案ハ昨年ノ税法改正ト同時ニ提案アルベキ筈デアルト云フ趣意ニ依リマシテ、討議ノ場合ニ強イ御提議ガゴザイマシタノデアリマス、然ルニ今年モ會期末ニナッテ此案ガ提出セラレタコトヲ甚ダ遺憾トスルト云フ點ヲ述ベマシテ、又此種類ノ所謂似寄タル法律ハ、成ルベク統一的一ニ齊同時ニ遺漏ナク提案セラレタイ、ト云フ希望ヲ強ク述ベラレタノデアリマス、其委員ノ希望ヲ委員會ノ希望トシテ決議ヲ致シマシテ、ソレヲ本會ニ報告ヲ申ゲルコトマデラ委員長ニ命ゼラレタノデアリマス、故ニ此事ヲ併セテ申上ゲマス、詰リ斯ノ如キ單純ナル法律ノ變更ノ問題ハ、或ハ之ヲ自然解釋ニ任セラレマスルカ、或ハ法令ニ一括シテソレヲ斯ウスルト云フコトヲ明記セラレマスルカ、或ハ一々改正セラレルカト云フ三ツノ方法ガアルノデアリマスガ、政府ハ此一々改正スルト云フ方法ヲ採ラレタモノト見エマスル故ニ、果シテ然ラバ、一齊ニ脱漏ナク、成ルベク同時ニ提出セラレルト云フコトヲ望ムノハ、是ハ體面ノ上カラモ、又議事ノ進行ノ上カラモ、當然ノコトデアリマスガ故ニ、此希望ニハ、十分政府ニ於カレマシテ、所謂重キヲ置イテ戴キタイノデアリマス、是ハ今日ノ場合ダケニ限リマセヌ、總テノ將來ノ場合ニ於テ、政府ニ於テ篤ト此希望ヲ御考ヘ下サレムコトヲ、併セテ希望イタシマス、之ヲ以テ經過ノ報告ト致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 大正九年法律第五十六號中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

大正九年法律第五十六號中改正法律案

右本院提出案及送付候也

昭和二年三月二十二日

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正九年法律第五十六號中「十年」ヲ「十五年」ニ改ム

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔長書記官朗讀〕

大正九年法律第五十六號中改正法律案特別委員

侯爵 佐佐木 行 忠君 伯爵 酒井 忠 正君 子爵 松平 康 春君
子爵 瀧脇 宏 光君 男爵 神山 郡 昭君 石 井 省 一 郎 君
西久保 弘 道君 川 村 竹 治君 金子 元 三 郎 君

○議長(公爵徳川家達君) 大正十二年法律第五十二號中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、中御門侯爵

大正十二年法律第五十二號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月二十二日

右特別委員長

侯爵 中御門 經 恭

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵中御門經恭君演壇ニ登ル〕

○侯爵中御門經恭君 大正十二年法律第五十二號中改正法律案特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、昨二十二日委員會ヲ開會イタシマシタガ、此案ハ御承知ノ通り非常ニ簡單ナルモノデアリマシテ、資格ノ無イ者ニ辯護

士ノ資格ヲ與ヘル試験制度デアリマシテ、尙ホ五箇年間ノ延期ヲ致スト云フ法案デゴザイマシテ、委員會ニ於テハ何等異議ナク、全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、右御報告ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ノ回付ヲ受ケタリ

商工會議所法案

本日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ
奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

土地收用法中改正法律案

本日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ衆議院提出案ハ同院ニ於テ本院ノ修
正ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

議院法中改正法律案

本日衆議院ヨリ同院ニ於テ左ノ政府提出案ヲ否決シタル旨ノ通牒ヲ受領セ
リ

九州製鋼株式會社ノ工場等ノ買収代金ニ關スル法律案

本日豫算委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昭和二年度歳入歳出總豫算案、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲ス
ヲ要スル件可決報告書

昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算修正報告書

○議長(公爵徳川家達君) 明日ハ午前十時ヨリ開會ヲ致シマス、議事日程ハ
決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後四時五十六分散會